Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

デジタルビデオカメラ

型名 GR-DVL700

Mini DV NTSC i.

Digital Video Camera
GR-DVL700



DualMovie

お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（18～29ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LYT0457-001C

目 次

はじめに ……………………………………………………6
本書の読み方 ……………………………………………6
こんなことができます ………………………………………8
いますぐビデオを撮影してみよう……………………………10
いますぐ写真を撮影してみよう………………………………14
安全上のご注意………………………………………………18

これだけは知っておこう編

準備する………………………………………………………30
Step1 バッテリーを充電する ………………………………30
Step2 バッテリーを取り付ける ……………………………32
Step3 グリップベルトを合わせる …………………………34
Step4 カセットテープを入れる ……………………………36
Step5 メモリーカードを入れる ……………………………38
Step6 電源を入れる …………………………………………40
撮影する………………………………………………………44
Act.1 設定を確認する ………………………………………44
Act.2 液晶画面やファインダーを調整する ………………46
Act.3 カメラをかまえる ……………………………………48
Act.4 撮影する範囲を調整する［ズーム］…………………49
Act.5A ビデオを撮影する……………………………………50
Act.5B 写真を撮影する………………………………………52
上手に撮るコツは……………………………………………54
再生する………………………………………………………56
ビデオを再生する……………………………………………56
写真を再生する………………………………………………59
コンセントの電源で使う……………………………………61
テレビで見る…………………………………………………62
印刷する………………………………………………………64
プリント情報を設定する［DPOF 設定］……………………64
専用プリンターで印刷する…………………………………68
写真を削除する………………………………………………74

撮影・初級テクニック編

高画質の写真を撮影する[XGA モード] ……………………………77
三脚を使って撮影する……………………………………………78
15 秒後に撮影をスタートする［セルフタイマー］ ………………79
被写体の明るさを調節する………………………………………82
　被写体の後ろに太陽があるとき［逆光補正］ …………………82
　被写体に強い光があたるとき［スポットライト補正］ …………83
ビデオテープに静止画を撮る[VIDEO モード] ……………………84
動きの速いものを写真に撮る……………………………………86
動きの速いものをビデオに撮る[高速撮影] ………………………88

撮影・上級テクニック編

撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］ ……………………91
　フラッシュの状態を設定する……………………………………91
　画像の明るさを調整する…………………………………………94
　ピントを手動で合わせる［マニュアルフォーカス］ ……………96
　画像の色合いを調節する［白バランス］ …………………………97
場面の切り替え部に効果を入れる ………………………………100
　場面切替の種類[フェーダー][ワイプ]……………………………100
　場面切替を設定する ……………………………………………104
映像に変化をつける ………………………………………………106
　演出効果の種類 …………………………………………………106
　演出効果を設定する ……………………………………………108
連続静止画を撮る[PS モード] ……………………………………110

再生と印刷を工夫しよう編

写真を一覧表示する ………………………………………………112
楽しい印刷をする …………………………………………………114
　白黒やセピア色で印刷する ……………………………………114
　ワク付き印刷と複数枚の印刷 …………………………………116
　絵はがきを作る［プリントフレーム］ …………………………118
　カレンダーを作る ………………………………………………120
　小さなシールを作る［同 16 画面］………………………………122
写真をまとめて印刷する …………………………………………124
映像をコピーする …………………………………………………127
　テープからメモリーカードに映像をコピーする ………………127

目 次

メモリーカードからテープに写真をコピーする ……129
ビデオの映像を加工する ……130
映像の一部を拡大する［再生ズーム］ ……130
再生時の映像に変化をつける［演出効果］ ……131

ビデオを編集してみよう編

日時の表示を切り替える ……132
タイムコード表示を設定する ……134
ビデオをダビングする ……136
ビデオデッキへダビングする ……136
デジタルでダビングする ……138
ビデオ機器からダビングする ……140
ビデオを編集する ……142
自動で編集する ……142
より正確に自動編集する［シンクロ補正］ ……149
ビデオに音声を追加する［アフレコ編集］ ……152
再生時の音声を切り替える ……154
映像をパソコンで利用する ……156

設定を変えて使いこなそう編

写真を削除できないようにする［プロテクト］ ……158
パソコンで作ったプリントフレームを削除する ……160
画面の表示方法を変更する ……163
撮影設定を変更する ……165
テープの撮影時間が 1.5 倍になる
アフレコ可能なモードで録音する
ズーム倍率の上限を設定する
撮影の感度を設定する
操作音と撮影ランプを消す
撮影モード照明のライトを消す
写真の画質を設定する
JLIP 制御用の ID ナンバーを設定する
演出効果をデモで確認する
設定のしかた ……167

マニュアル用の設定を変更する ……………………………………168
手ぶれ補正をやめる
セルフタイマーを設定する
5 秒撮影のモードを設定する
接写を設定する
ワイドテレビに合わせた画面にする
録音される雑音を軽減する
フラッシュで赤目になるのを防ぐ
フラッシュの明るさを設定する
設定のしかた ……………………………………170

その他

故障かな？と思ったら ……………………………………171
メモリーカードのフォーマット［初期化］ ……………………………………175
専用プリンターに紙づまりがおきたときは ……………………………………177
再生中に映像にノイズが出たら ……………………………………178
「ツユが付きました」と表示されたら ……………………………………179
ファインダーの中にゴミが入ったら ……………………………………180
使用上のご注意 ……………………………………181
日常のお手入れ ……………………………………186
アクセサリー一覧 ……………………………………187
海外でお使いになるときは ……………………………………192
保証とアフターサービス ……………………………………193
サービス窓口案内 ……………………………………194
主な仕様 ……………………………………196

索引

メニュー一覧 ……………………………………200
各部の名前とはたらき ……………………………………204
本体 ……………………………………204
専用プリンター ……………………………………207
画面表示の見かた ……………………………………208
五十音順索引 ……………………………………212

はじめに

本書の読み方

取扱説明書は、デジタルビデオカメラの使い方に応じて８つの編に分かれています。

■ これだけは知っておこう編

はじめて使うときの準備から、ビデオの撮影や再生の基本的な手順を説明します。専用プリンター付きアクセサリーキットをお持ちの場合は、撮影したビデオや写真を印刷して楽しめます。お買い上げ後に初めて使うときは、必ずお読みください。

■ 撮影・初級テクニック編

操作は簡単でも効果が大きい、知っていると便利な機能について説明します。『これだけは知っておこう編』の操作に慣れてから、お読みください。

■ 撮影・上級テクニック編

フラッシュの明るさや画面の色のバランスを手動で調節する方法や、ビデオ撮影中にさまざまな効果を挿入する方法などを説明します。

■ 再生と印刷を工夫しよう編

専用プリンターを使って、絵はがきを作ったりシール印刷を楽しむ方法について説明します。また、印刷すると面白い、ビデオ画像の加工方法についても説明します。プリンターをお持ちにならない方も、必要に応じてお読みください。

■ ビデオを編集してみよう編

撮影したビデオを編集して、個性的な作品に仕上げるための機能について説明します。

■ 設定を変えて使いこなそう編

ビデオカメラには、上記の編では説明しきれない数多くの機能があります。この編では、各種機能の設定について説明します。

■ その他

故障かなと思ったときの対処方法や、使用上のご注意、日常のお手入れ、主な仕様などについて記載しています。

■ 索引

五十音順索引のほか、メニュー一覧、ビデオカメラの各部の名前、画面表示の見方を記載しています。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

記号の意味

本文中には、次の記号が使われています。

ご注意　操作上の注意などが書かれています。

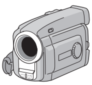


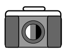
使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。

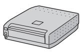

使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。


関連するページを示しています。

ページの上部または右下には、次の記号が使われています。


ビデオ撮影にのみ関わる操作を説明するページです。

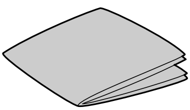

写真撮影にのみ関わる操作を説明するページです。

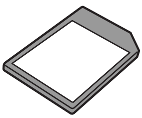

専用プリンターの操作を説明するページです。

次へ続く▶　次のページに説明が続きます。

付属品について

付属品をお確かめください。


クリーニングクロス


メモリーカード（MultiMediaCard）


MCプロテクター（レンズ保護用）

ビデオカメラに取りつけ済（メモリーカード、MCプロテクター）

こんなことができます

ビデオと写真が同時に撮れる ー Dual Movie ー

デジタルビデオとデジタルカメラで１台２役のDual Movie。ビデオを撮影しながら、写真が撮れます。モードの切り換え不要なので、ビデオ撮影中でもシャッターチャンスを逃しません（☞P 52）。

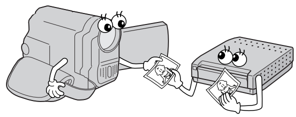
写真がより綺麗に撮れる ー XGAモードー

写真専用のXGAモードを搭載。従来機種（VGAモード相当）よりも高解像度の綺麗な写真を撮影できます（☞P 77）。



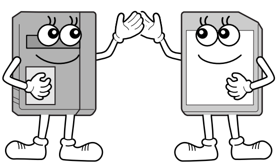
楽しい、簡単、らくらくプリント

簡単な操作で綺麗に印刷できます。絵はがき印刷やシール写真が楽しいフレーム機能と、用紙いっぱいに印刷する枠なし機能をご利用になれます（☞P 114）。
専用プリンター付きのアクセサリーキットをお買い求めください。



ビデオはテープ、写真はカード

ビデオ（動画）はDVカセットテープに録画し、写真はメモリーカード（MultiMediaCard）に保存します。ビデオと分けて保存するので、簡単に写真を探せます。
ノートパソコンをお使いの方は、別売アダプターで写真を素早く取り込めます
（☞P 157）。

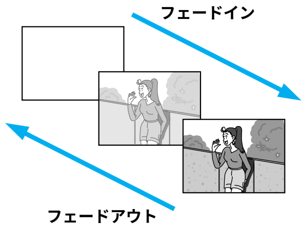


動画も綺麗になった ー高画質CCD搭載ー

クッキリ、綺麗なビデオを撮れる、新しいプログレッシブカメラを採用。手ぶれ補正中でも、映像の美しさを損ないません。

デジタル演出で個性を演出

さまざまな演出効果を用意しています。これらを駆使して個性的な映像を創造してみましょう。演出効果は、録画時と編集時のどちらでもご利用になれます
（☞P 100、106、131、145）。



デジタルダビングで劣化知らず

デジタルビデオ専用の入力／出力端子を搭載しました。デジタルだから、画質と音質を損なうことなくダビング＆編集できます
（☞P 138）。

どこでも撮れるオートフラッシュ

暗い場所で写真を撮ると、自動的にフラッシュが光ります。また、フラッシュ撮影では被写体の瞳が赤くなることがありますが、オート赤目軽減モードで目立たなくします（☞P 91）。

レンズカバーは自動で開閉

ビクター独自の電源連動「おまかせレンズカバー」を採用。レンズキャップの取り忘れでシャッターチャンスを逃がしません。撮影中もレンズキャップが邪魔になりません。

逆光でも大丈夫、スポットライトも平気

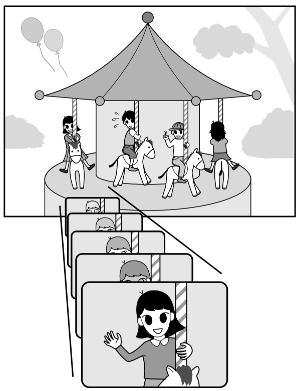
普通の撮影では、太陽を背にした人の顔は真っ暗に、スポットライトが当たった人の顔は真っ白に写るもの。逆光補正ボタンやスポットライト補正ボタンを押すだけで、こんなときでも自然な画像を撮影できます
（☞P 82、83）。

動きの速いものにも滑らかなスローモーション

動きの速いものを撮ると、スロー再生したときに動きがぎこちなくなることがあります。そんなときは、あらかじめ高速撮影しておくと、新機能プログレッシブスローでスローモーションを滑らかに再生できます（☞P 88）。

拡大しても滑らか画像

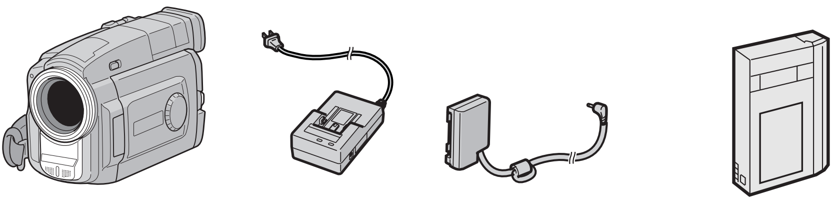
被写体を光学ズームで10倍まで、デジタルズームなら200倍まで拡大できます。光学ズームは被写体そのままの美しさを、デジタルズーム時も補正技術で滑らかで鮮明な画像を保ちます。
また、PSワイドモードでは広角側0.7倍のワイド撮影ができます（☞P 49、166）。



いますぐ
ビデオを撮影してみよう

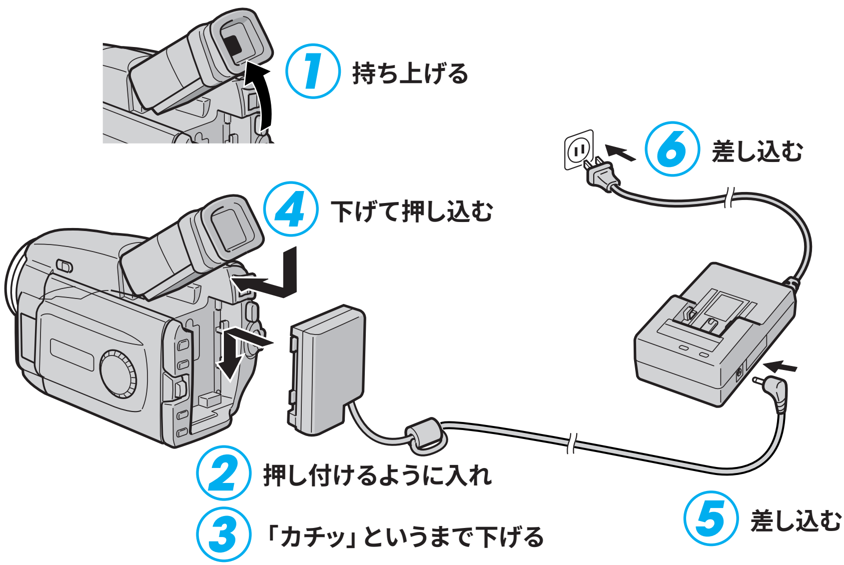
箱を開けたら、何はともあれビデオを撮影してみましょう！
最初はバッテリーが充電されていないので、コンセントにつないで撮影し、再生してみます。
ボタンやランプの名前なんて知らなくても大丈夫。ともかく、この通り操作すれば撮影できます。

用意するもの

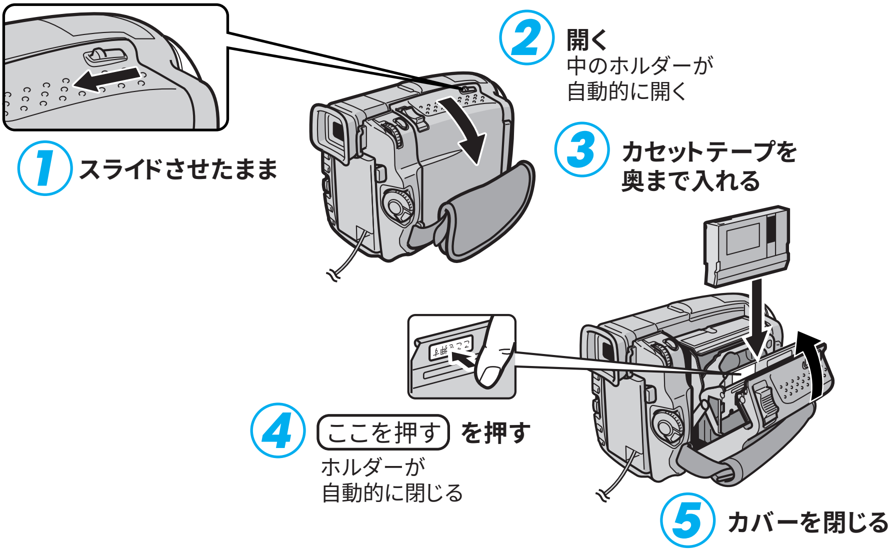


本体　　ACアダプター　　DCコード　　DVカセットテープ（別売）
（アクセサリーキットから）

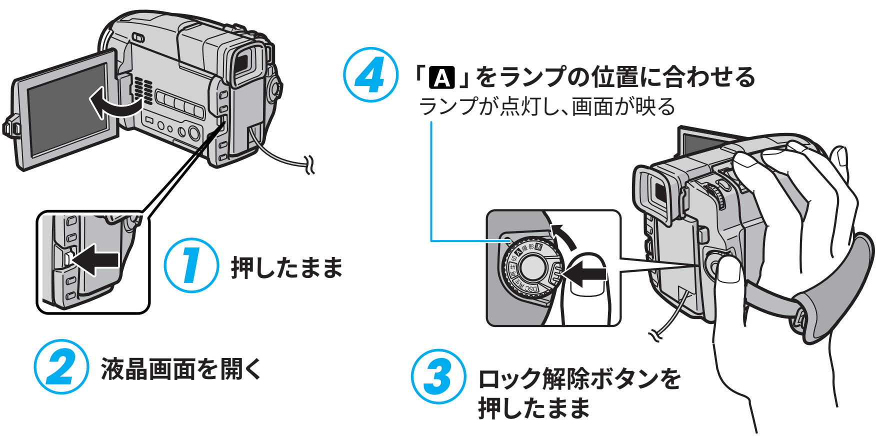
コンセントにつなぐ



カセットテープを入れる

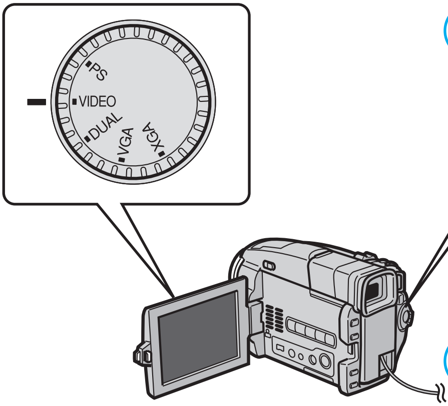


撮影できる状態にする



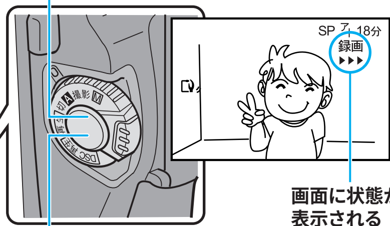
撮影する

1 「VIDEO」を線の位置に合わせる



2 撮影ボタンを押し、撮影を開始する

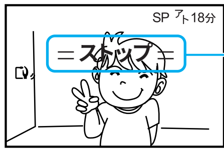
画面表示: ▶▶▶



画面に状態が
表示される

3 もう一度押し、撮影を停止する

画面表示: ≡ストップ≡

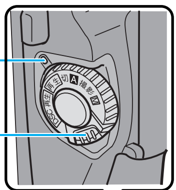


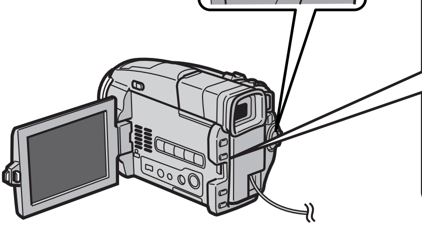
画面の状態が
表示される

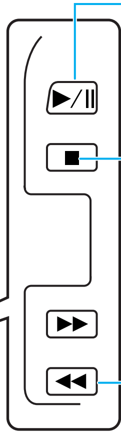
撮ったビデオを見る

1 ロック解除ボタンを
押したまま

2 「再生」をランプの位置に
合わせる







3 ◀◀ を押して
巻き戻す

画面表示: ◀◀

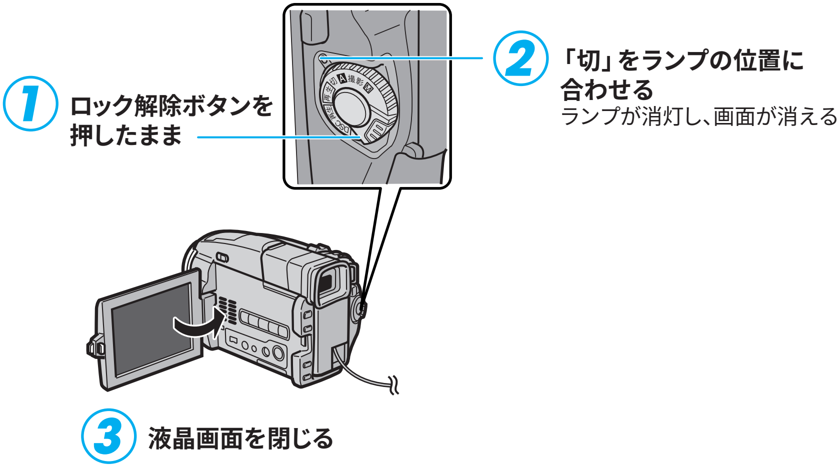
テープの先頭まで
巻き戻ると、停止する

4 ▶/II を押して
再生する

画面表示: ▶

5 ■ を押して停止する

電源を切る



機能デモを見てみよう

本機には、演出効果などの機能を確認するためのデモモードがあります。

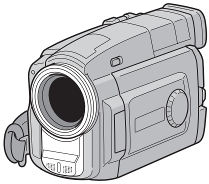
ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。

機能デモを表示させるには ☞ **P.** 165、 166、167

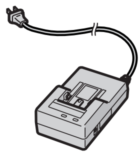
いますぐ
写真を撮影してみよう

このビデオカメラでは、ビデオのほかに写真も撮れます。
今度は写真も撮影してみましょう！
最初はバッテリーが充電されていないので、コンセントにつないで撮影し、再生してみます。
ボタンやランプの名前なんて知らなくても大丈夫です。

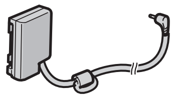
用意するもの



本体



ACアダプター



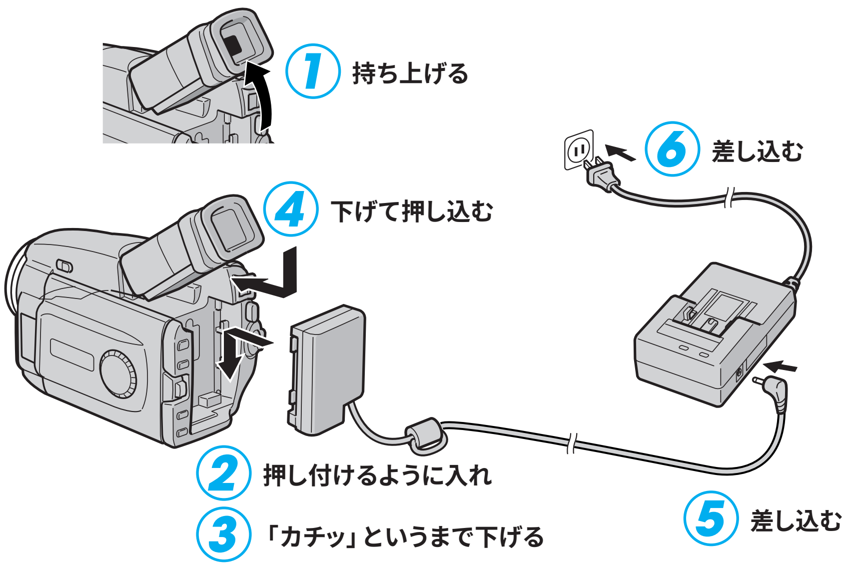
DCコード

（アクセサリーキットから）

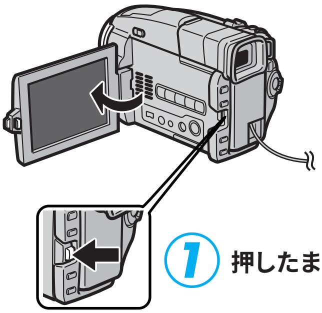


メモリーカード
（出荷時に取りつけ済）

コンセントにつなぐ

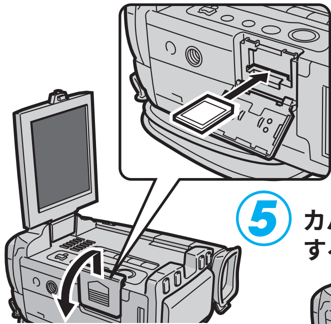


メモリーカードを入れる（出荷時にあらかじめ取り付け済です）



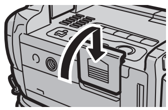
1 押したまま

2 液晶画面を開く



4 メモリーカードをカチッと音がするまで入れる

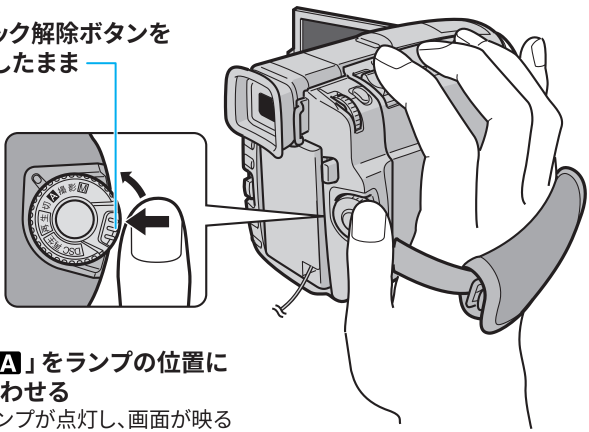
3 スライドさせてから開く



5 カバーをカチッと音がするまで押して閉じる

撮影できる状態にする

1 ロック解除ボタンを押したまま

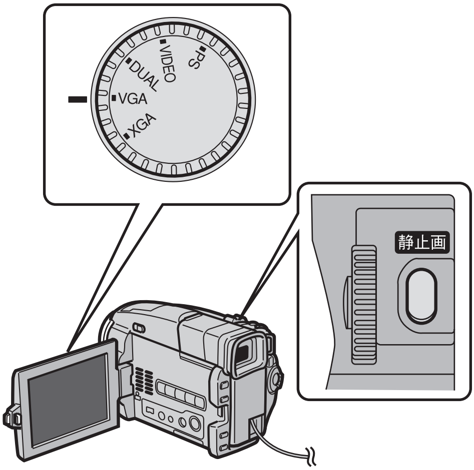


2 「A」をランプの位置に合わせる

ランプが点灯し、画面が映る

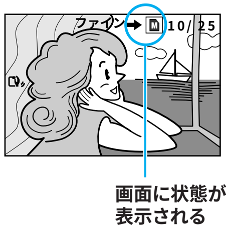
撮影する

1 「VGA」を線の位置に合わせる



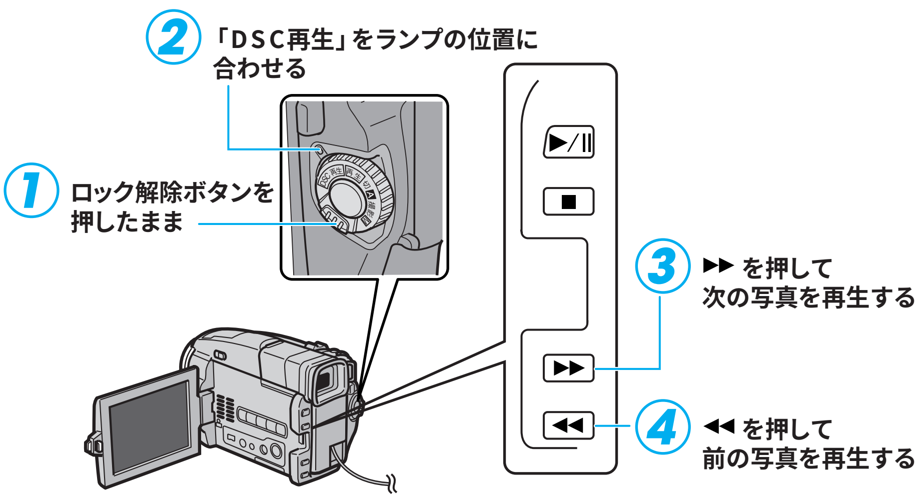
2 静止画ボタンを軽く押す（半押し）
画面が静止画になります。

3 静止画ボタンを強く押す（全押し）
写真が撮影されます。
画面表示: ➡ M

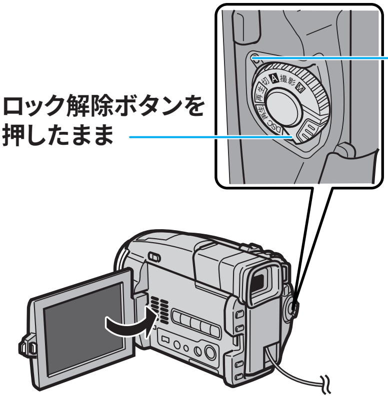


4 手順2～3を繰り返す

撮った写真を見る



電源を切る



ビデオ撮影、本番へGO!

とにかくすぐに撮影をしてみるステップはこれで終了。次は、いよいよ撮影本番！　バッテリーを使い、いろいろなシーンを撮影しましょう。
バッテリーの充電には約120分かかります。この待ち時間を利用して、いくつかのページに目を通してみてください。きっと撮影のときに役立ちます。

バッテリーで撮影する ☞ **P.** 30

上手に撮るコツ ☞ **P.** 48、54

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

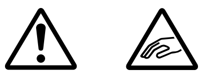
⚠危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

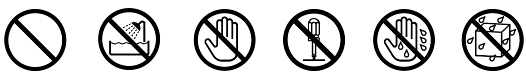
絵表示の説明

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号



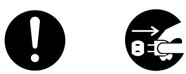
一般的注意　手がはさまれる

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止　水場での使用禁止　接触禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



一般的指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告

■煙が出たり、へんな臭いがするときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■落としたり、壊れたときなどは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■内部に水や異物が入ったときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■電源コードが傷んだときは、電源プラグを抜く

・販売店に修理を依頼してください。
・芯線が露出していたり、断線したままで使用すると、火災や感電の原因になります。

■持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない

・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、 けがの原因となります。

■不安定な場所に置かない

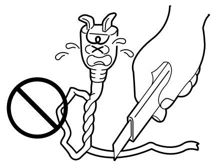
・ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

⚠警告

■電源コードを傷つけない



・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
　加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
　熱器具に近づける。

■内部に物を入れない

・カセットテープの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れない でください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■内部の部品に触らない

・カセットテープの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■自動車などの運転中に使用しない

・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
　交通事故の原因になります。

■レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない

・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

⚠警告

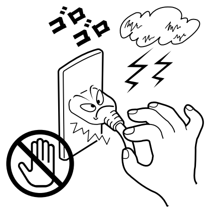
■ぬらさない





- 火災や感電の原因となります。
- 風呂場では使用しないでください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
- 水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

■雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない



- 感電の原因となります。

■電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

- 接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- 最後までしっかりと接続してください。

■電源プラグにほこりや金属物を付着させない

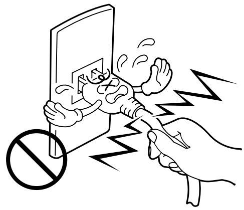
- ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。
- ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■上に乗らない

- 倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

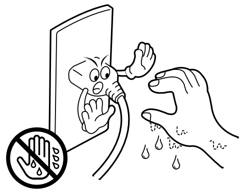
⚠注意

■電源コードはコードの部分を持って抜かない



- コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- プラグの部分を持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- 感電の原因となることがあります。

■次のような場所には置かない

- 砂浜などの砂ぼこりのある所
- 湿気やほこりの多い所
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
- 熱器具の近くなど
- 真夏の車内など高温になる所
- 直射日光の強い所
  火災や感電の原因となることがあります。

■上に重い物を置かない

- バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■カセットの出し入れ口に手を入れない

- 手をはさまれてけがをする原因となります。
- 特にお子様にご注意ください。

■本体に衝撃を与えない

- けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

⚠注意

■指定以外のアクセサリーを使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■別売の照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■コード類は正しく配置する

・ACアダプターの電源コードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■長期間使用しないときはバッテリーをはずし､電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

⚠注意

■バッテリーやグリップベルトは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■お手入れするときは、バッテリーをはずし、電源プラグを抜く

・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■5 年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ AC アダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

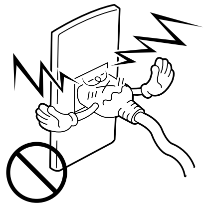
・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

AC アダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■ AC アダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。



■ AC アダプターは指定以外のビデオカメラやバッテリーには使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、ビデオカメラやアクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■ AC アダプターの分解や改造をしない

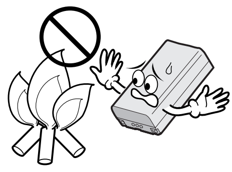
・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■ バッテリーを充電するときは、指定の AC アダプターを使う

・性能や形状が異なると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

■ バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。



ＡＣ アダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

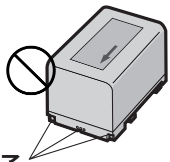
■高温の場所（60 ℃以上）に置かない



・発熱、破裂、発火の原因となります。

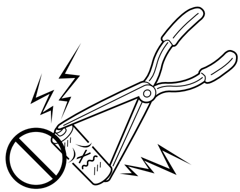
■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



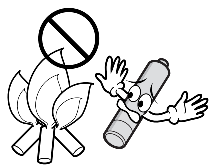
■乾電池の端子部（⊕ と⊖ ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。



■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。



ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない

・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く

・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない

・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕ と⊖ ）の向きに注意する

・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけが、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

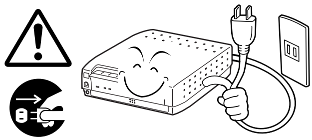
・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

プリンターについて

⚠警告

■いつでも抜けるような場所に電源プラグを差し込む

・プリンターの電源を切っても、少量の電流が流れています。
・プリンターの電源プラグは異常が発生したときに、すぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。また、プリンターの電源プラグは、テレビやビデオなどの電源コンセントと、別のコンセントに差し込んでください。



⚠注意

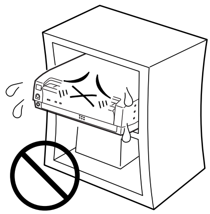
■プリンターを次のような場所には置かない

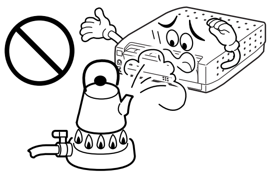
故障や火災、感電、変形の原因となることがありますので、本機を次のような場所に置かないでください。

●風通しの悪いところ
プリンターは風通しのよいところに置いてください。
システムラックに組み込んだときは、必ず本機とラックの間にすきまをあけてください。

●湿気やほこりの多いところ
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
油煙や湯気が当たるような場所はさけてください。

●高温になるところ
直射日光が当る場所や熱器具の近くなど異常に温度が高くなる場所に置かないでください。





■海外では使用できません

・ビデオプリンターを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
＜This VIDEO PRINTER set can not be used in foreign country as designed for Japan only.＞

リモコンについて

⚠注意

■高温になる場所に置かない

・晴天の閉めきった車内など、高温になる場所に放置しないでください。

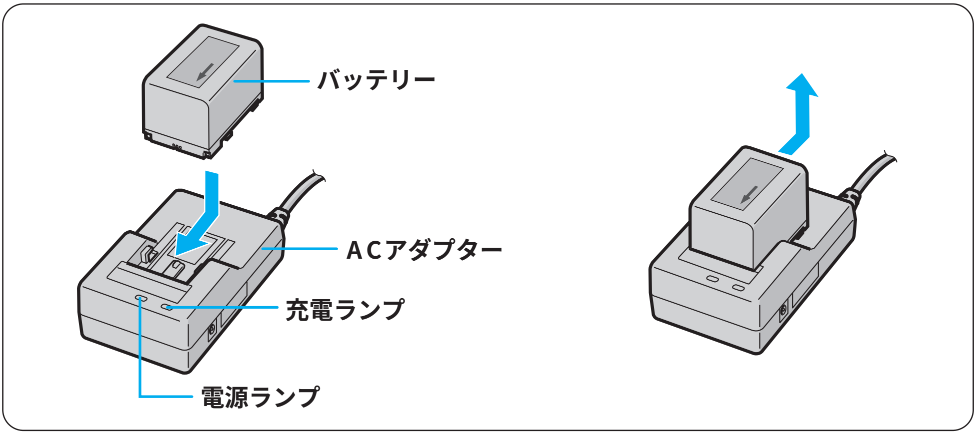
■次のような場所に長時間置かない

・直射日光などにさらされる場所
・ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所

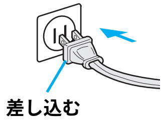
準備する

Step1　バッテリーを充電する

バッテリーの充電には、別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)の AC アダプターを使用します。



1　AC アダプターの電源コードをコンセントに差し込む

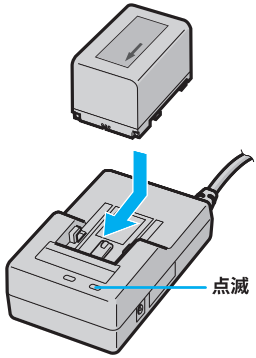


電源ランプが点灯します。

2　バッテリーを取り付け、充電する

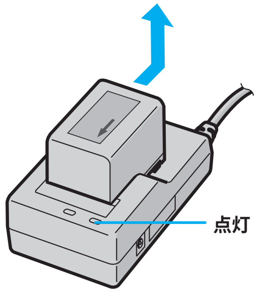
ご注意
- DC コードは接続しないでください。充電できません。

充電ランプが点滅します。

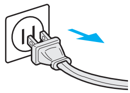


3 充電ランプの点滅が点灯に変わったら、バッテリーを取りはずす

バッテリーが充電されました。



4 AC アダプターの電源コードを抜く





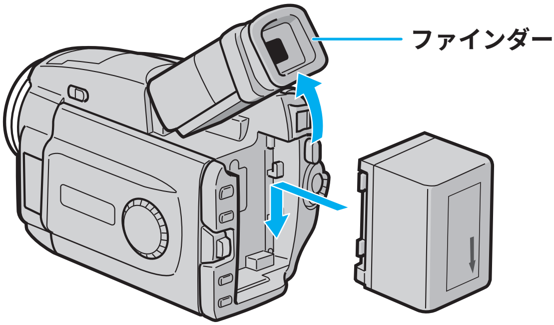
- 充電時間の目安（室温 10 ℃～ 35 ℃）：小型バッテリー(BN-V607)で約 90 分、
  標準バッテリー(BN-V615X)で約 120 分、
  長時間バッテリー(BN-V628)で約 200 分。



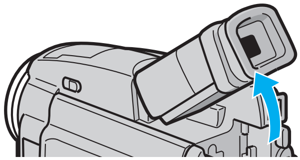
- 十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください。

Step2　バッテリーを取り付ける

バッテリーは出荷時には充電されていません。AC アダプターで充電してからお使いください。充電が終わっていない場合など、必要に応じて AC アダプターを取り付けて使用することもできます(☞ P 61)。



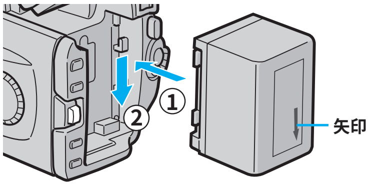
1 ファインダーを上げる



2 充電済みのバッテリーを取り付ける

①矢印を下向きにして本体に押しつけます。

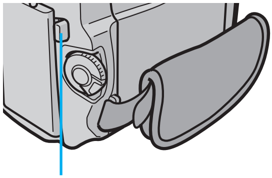
②カチッと音がするまで下へスライドさせて取り付けてください。

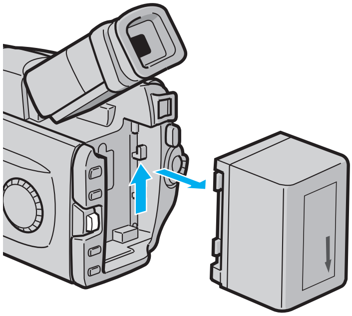


バッテリーを取りはずすには

1 前のページの手順2で、「バッテリー取りはずし」ボタンを押したまま、バッテリーを取りはずす

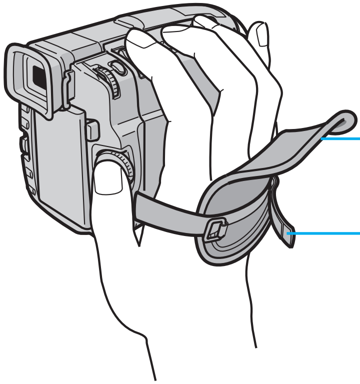
- 下から上へスライドさせ、手前に引いて取りはずしてください。





Step3　グリップベルトを合わせる

手の大きさに合わせるため、グリップベルトを調節します。



1 パッドのマジックテープをはがす

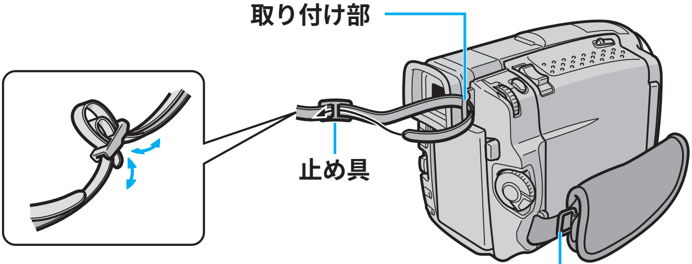
2 ベルトの長さを調整する

- 構えたときに、本体がぐらつかない程度にベルトを締めてください。

3 パッドを貼り付ける

ショルダーストラップの取り付けかた

移動中に肩にかけられるようになります。落下することがないように、しっかりと取り付けてください。



1 **ショルダーストラップの先をファインダーの横の取り付け部に通す**

2 **長さを調整し、止め具で固定する**

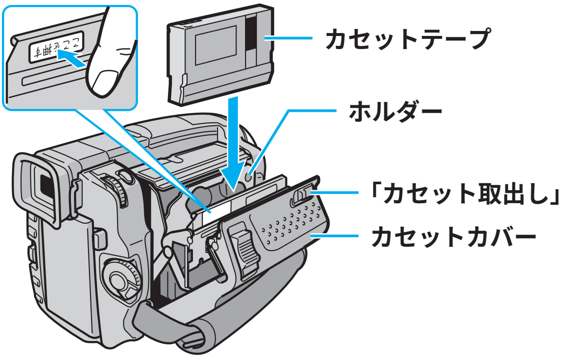
- 止め具を通っているショルダーストラップを少しゆるめて調整します。

3 **もう一方の先をグリップベルトの取り付け部に通し、止め具で固定する**

- ショルダーストラップを引っぱり、確実に取り付けられたか確認してください。

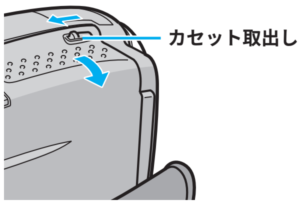
Step4　カセットテープを入れる

ビデオを撮影するには、DV カセットテープを使用します。



1 「カセット取出し」スイッチを「開」の方向にスライドさせたまま、カセットカバーを手で開ける

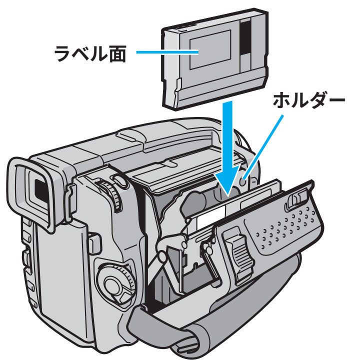
本体内部のホルダーが自動的に開きます。



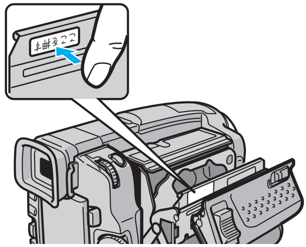
2 カセットテープをホルダーに入れる

- カセットテープのラベル面をカセットカバー側に、カセットテープの前方を下にして入れます。

  カセットテープを指で軽く押して、ホルダーの奥まで確実に入れてください。



3 ホルダーの「ここを押す」を押す



ホルダーが自動的に収納されます。

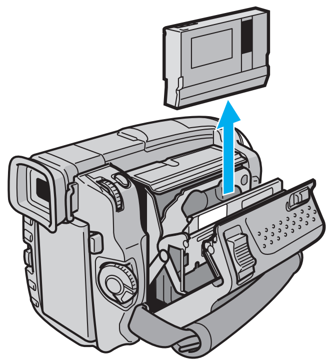
- ホルダーが収納されない場合、カセットカバーを完全に開いてカセットテープを取り出し、少し待ってから入れ直してください。

ご注意
- 指などをはさまれないようにご注意ください。

4 カセットカバーをカチッと音がするまで押して閉める

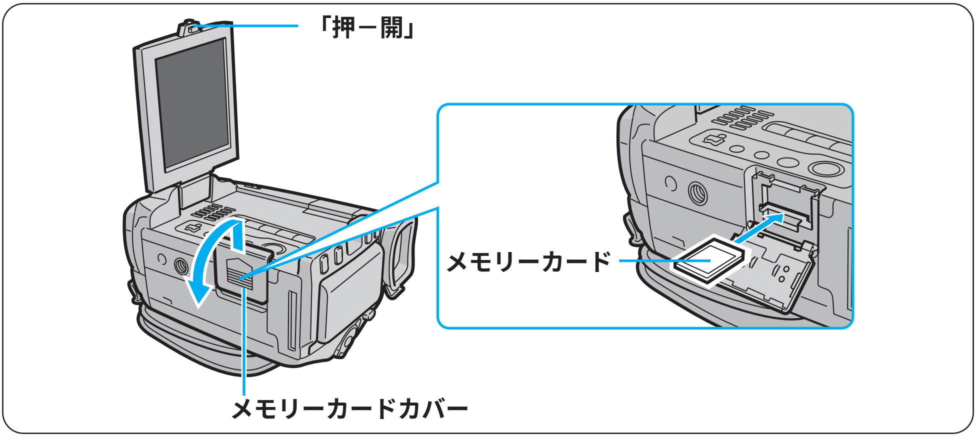
カセットテープを取り出すには

1 前のページの手順 2 で、カセットテープを引き上げて取り出す



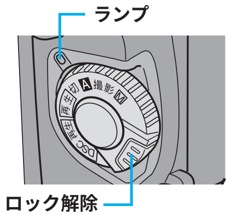
Step5　メモリーカードを入れる

写真を撮影するには、メモリーカード（MultiMediaCard）を使用します。付属のメモリーカードは、出荷時にあらかじめ入れてあります。



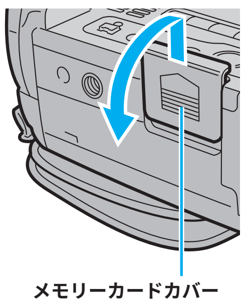
1 「切」がランプの位置に合っていることを確認する。

- 合っていないときは、ロック解除ボタンを押したまま、「切」をランプの位置に合わせてください。



ご注意
- 電源を切らずにメモリーカードを抜き差しすると、故障する恐れがあります。

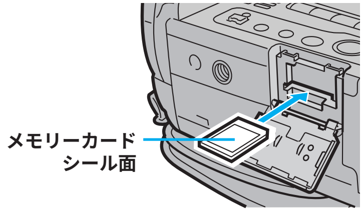
2 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開き、メモリーカードカバーをスライドさせてから開ける



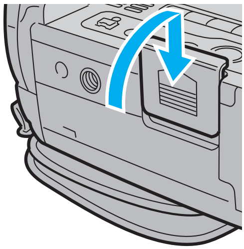
3 メモリーカードを電極部分から差し込む

- カチッと音がするまで差し込んでください。

ご注意
- メモリーカードの電極部分を触らないでください。



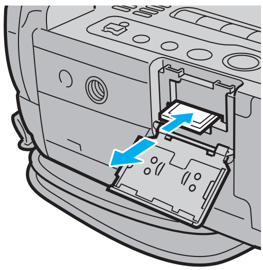
4 メモリーカードカバーを、カチッと音がするまで押して閉める



メモリーカードを取り出すには

1 上の手順 3 でメモリーカードを押す

2 出てきたメモリーカードを引き抜く

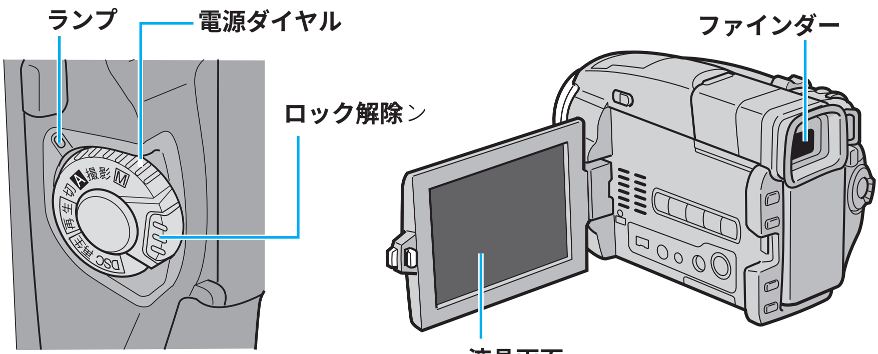


Step6　電源を入れる

電源は液晶画面やファインダーと連動しています。液晶画面を開く（またはファインダーを引き出す）とすぐに撮影を始められ、液晶画面とファインダーを元に戻すだけで電源を切れます。

撮影するときは

つぎの２つの条件が揃ったときに電源が入り、ランプが点灯します。どちらを先にしても構いません。



■電源ダイヤル

ロック解除ボタンを押したまま、ダイヤルの「A」または「M」をランプの位置にを合わせる。

■液晶画面とファインダー

液晶画面を開く、またはファインダーを引き出す。

電源を切るには

電源ダイヤルを「切」に合わせる。
または、液晶画面とファインダーを元に戻す。

ご注意
- 長期間使わないときは、電源ダイヤルを「切」にし、バッテリーと AC アダプターを取りはずしてください（☞ P.33、61）。

再生するときは

撮影とは異なり、次の操作だけで電源が入り、ランプが点灯します。

■電源ダイヤル

ロック解除ボタンを押したまま、ダイヤルの「再生」または「DSC 再生」をランプの位置に合わせる。

ビデオを再生するとき　：「再生」
写真を再生するとき　　：「DSC 再生」

電源を切るには

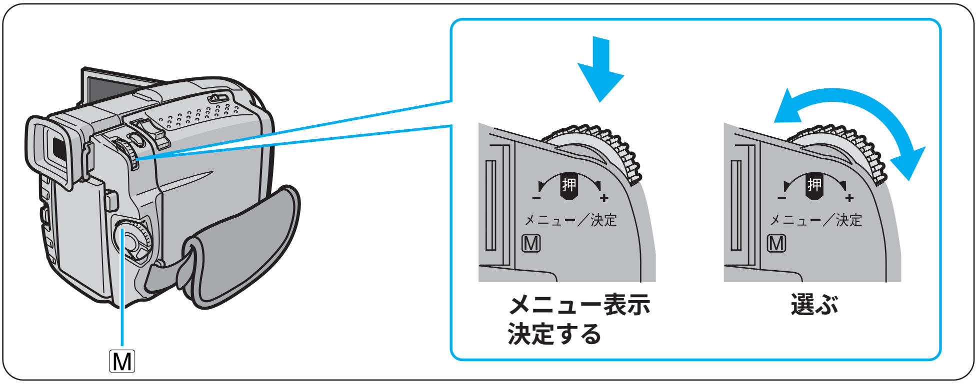
電源ダイヤルを「切」に合わせる。

ご注意

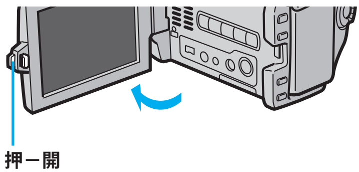
- 液晶画面を閉じていても電源が入ります。気づかずにバッテリーを消費してしまうことがあるので、再生したあとは必ずランプが消灯していることを確認してください。
- 長期間使わないときは、バッテリーと AC アダプターを取りはずしてください（☞ P.33、61）。

日付・時刻を合わせるには

ビデオカメラには出荷時に日時を設定してありますが、お客様のお手元に届くまでに時刻がずれたり、設定が消えていることがあります。お使いになる前に、正しい日時を設定しなおしてください。また、日時が異なる国へ旅行するときも、日時設定を変更してください。
画面に「日時を設定してください！」とメッセージが表示されたときは、時計用の内蔵電池が空になっています。内蔵電池を充電するため、AC アダプターを 24 時間以上接続してから日時を設定してください。

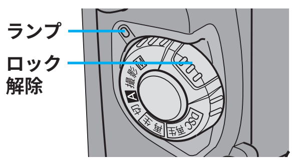


1 **「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く**

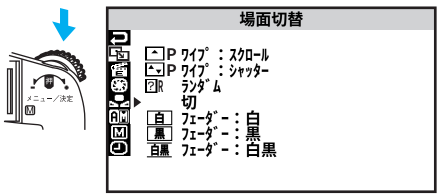


2 **ロック解除ボタンを押したまま、「M」をランプの位置に合わせる**

ランプが点灯し、液晶画面に映像が映ります。

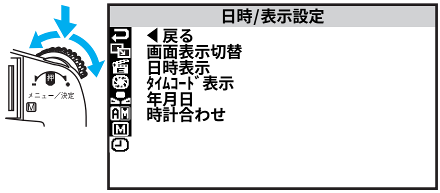


3 **「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する**



4 ダイヤルを回して「◷」を選び、押して決定する

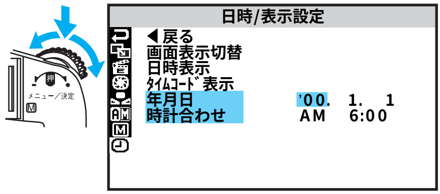
日時／表示設定メニューが表示されます。



5 ダイヤルを回して「年月日時計合わせ」を選び、押して決定する

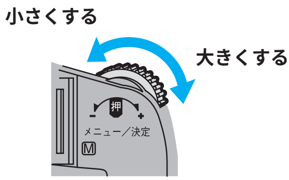
年が変更できるようになります。

西暦 2000 年は 00 で表示されます。



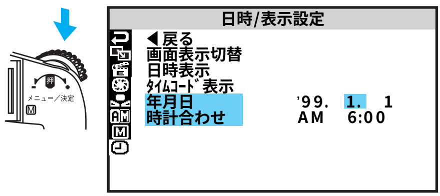
6 ダイヤルを回して正しい年に合わせる

- 数値を大きくする→「＋」側
- 数値を小さくする→「－」側



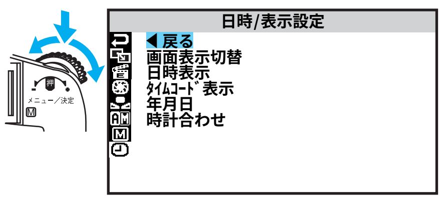
7 ダイヤルを押して年を決定する

月が変更できるようになります。



8 同様にして、月日と時刻を合わせ、ダイヤルを押して決定する

「戻る」が反転します。



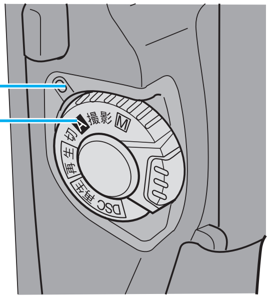
9 ダイヤルを 2 回押す

メニューが終了し、撮影画面に戻ります。

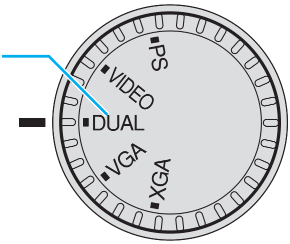
撮影する

Act.1　設定を確認する

撮影前に、撮影モードなどの設定とテープやバッテリーの残量を確認します。まず、ダイヤルの設定を確認します。



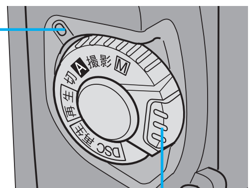
電源ダイヤル



撮影モードダイヤル

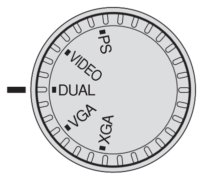
上図のように設定されていないときは、下記の手順で設定してください。この取扱説明書では、特に断りがないときは上図の設定で操作しています。

1 ロックを解除ボタンを押したままダイヤルを回し、「A」をランプの位置に合わせる



2 ダイヤルを回して「DUAL」を線の位置に合わせる

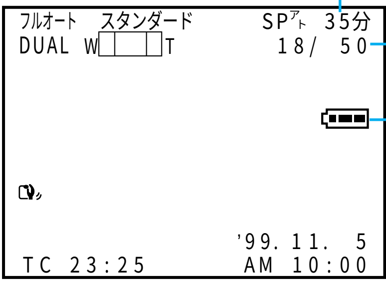
- ほかのモードについては、「撮影モードごとの特徴」で説明します（☞ P.55）。



- 撮影モードダイヤルの設定が線の位置からズレていると、「VIDEO」モードとして動作します。正しく線の位置に合わせてください。

画面表示を確認する

テープ、メモリーカード、バッテリーの残量を確認します。



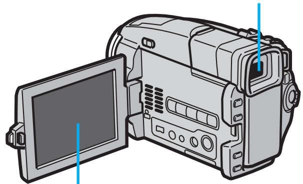
テープ残量表示
あと約35分撮影できます。

写真撮影可能枚数表示
全部で約50枚撮影できます。
すでに18枚撮影されています。

バッテリー残量表示
十分充電されています。

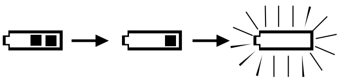
1 液晶画面を開くか、ファインダーを引き出す

撮影画面が表示されます。



2 画面表示を確認する

- バッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してください（☞ P.30）。



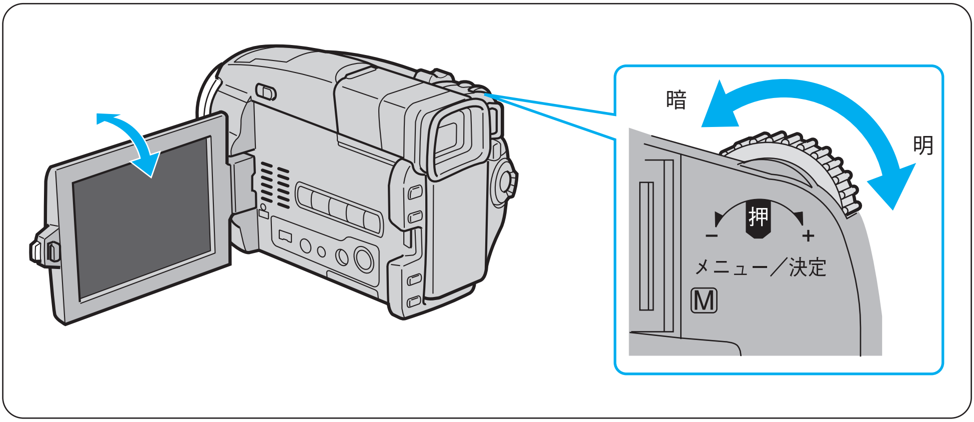
- テープ残量が足りない場合は、テープを交換してください（☞ P.36）。
- メモリーカードの写真撮影可能枚数が足りない場合は、メモリーカードを交換してください。または、いらない写真を削除してください（☞ P.74）。
- 写真撮影可能な枚数は、撮影画像、画質モードの変更などによって増減します。
- 入れたばかりのテープでは、テープ残量は表示されません。一度テープを走行させて表示してください。
- テープ残量は目安としてお使いください。
  使用するカセットテープによっては、正しく表示されない場合があります。80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示が出るまでに多少時間のかかることがあります。

次へ続く

Act.2　液晶画面やファインダーを調整する

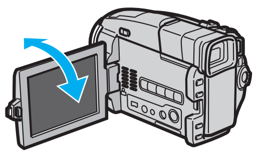
液晶画面を使うとき

画面表示や映像を見やすいように、液晶画面を調節します。



1 液晶画面の角度を調節する

- 液晶画面枠の上下に手を添えて、見やすい角度に傾けてください。

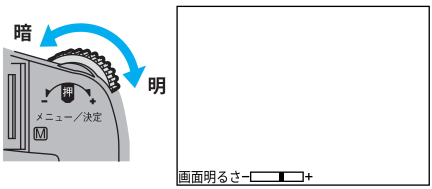


2 明るさを調節するには、「メニュー／決定」ダイヤルを回す

- 見やすい明るさに調節してください。

明るくする　→　「＋」側

暗くする　　→　「−」側

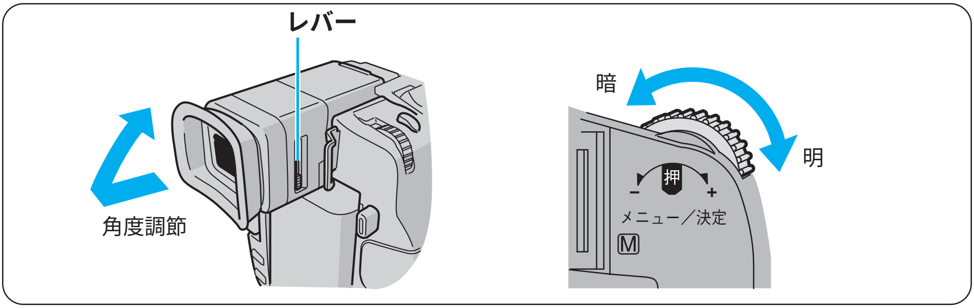




- ファインダーを引き出すと液晶画面は表示されません。液晶画面を使用するときは、ファインダーを引き出さないでください。

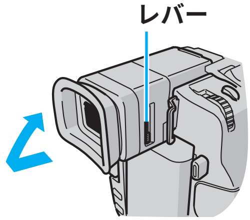
ファインダーを使うとき

周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーで長時間撮影したいときは、ファインダーを使って撮影することをお勧めします。



1 ファインダーの角度を調節する

- ファインダーを引き出してから、見やすい角度に上げてください。



2 ファインダー内の画面の見え方を調節する

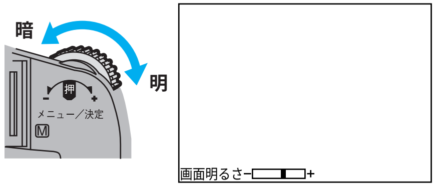
- ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止めてください。

3 明るさを調節するには、「メニュー／決定」ダイヤルを回す

- 見やすい明るさに調節してください。

明るくする　→　「＋」側

暗くする　　→　「－」側



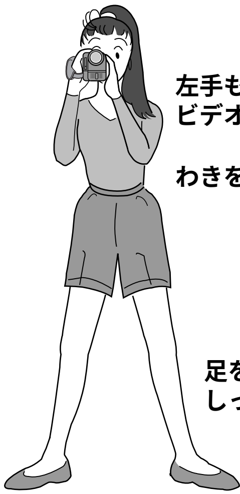
液晶画面とファインダー

液晶画面の表示とファインダー画面の表示は同じです。この取扱説明書では、液晶画面を使う場合を例にとって説明します。ファインダーを使用する場合は、液晶画面を開く代わりにファインダーを引き出してください。

次へ続く

Act.3　カメラをかまえる

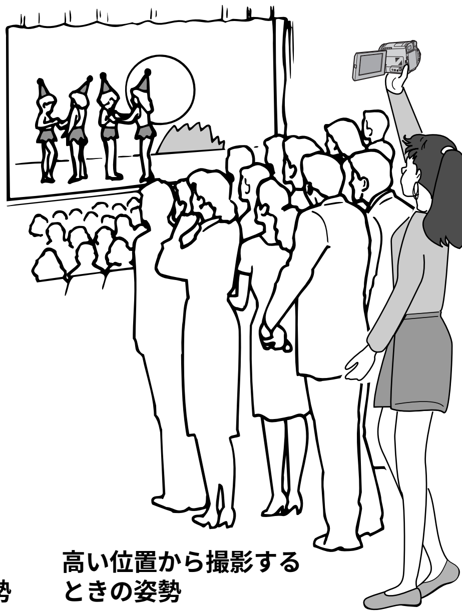
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。ビデオカメラがふらつかないように、安定した姿勢をとりましょう。







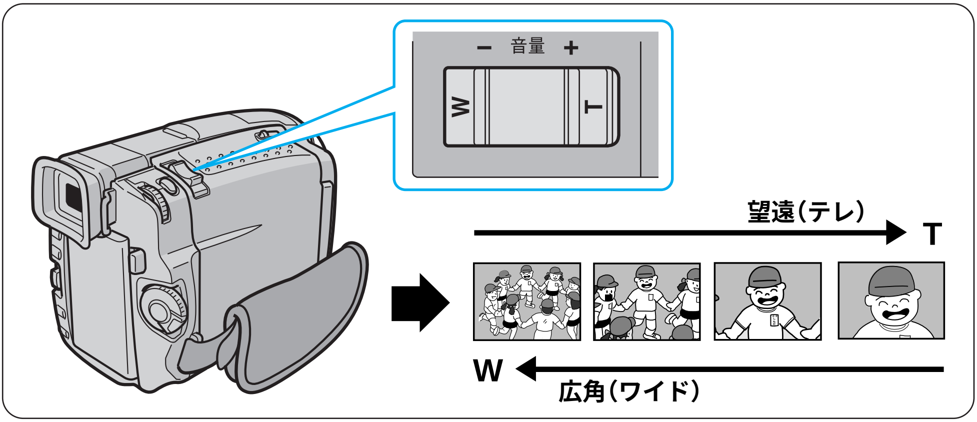
低い位置から撮影するときの姿勢



高い位置から撮影する
ときの姿勢

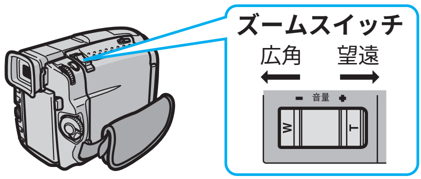
Act.4　撮影する範囲を調整する[ズーム]

ズームスイッチを使って、撮影する範囲を調整できます。画面に被写体が小さく見えているときは望遠側（T）へ調整し、より広い範囲を画面に収めたいときは広角側（W）へ調整します。



1 ズームスイッチをスライドさせる

- 望遠（遠くのものを大きくする） → 「T」
- 広角（撮影範囲を広げる） → 「W」



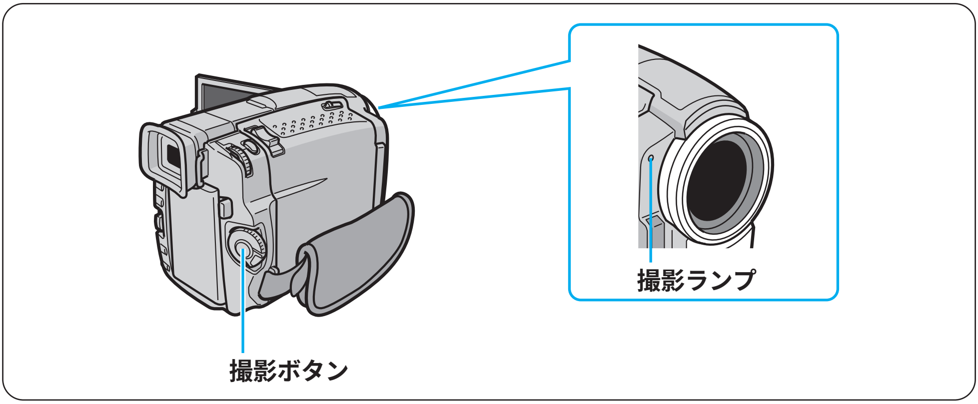
● 最大ズーム倍率	： 何倍までズーム可能にするかを変更できます。（☞ P.165）
● 10倍以上のズーム（デジタルズーム）	： 10倍までの映像に比べて、デジタル処理をするため多少映像品質が劣化します。
● 接写したいとき（マクロ撮影）	： W側にいっぱいまで押すと、レンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影できます。

● 10倍以上のズームが使用できない	： 撮影モードダイヤルを「VIDEO」と「PS」以外に設定すると使用できません。また、映像をデジタル処理する機能（ゴースト、オーバーラップ、など）やPSワイドとの併用はできません。
● 勝手に広角（W）になる	： T側にいっぱいまで押すと、レンズから被写体を1m以上離さないとピントが合いません。ピントが合わないときは、自動的にW側に調整されます。 テレマクロ機能を設定すると、T側で約60cmまで近づいて撮影できます。（☞ P.168）

次へ続く

Act.5A　ビデオを撮影する

ボタン１つで、簡単に撮影できます。

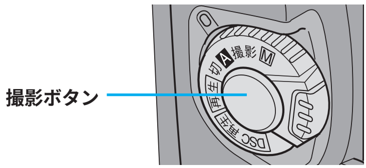


1 撮影ボタンを押し、撮影をはじめる

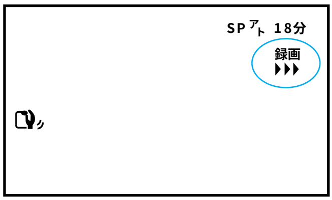
- ポンと音がするまで押してください。

画面に「録画」と表示されます。

レンズ横の撮影ランプが点灯します。



撮影中の画面

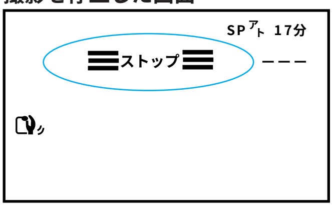


2 撮影をやめるには、もういちど撮影ボタンを押す

- ポポンと音がするまで押してください。

画面に「ストップ」と表示されます。

撮影を停止した画面



・ **実撮影時間の目安**

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V607	約 40分	約 30分
BN-V615X	約1時間15分	約1時間
BN-V628	約2時間5分	約1時間45分
BN-V840	約2時間40分	約2時間20分
BN-V856	約4時間10分	約3時間25分

・ **連続撮影時間の目安（最大撮影時間）**

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V607	約1時間20分	約1時間5分
BN-V615X	約2時間40分	約2時間10分
BN-V628	約4時間30分	約3時間50分
BN-V840	約5時間50分	約5時間
BN-V856	約9時間	約7時間30分

撮影時間は、ズームを使ったり、撮影停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約 3 倍分ご用意されることをお勧めします。
連続して撮影するには BN-V840 または BN-V856 をお勧めします。（BN-V856 は VU-V856KIT に同梱されています。BN-V840 は VU-V840KIT に同梱されています。）
実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返したときの撮影時間です。
実際には、これよりも短くなることがあります。

- **撮影中の音声をモニターしたいときは**
  ビデオカメラのスピーカーからは撮影中の音声は出ません。音声を聞きながら撮影したいときは、別売のヘッドホンをヘッドホン端子につないで聞いてください。このとき音量は再生時に調節したままとなります。（☞ P.57）

- **あとで自動編集するときは**
  タイムコードと無記録部分についてご覧ください。（☞ P.135）

- **あとでアフレコするときは**
  録画モードを SP にして撮影してください。（☞ P.165）
  音声モードを 12BIT にして撮影してください。（☞ P.165）
  お買い上げ時には録画モードは SP、音声モードは 12BIT に設定されています。

- **電源が切れてしまったら**
  撮影を停止してから 5 分経つとビデオカメラの節電とテープ保護のため自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、ファインダーを一度入れ、再び引き出してください。液晶画面をお使いのときは、液晶画面を一度閉じ、再び開いてください。

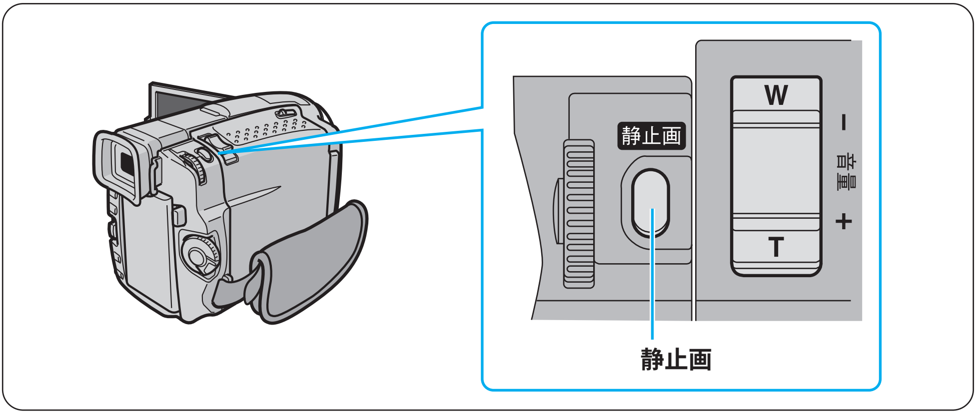
- **バッテリー残量表示（ ）が出たら**
  バッテリーが少なくなっています。バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。
  電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

- **正常に録画できない**
  ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞ P.178）大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

次へ続く

Act.5B　写真を撮影する

写真の撮影も、ボタン1つでできます。



1 「静止画」ボタンを軽く押す（半押し）

画面の右下に静止画が表示されます。


半押し

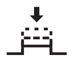


2 そのままボタンを押し込む（全押し）

静止画の映像を、写真に撮れます。

- キャンセルするには、半押しのまま指を離します。

➡ M の矢印が点滅して写真をメモリーカードに取り込みます。


全押し



MEMO

撮影枚数の目安

画像サイズ	画質／容量	ファイン(F)	スタンダード(S)	エコノミー(E)
VGA	4MB	約 25 枚	約 50 枚	約 75 枚
	8MB	約 50 枚	約 100 枚	約 150 枚
XGA	4MB	約 12 枚	約 24 枚	約 36 枚
	8MB	約 24 枚	約 48 枚	約 72 枚

- 画質モードには、画質の良い順にファイン（F）、スタンダード（S）、エコノミー（E）の３種類があります（☞ P.165）。
- XGAモードについて（☞ P.77）

ビデオの撮影中に撮る

ビデオを撮影している最中でも、写真を撮影できます。

1 **ビデオ撮影中に、「静止画」ボタンを軽く押す（半押し）**

画面の右下に静止画が表示されます。



2 **そのままボタンを押し込む（全押し）**

静止画の映像を、写真に撮れます。

- キャンセルするには、半押しのまま指を離します。

➡M の矢印が点滅して写真をメモリーカードに取り込みます。

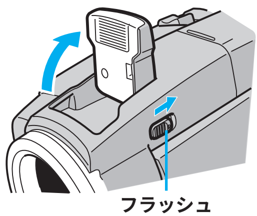


フラッシュを準備する

フラッシュを準備しておくと、周囲が暗いときにはフラッシュ（☞ P.91）が発光します。暗いと思ったときは、あらかじめフラッシュを準備してください。

1 **「フラッシュ」スイッチを「開」の方向にスライドする**

フラッシュが開きます。



フラッシュを閉じるには

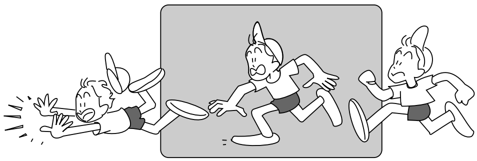
フラッシュを後ろからカチッと音がするまで押して閉じてください。

- 画質設定（ファイン／スタンダード／エコノミー）を変更するときには（☞ P.165）
- フラッシュは「静止画」ボタンを半押ししたときに発光します。
- 写真撮影時は、手ぶれ補正機能が働きません。
- ビデオ撮影中は、フラッシュは発光しません。

次へ続く

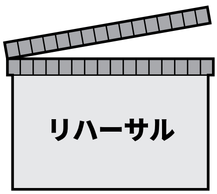
上手に撮るコツは

ビデオカメラを動かさない



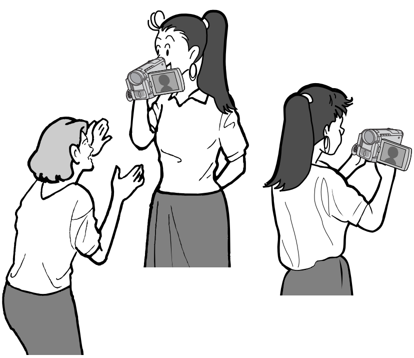
安定した映像を撮るためのコツは、画面に映っている人が動いてもビデオカメラは動かさないことです。
左右に動くものを撮影したいときは、水平または垂直にゆっくり動かします。そのときのコツは、撮り始めと撮り終わりでカメラをピタッと止めることです。

カメラリハーサルを行う



撮影を始める前にカメラリハーサルをして、ビデオカメラの操作に慣れておきましょう。どのタイミングでどんな操作をするかシナリオを書いておくことで、本番の撮影がスムーズになります。
また、周りの明るさや被写体との距離なども事前にチェックして、それぞれ適切な状態で撮影できるように準備しておきます。

いろいろなアングルで撮影する



正面からだけでなくいろいろなアングルで撮影すると、同じ被写体でも印象の違う映像を撮影できます。液晶画面の傾きを、見やすいように調節してください。
また、液晶画面を180°回転させて画面を被写体に見せながら撮影すると、より生き生きとした表情を撮影できます。

- 対面撮影中の液晶画面の映像は鏡に映ったように左右が反転しますが、撮影したビデオは左右が反転しません。
- 対面撮影中のファインダーや液晶画面上の表示は簡略化されます。テープ走行表示と、ビデオカメラにトラブルが生じたときの警告表示のみ表示します。

撮影モードごとの特徴

DUAL　テープ（ビデオ）＆メモリーカード（写真）

特徴：ビデオと写真を同時に撮影できます。

- 写真の画質はVGAモードと同じです。

VIDEO　テープのみ

特徴：ビデオと静止画を撮影し、テープに記録します（☞P. 84）。

- ビデオ映像の中に、写真のような場面を約6秒挿入できます。
- ビデオの画質はDUALモードと同じです。
- 10倍以上のズーム倍率を利用できます。

PS［プログレッシブスキャン］　テープのみ

特徴：ブレの少ない連続静止画を撮影し、テープに記録します（☞P. 110）。

- プリンターで印刷したいときにお勧めします。
- ビデオ映像をパソコンに取り込みたいときにお勧めします。
- 動きがギクシャクするので、ビデオ鑑賞には向きません。
- PSワイドモードで広角側0.7倍のワイド撮影ができます。

VGA　メモリーカードのみ

特徴：写真のみを撮影し、メモリーカードに記録します。

- DUALモードよりも、バッテリーで長時間使えます。
- 写真の画質はDUALモードと同じです。
- XGAモードよりも写真の枚数を多く撮れます。

XGA　メモリーカードのみ

特徴：高解像度の写真を撮影し、メモリーカードに記録します（☞P. 77）。

- 特に綺麗な写真を撮りたいときに、お勧めします。
- バッテリーでの動作時間はVGAモードと同じです。

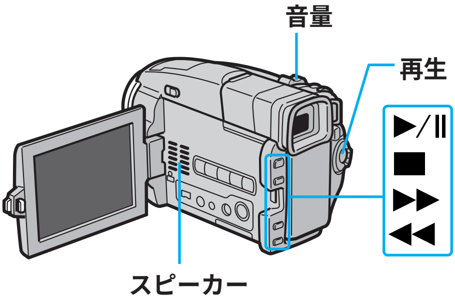
MEMO

- 解像度→写真の解像度は、DUALモードとVGAモードでは640×480ドット、XGAモードでは1024×768ドットになります。

再生する

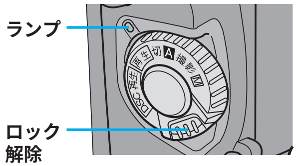
ビデオを再生する

撮影した映像を、ビデオカメラの液晶画面で見ることができます。



1 ロック解除ボタンを押したまま、「再生」をランプの位置に合わせる

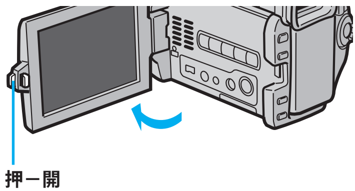
ランプが点灯します。



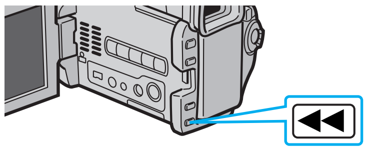
2 「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く

- ファインダーが引き出されているときは、元に戻して下さい。

青い画面が表示されます。

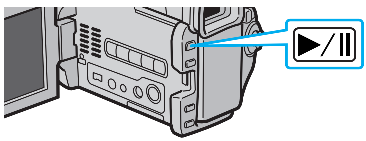


3 「◀◀」ボタンを押して、テープを巻戻す



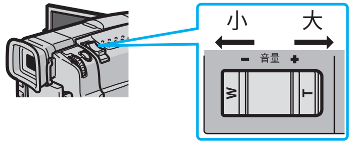
4 「▶/Ⅱ」ボタンを押して、再生する

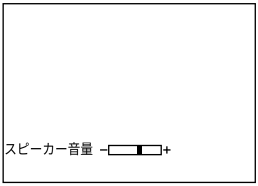
ビデオが再生されます。



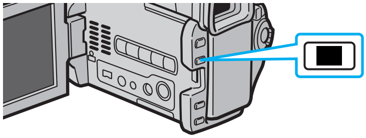
5 ズームスイッチをスライドさせて、スピーカーの音量を調整する

- 大きくする → 「＋」(T)側
- 小さくする → 「－」(W)側





6 見終わったら「■」ボタンを押して、テープを停止する



次へ続く

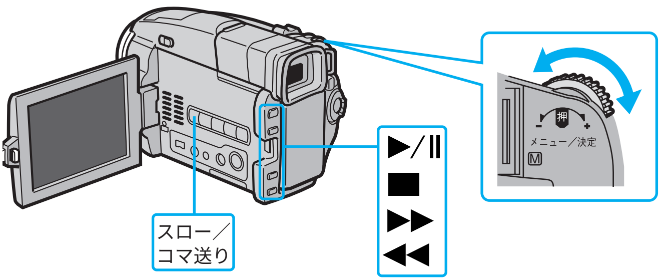
再生する

ビデオの操作方法について

早送り再生やスロー再生をするには、再生中に次の操作を行います。

早送り再生	▶▶ を押す　または　押し続ける
巻戻し再生	◀◀ を押す　または　押し続ける
一時停止	▶/Ⅱを押す
スロー再生	スロー／コマ送り を押し続ける
コマ送り再生	スロー／コマ送り を押すごとにコマを送る
	▶/Ⅱを押したあとメニュー／決定ダイヤルを回すと ＋ 正転コマ送り – 逆転コマ送り

通常の再生に戻すには、「▶/Ⅱ」ボタンを押します。
リモコンでも操作できます（☞ P. 190）

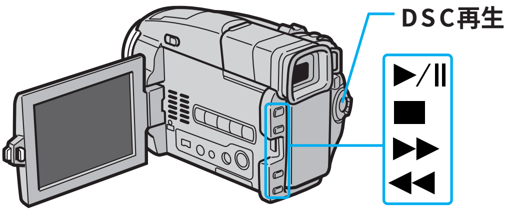


- 早送り再生、巻戻し再生は 9 倍速で再生します。
- 一時停止の状態が約 3 分続くと、自動的に停止します。
- 停止の状態が約 5 分続くと、自動的に電源が切れます（AC アダプターを使用していない場合）。

- 早送り／巻戻し再生中やスロー再生中は、映像が多少みだれます。
- 正転スロー再生を約２分、または逆転スロー再生を約１分続けると自動的に通常再生に戻ります。
- 「スロー／コマ送り」ボタンを押すと、映像が一時停止します。その後、青い画面が表示されることがあります。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P 178）。

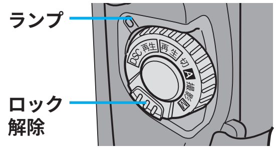
写真を再生する

撮ったその場で写真を確認できます。



1 **ロック解除ボタンを押したまま、「DSC 再生」をランプの位置に合わせる**

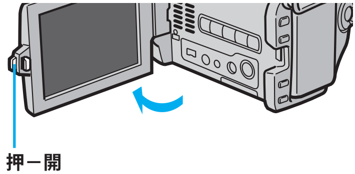
ランプが点灯します。



2 **「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く**

- ファインダーが引き出されているときは、元に戻してください。

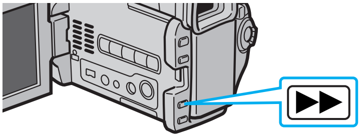
液晶画面に写真が再生されます。





3 **「▶▶」ボタンを押して、次の写真を再生する**

- 前の写真を再生するには「◀◀」ボタンを押してください。



これだけは知っておこう編

次へ続く

再生する

連続再生の操作方法について

写真を連続して再生するには、前ページの手順３で次の操作を行います。

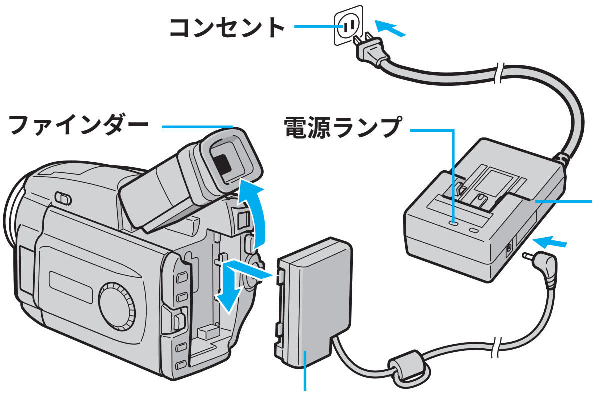
連続再生（正方向）	**▶/Ⅱを押す**
連続再生（逆方向）	**連続再生（正方向）中に◀◀を押す**
停止	**連続再生中に■を押す**



- 画像を戻した状態で次の撮影をおこなっても、最後に撮影された画像の次に撮影されます。上書きされません。
- メモリーカードに記録された静止画像ファイルはDCF（Design rules for Camera File systems）に対応しています。DCF対応していない機器とは互換性はありません。

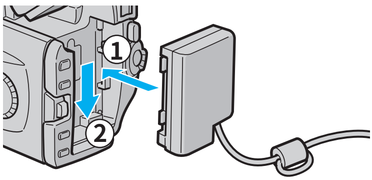
コンセントの電源で使う

室内で撮影または再生するときは、別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)の AC アダプターを使ってコンセントから電源を取ると、バッテリーの消費を気にせず使用できます。



1 ファインダーを上げる

2 DC コードを本体に取り付ける



①コードを右下にして、本体に押しつけます。

②カチッと音がするまで下へスライドさせて取り付けてください。

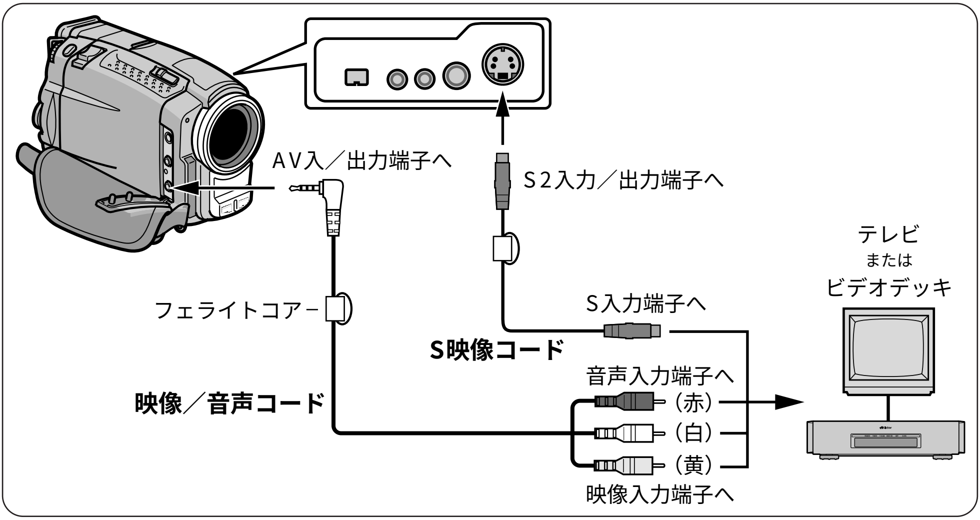
3 DC コードを AC アダプターに差し込む

4 AC アダプターの電源コードをコンセントに差し込む

電源ランプが点灯します。

テレビで見る

みんな揃ってビデオを見たいときには、ご家庭のテレビなどにビデオカメラを接続すると便利です。



接続する

ビデオカメラをテレビやビデオデッキに接続するには、別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)の映像／音声コードを使用します。
S映像入力端子があるテレビやビデオデッキには、同アクセサリーキットのS映像コードもご使用ください。より高画質の映像をお楽しみいただけます。

1 **「AV 入／出力」端子に、映像／音声コードを接続する**

2 **テレビやビデオデッキの映像入力端子と音声入力端子に、映像／音声コードを接続する**

- 映像／音声コードは、フェライトコアのある側をビデオカメラに接続してください。

3 **テレビやビデオデッキにS映像入力端子がある場合は、S映像コードも接続する**

- S映像コードは、フェライトコアのある側をビデオカメラに接続してください。

再生する

1 **ロック解除ボタンを押したまま、「再生」、または「DSC 再生」をランプの位置に合わせる**

- ビデオを再生する →「再生」
- 写真を再生する　→「DSC 再生」

2 **テレビの電源を入れる**

- ビデオデッキに接続している場合は、ビデオデッキの電源も入れます。

3 **テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する**

- テレビに接続したとき
  テレビの入力モードを、ビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
  (例えば「ビデオ 1、ビデオ 2、ビデオカメラ」など)。
- ビデオデッキに接続したとき
  テレビを、ビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に設定します。

テレビ画面が青くなるか、テレビ画面に写真が再生されます。

4 **再生する**

- ビデオを再生するには（☞ P.56）
- 次の写真を再生するには（☞ P.59）

MEMO

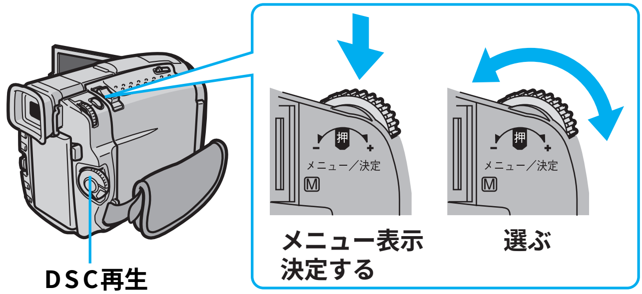
- ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- 再生時のメッセージ表示を消す（☞ P.163）
- 再生映像をズームしたい（☞ P.130）
- 再生映像に変化を付けたい（☞ P.131）

- テレビに映像が出ない、または音声が出ないときは、ビデオ再生モード設定メニューで「アナログ入力」を「しない」に設定してください(☞ P.202)。
- モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください（☞ P.178）。

印刷する

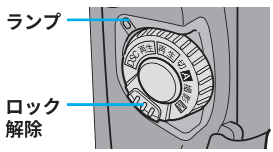
プリント情報を設定する［DPOF 設定］

今後の自動プリントシステムなど将来の環境を考慮し、自動プリントするための情報を記録するDPOF(Digital Print Order Format)規格に対応しています。



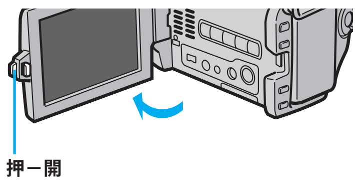
すべての写真を１枚ずつプリントする

1 **ロック解除ボタンを押したまま、「DSC 再生」をランプの位置に合わせる**

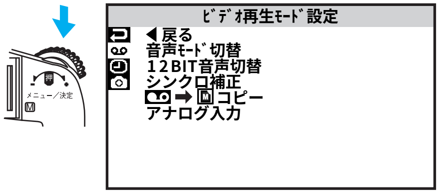


2 **「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く**

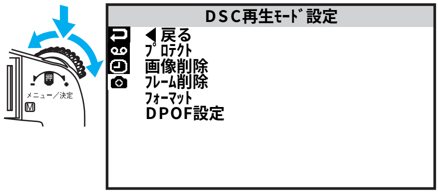
液晶画面に写真が映ります。



3 「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する



4 ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する

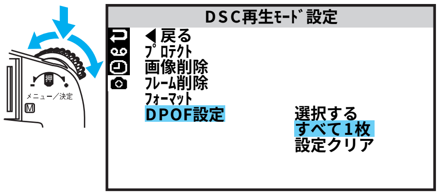


5 ダイヤルを回して「DPOF 設定」を選び、押して決定する

「選択する」、「設定クリア」などが表示されます。

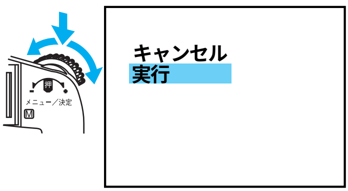
6 ダイヤルを回して「すべて１枚」を選び、押して決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。



7 ダイヤルを回して「実行」を選び、押して決定する

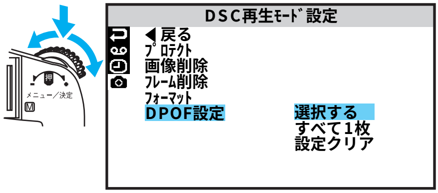
再生画面に戻ります。



写真を選んでプリントする

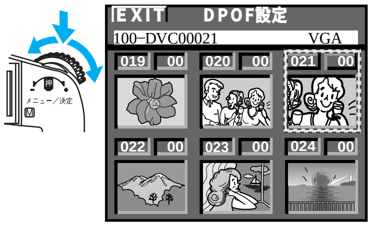
1 **「すべての写真を１枚ずつプリントする」(☞ P.64)の手順６で「選択する」を選び、押して決定する。**

DPOF設定画面が表示されます。



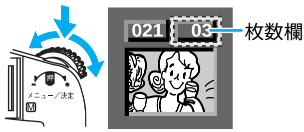
2 **ダイヤルを回してプリントしたい写真に枠線をあわせ、押して決定する**

写真の枚数欄が選択されます。



3 **ダイヤルを回して枚数欄にプリントする枚数を設定し、押して決定する**

- 最大15枚まで設定できます。

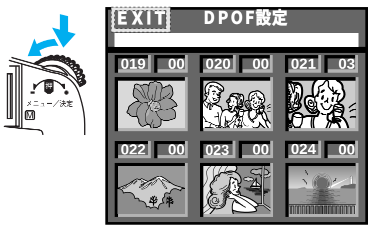


4 **他の写真もプリントしたいときは、手順２〜３を繰り返す**

- 枚数を間違えて設定してしまったときは、その写真に枠線を合わせてダイヤルを押し、枚数を設定しなおします。

5 **ダイヤルを－側に回して「EXIT」を選び、押して決定する**

「キャンセル」と「実行」が表示されます。



6 ダイヤルを回して「実行」を選び、押して決定する

再生画面に戻ります。

枚数を設定しなおしたいときは

「すべての写真を１枚づつプリントする」の手順 6 で「設定クリア」を選んでください。すべての写真で０枚に設定されます。

ご注意

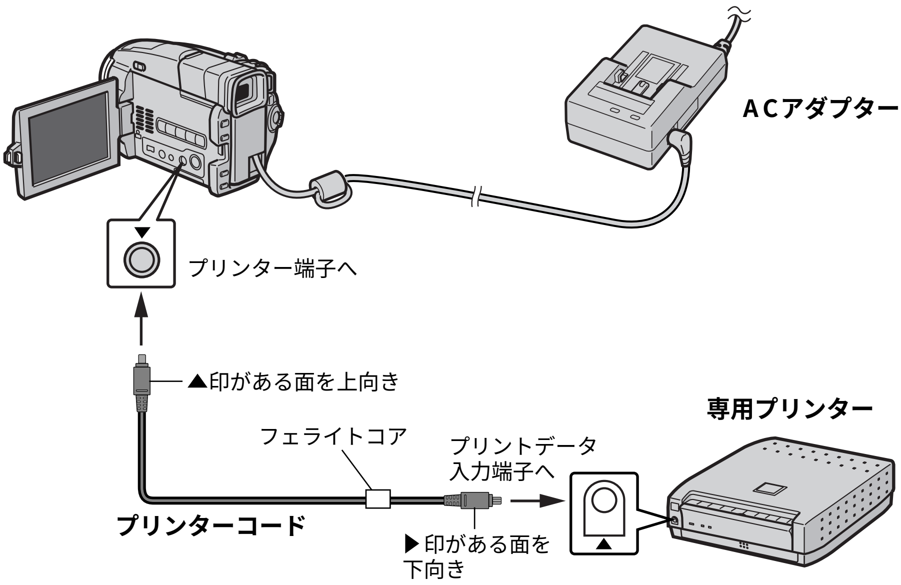
- 操作中は電源を抜かないでください。写真ファイルが壊れます。安全のため、DPOP 設定の実行中は電源ダイヤルを含むすべてのボタンが働きません。

MEMO

- DPOF 対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した写真だけを自動的に印刷できます。
- テープの映像を印刷するには、あらかじめメモリーカードへコピーしてください（☞ P.127）。

専用プリンターで印刷する

ビデオテープの映像とメモリーカードの写真を、別売アクセサリーキット（GV-SP700KIT）の専用プリンターで印刷できます。



MEMO

- 別売のビデオプリンター（GV-DT3 など）でも印刷できます。操作については、ビデオプリンターの取扱説明書をご覧ください。

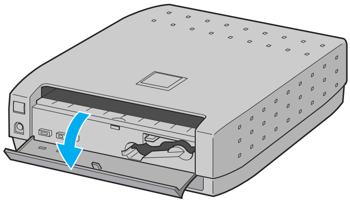
ご注意

- プリンターコード先端の▶印がある面とビデオカメラおよび専用プリンターに印刷されている▶印の向きを合わせ、まっすぐ差し込んでください。
- 用紙は光沢があるプリント面（文字の書いていない面）を上にして給紙トレイに挿入してください。逆に入れますと紙づまりの原因になります。（☞ P.70)
- 排紙口から用紙を取り除いてください。排紙口に用紙を 20 枚以上（はがきは 15 枚以上）ためると、紙づまりの原因になります。
- 紙づまりになった場合は「専用プリンターに紙づまりがおきたときは」（☞ P.177)をお読みください。

インクカセットを取り付ける

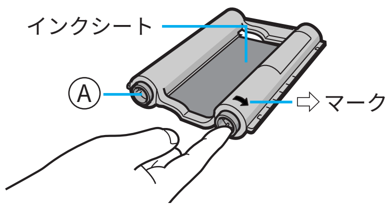
プリントするために別売のプリントペーパー＆インクキットのインクカセットを取り付けます。

1 ドアを開ける



2 インクシートのたるみを取る

- ⇦ マークがある方のローラーを矢印方向に回転させます。
- Ⓐ部分は回さないでください。

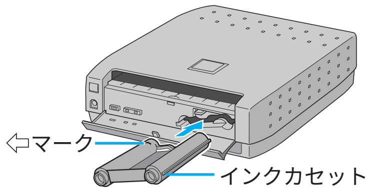


3 インクカセットを取り付ける

- ⇦ マークを奥にして、インクカセットをカチッと音がするまで差し込みます。

4 ドアを閉める

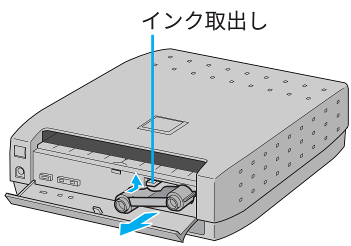
ドアが確実に閉まるとカチッと音がします。



インクカセットを取りはずすときは

インク取出しレバーを押し上げます。

ロックがはずれ、インクカセットが取りはずせる状態になります。

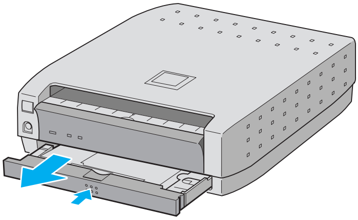


これだけは知っておこう編

用紙を入れる

給紙トレイの取り出しかた

- 給紙トレイを 1 度押してロックを解除してから引き出してください。



給紙トレイへの用紙の入れかた

1 **用紙のサイズに合わせて、しきり板Ⓐを調整する**

2 **レバーを押し下げながら用紙を入れる**

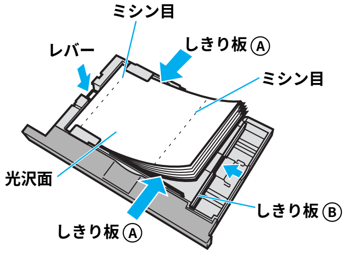
標準紙、オーバーコーティング紙の場合
用紙の光沢があるプリント面を上にして、ミシン目から余白が広い方をしきり板Ⓑに向けて入れます。最大挿入枚数は、20 枚です。

シール紙の場合
用紙の光沢があるプリント面を上にして入れます。（左右の向きは、関係ありません。）最大挿入枚数は、20 枚です。

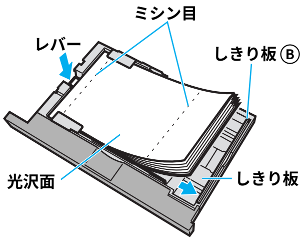
官製はがきの場合
郵便番号欄を下にして、しきり板Ⓑに向けて入れます。最大挿入枚数は、15 枚です。

3 **用紙のサイズに合わせて、しきり板Ⓑを調整する**

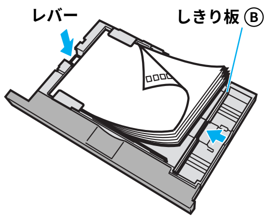
L サイズの場合



K サイズの場合



はがき・シール紙の場合



ご注意
- 用紙は、1枚づつはなれるように、よくさばいてから入れてください。
- はがきは、官製はがきのみ使用してください。
- 指定された用紙のみ使用してください。
- プリントする面が指紋などで汚れると、プリント画像を劣化させることがあります。

給紙トレイの取り付けかた

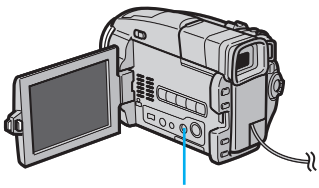
- プリンターにカチッと音がするまで差し込んでください。

ビデオカメラへ接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを取り付ける

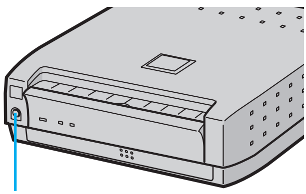
- ACアダプターを取り付けるには
(☞ P.61)

2 ビデオカメラの「プリンター」端子に、プリンターコードを取り付ける



- 別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT)のプリンターコードを使用してください。
  プリンターコード(☞ P.68)先端の▶印がある面を上側に向けて取り付けます。

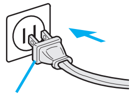
3 プリンターのプリントデータ入力端子に、プリンターコードを取り付ける



- プリンターコード(☞ P.68)先端の▶印がある面を下側に向けて取り付けます。

次へ続く

4 プリンターの電源コードをコンセントに差し込む



5 ビデオカメラの電源を入れる

- 電源ダイヤルの「再生」、または「DSC再生」をランプの位置に合わせる（☞ P.41）。
- プリンターの電源は、印刷時に自動的に入ります。



- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、印刷中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべく AC アダプターをお使いください。

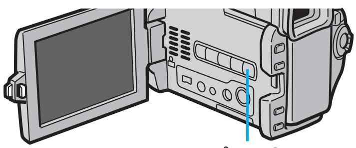
印刷する

再生中の映像を、簡単な操作で用紙に印刷できます。
ここでは基本的な印刷について説明します。印刷の詳しい設定については、『楽しい印刷をする』（☞ P.114）をご覧ください。

1 ビデオを再生するか、写真を再生する

- ビデオを再生するには（☞ P.56）
- 写真を再生するには（☞ P.59）

2 印刷したい場面または写真を表示したら、「プリント」ボタンを押す



- ビデオの場合、「▶/II」ボタンを押して一時停止してから「プリント」ボタンを押してください。

プリント設定メニューが表示されます。

3 写真の場合のみ、もう一度「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。

プリント設定	
この画像をプリント	
連続プリント	
変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷｬﾝｾﾙ	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
次へ	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

4 設定内容を確認する

- 以下の設定内容は変更できますが、ここでは変更しません。

  ワクなし→用紙いっぱいに印刷します

  枚数１→１枚印刷します

  演出しない（写真のみ）→写真に効果を加えず、そのまま印刷します

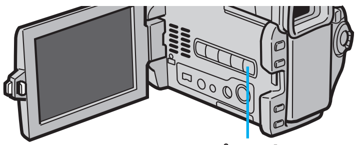
ビデオの場合

プリント設定	
ワク：	なし
枚数：	1
設定変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷｬﾝｾﾙ	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄする	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

写真の場合

プリント設定	
ワク：	なし
枚数：	1
演出：	しない
設定変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
戻る	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄする	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

5 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する



「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。

- 印刷をキャンセルするには、「スロー／コマ送り」ボタンを押します。

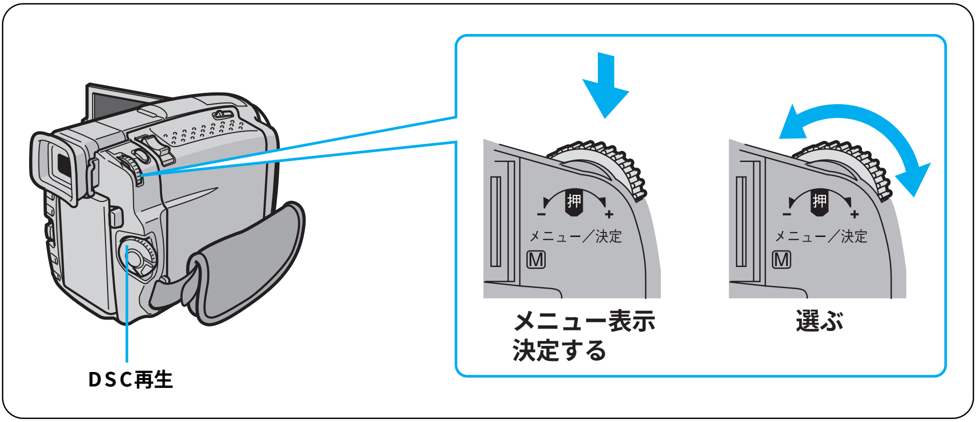


- ワクをつけて印刷するには（☞ P.116）
- ２枚以上印刷するには（☞ P.116）
- 印刷中は「スロー／コマ送り」ボタンを押しても印刷をキャンセルできません。次の印刷分からキャンセルされます。
- 印刷中のメロディー音を消すには、メニューの「ブザー／タリー」を「切」にします（☞ P.165）。

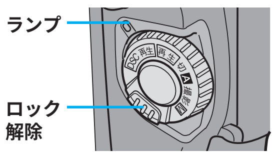
写真を削除する

写真を選択して削除する

メモリーカードに空きがなくなると写真を撮れなくなります。新しいメモリーカードと交換するか、不要な写真を削除してください。
ここでは、写真を削除してメモリーカードの空きを増やす方法を説明します。

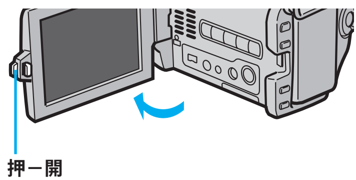


1 **ロック解除ボタンを押したまま、「DSC 再生」をランプの位置に合わせる**

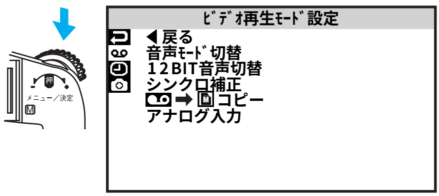


2 **「押ー開」ボタンを押して液晶画面を開く**

液晶画面に写真が映ります。



3 **「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する**



4 ダイヤルを回して「📷」を選び、押して決定する

DSC 再生モード設定メニューが表示されます。

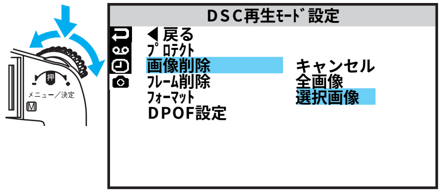


5 ダイヤルを回して「画像削除」を選び、押して決定する

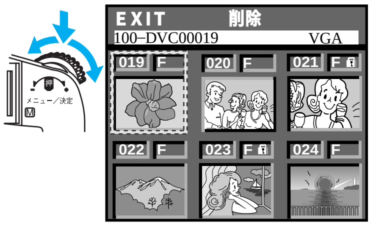
「全画像」と「選択画像」が表示されます。

6 ダイヤルを回して「選択画像」を選び、押して決定する

削除画面が表示されます。



7 ダイヤルを回して、削除したい写真に枠線を合わせる



8 ダイヤルを押して決定する

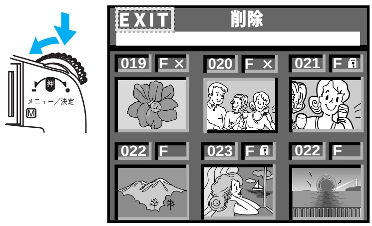
写真に「×」がつきます。

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、その写真に枠線を合わせてダイヤルを押します。「×」が消えます。

9 他の写真も削除したいときは、手順 7 ～ 8 を繰り返す

10 ダイヤルを－側に回して「EXIT」を選び、押して決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。



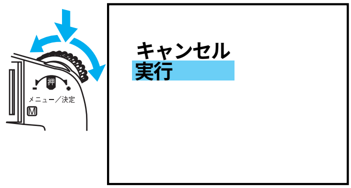
次へ続く

写真を削除する

11 ダイヤルを回して「実行」を選び、押して決定する

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

「×」をつけた写真が削除され、再生画面に戻ります。

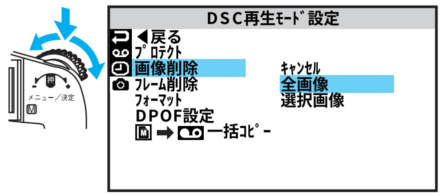


すべての写真を削除する

ここでは、すべての写真を削除してメモリーカードを空にする方法を説明します。

1 「写真を選択して削除する」(☞P.74)の手順 6 で「全画像」を選び、ダイヤルを押して決定する

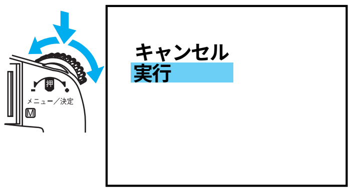
「キャンセル」と「実行」が表示されます。



2 ダイヤルを回して「実行」を選び、押して決定する

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

写真がすべて削除されます。



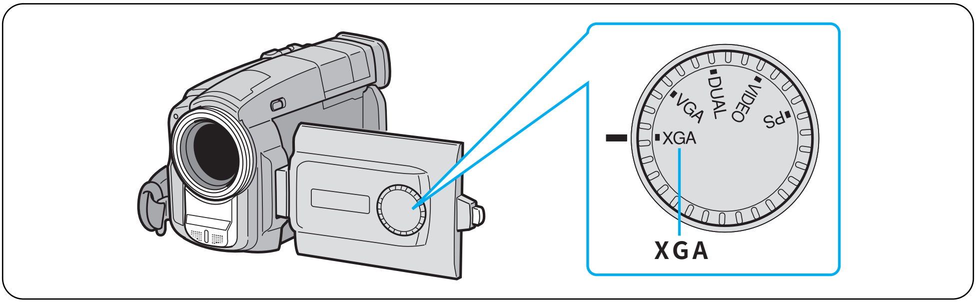
- プロテクトした写真は、上記の操作で削除されません(☞P.158)。
- プロテクトした写真を削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます(☞P.159)。

ご注意

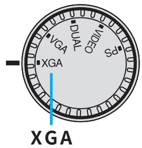
- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
  また、別売の AC アダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
- 削除した画像は元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

高画質の写真を撮影する[XGA モード]

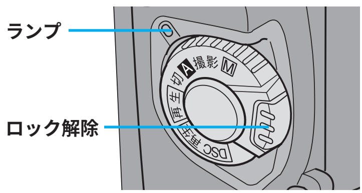
高画質の写真を撮影するには XGA モードをお勧めします。DUAL モードや VGA モードよりも、高解像度の写真を撮影できます（☞ P.55）。



1 **ダイヤルを回して「XGA」を線の位置に合わせる**



2 **ロック解除ボタンを押したままダイヤルを回し、「A」または「M」をランプの位置に合わせる**



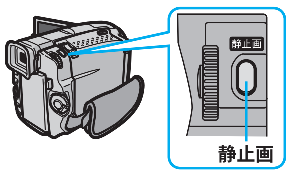
3 **「静止画」ボタンを軽く押す（半押し）**

画面が静止します。

4 **そのままボタンを押し込む（全押し）**

シャッター音がして、画面の映像が写真に撮れます。

- キャンセルするには、半押しのまま指を離します。

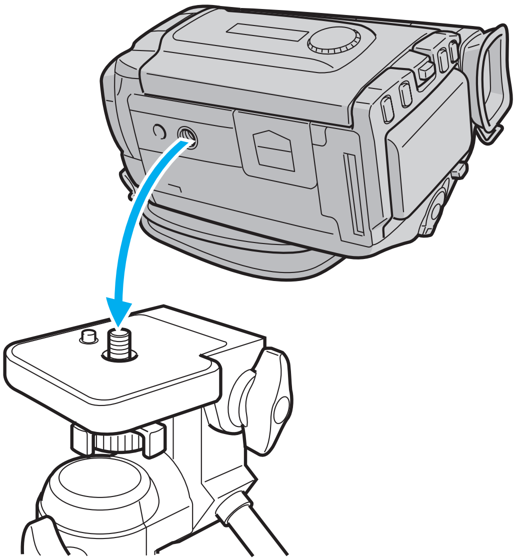


MEMO

- 68 万画素プログレッシブスキャン CCD（有効エリア 63 万画素、962 × 654 ドット）で撮影した画像をデータ変換し、XGA（1024 × 768 ドット）ファイルサイズで保存しています。

三脚を使って撮影する

三脚を使用するとビデオカメラが安定し、記念撮影やズーム機能を使った撮影で役立ちます。



1 **三脚のネジと本体底面のネジ穴を合わせる**

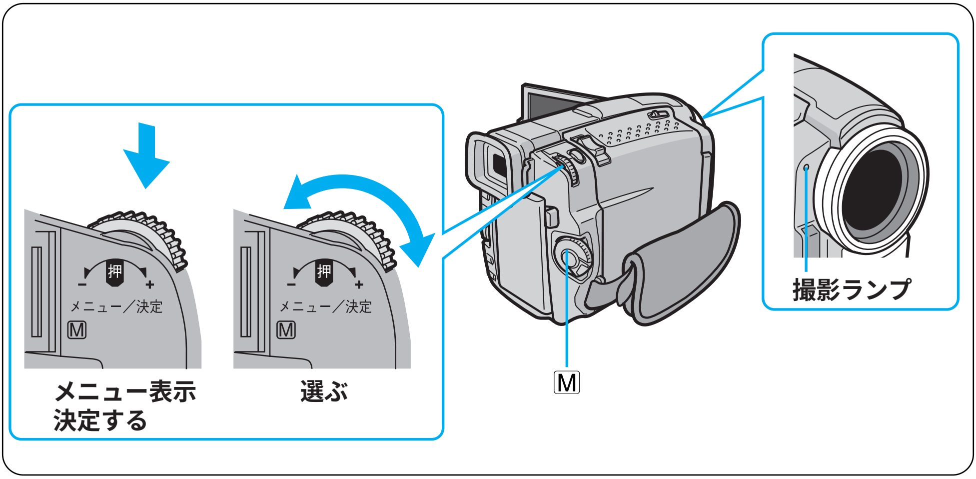
2 **三脚のネジを回して固定する**



- ご使用になる三脚の取扱説明書もご覧ください。

15 秒後に撮影をスタートする［セルフタイマー］

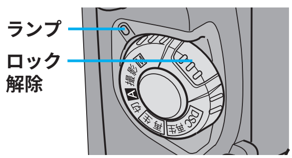
撮影者が一緒に写る記念写真などには、セルフタイマーを使います。みんなで写ったビデオや写真を残したいときにご利用ください。



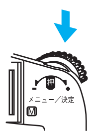
1 **三脚などでビデオカメラを固定する**

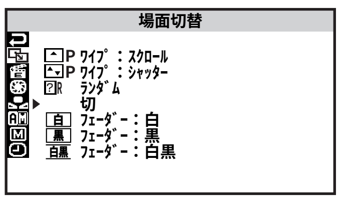
- 三脚を使うには（☞ P.78）

2 **ロック解除ボタンを押したまま、ダイヤルを回し「M」をランプの位置に合わせる**

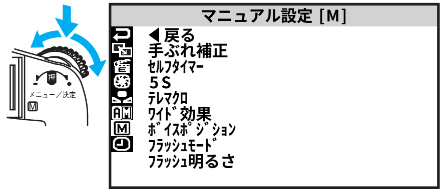


3 **「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する**





4 ダイヤルを回して「Ⓜ」を選び、押して決定する

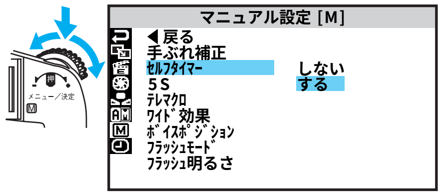


5 ダイヤルを回して「セルフタイマー」を選び、押して決定する

「しない」と「する」が表示されます。

6 ダイヤルを回して「する」を選び、押して決定する

「セルフタイマー」が反転し、右に「する」と表示されます。



7 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して撮影画面に戻る

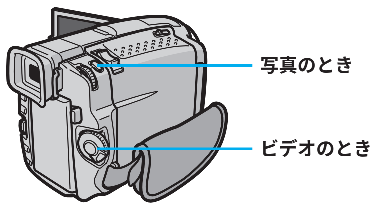
8 ボタンを押して、セルフタイマー撮影を開始する

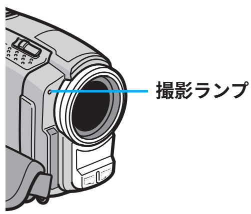
- ビデオ →撮影ボタン
- 写真 →「静止画」ボタン

撮影ランプが点滅します。

撮影ランプの点滅が早くなると、撮影がもうすぐ始まります。

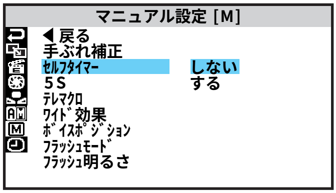
- ランプ点灯 → ビデオの撮影開始
- ランプが消える → 写真の撮影

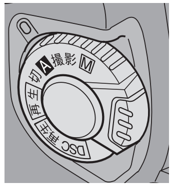




9 次のいずれかの方法で、セルフタイマーを解除する

- 手順6で「しない」を選ぶ
- 電源ダイヤルを「切」または「🅰」に合わせる



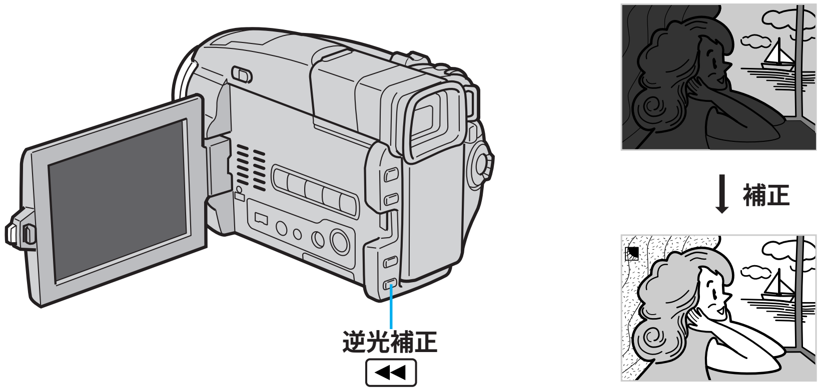


- 撮影ボタンまたは「静止画」ボタンを押してから撮影が始まるまでの時間は、約 15 秒間です。
- 撮影ランプは撮影設定[A][M]メニューの「ブザー／タリー」が「切」になっていると点灯しません（☞ P.165）

被写体の明るさを調整する

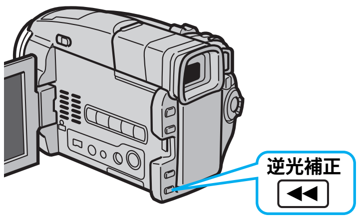
被写体の後ろに太陽があるとき［逆光補正］

太陽に向かって撮影すると、太陽を背にした被写体（人物）が暗くなって綺麗に撮影できません。このようなときに「逆光補正」ボタンを押すと、被写体が明るく補正されます。



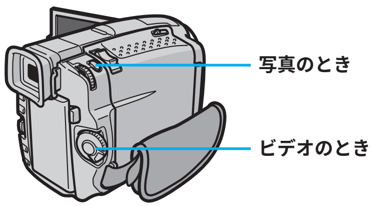
1 「逆光補正」ボタンを押す

画面に逆光補正マーク（ ）が表示されます。



2 撮影ボタンまたは「静止画」ボタンを押して撮影する

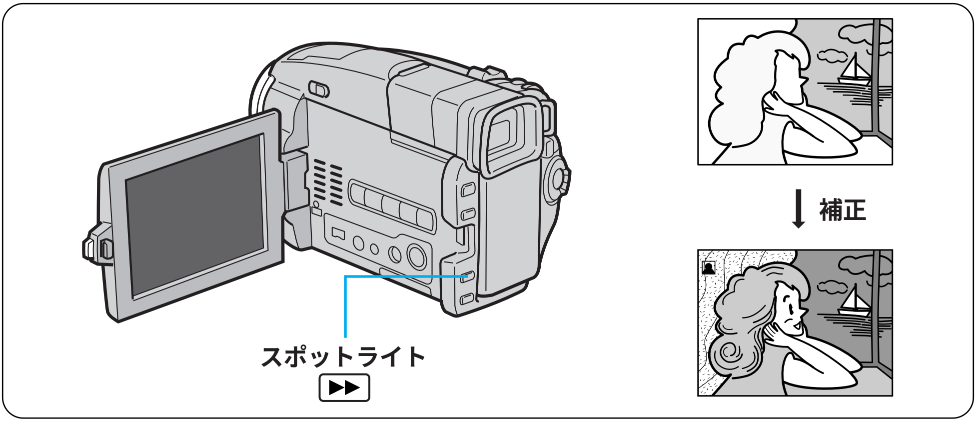
3 逆光補正を解除するには、「逆光補正」ボタンを押す



- 「逆光補正」ボタンを使うと、被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。
- より適切な明るさに調節したいときは、明るさ調整メニューで設定してください（☞ P.94）。

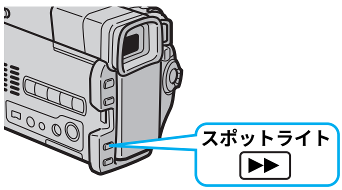
被写体に強い光があたるとき［スポットライト補正］

被写体（人物）にスポットライトなどがあたっていると、被写体が明るくなりすぎて綺麗に撮影できません。このようなときに「スポットライト」ボタンを押すと、被写体が暗く補正されます。



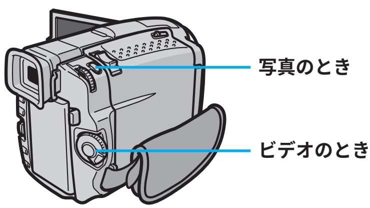
1 「スポットライト」ボタンを押す

画面にスポットライトマーク（◙）が表示されます。



2 撮影ボタンまたは「静止画」ボタンを押して撮影する

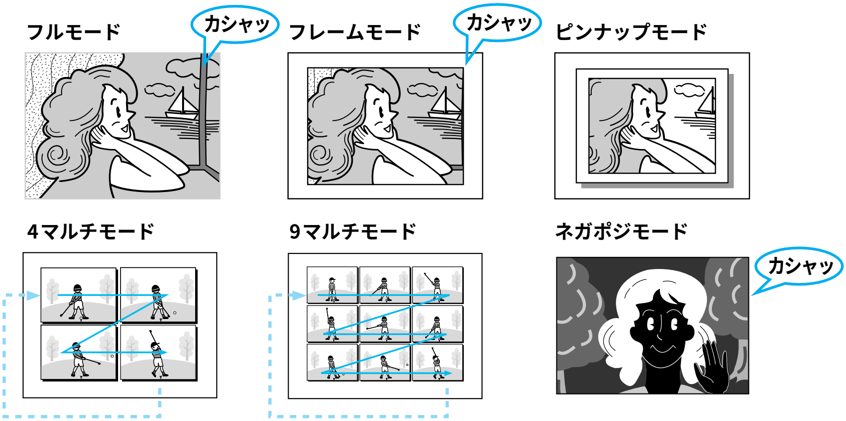
3 スポットライトを解除するには、「スポットライト」ボタンを押す



- 「スポットライト」ボタンを使うと、被写体の周囲が暗くなりすぎて黒くなることがあります。
- より適切な明るさに調節したいときは、明るさ調整メニューで設定してください（☞ P.94）。

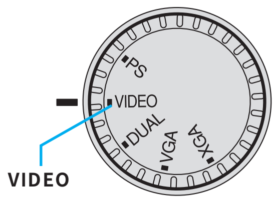
ビデオテープに静止画を撮る［VIDEO モード］

ビデオの中に写真のような静止画を挿入できます。被写体の表情を印象的に撮影したいときなどに効果的です。
静止画モードは、次の６種類から選択できます。

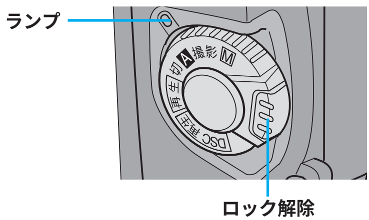


静止画の見せ方を変更する

1 ダイヤルを回して、「VIDEO」を線の位置に合わせる

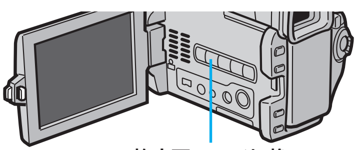


2 ロック解除ボタンを押したまま、ダイヤルを回し「Ａ」または「Ｍ」をランプの位置に合わせる



3 「静止画モード切換」ボタンを押して、静止画モードを選ぶ

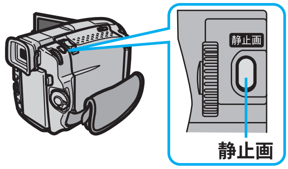
- ボタンを押すたびに静止画モード表示が切り替わります。



4 「静止画」ボタンを押す

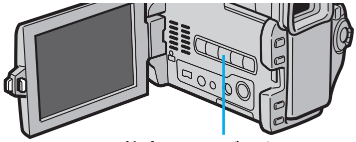
液晶画面の映像が約 6 秒間停止し、指定したモードでテープに記録されます。

- 押し続けると、約 1 秒ごとに連写します。



ビデオ中の静止画を探すには（静止画サーチ）

ビデオを再生してから「静止画インデックス」ボタンを押します。早送り再生が始まり、静止画を見つけると自動的に一時停止します。もう一度押すと、次の静止画を探します。





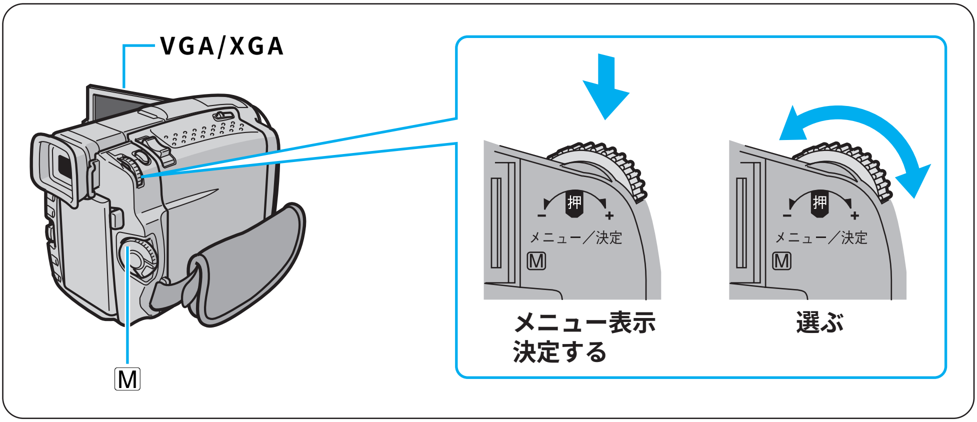
- DUAL、VGA、XGA では、静止画モードの設定に関わらずフルモードで記録されます。
- 10 倍以上のズームを使用していてもマルチモードでは 10 倍で撮影されます。
- フル、フレーム、ピンナップ、ネガポジモードでは、ダイヤルを「PS」に合わせて撮影するとより高画質な静止画を撮れます（☞ P.110）。
- 周囲が暗いときはフラッシュを準備してください（☞ P.91）。
- 別売フィルムアダプター（CU-V30）をお使いになるときは（P.188）。



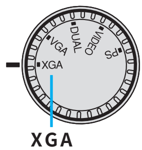
- 静止画撮影ができないときは、静止画ボタンを押したときに「PHOTO」が点滅します。
- 演出効果を設定しても静止画撮影時に働かないものがあります。このようなときは、演出効果アイコンが青く点滅してお知らせます。

動きの速いものを写真に撮る

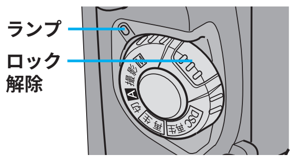
走っている人物など動きの速い被写体を写真に捕らえるには、シャッター速度を速くします。



1 **ダイヤルを回して「VGA」または「XGA」を線の位置に合わせる**

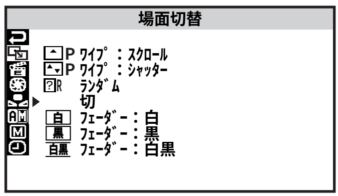


2 **ロック解除ボタンを押したままダイヤルを回し、「M」をランプの位置に合わせる**



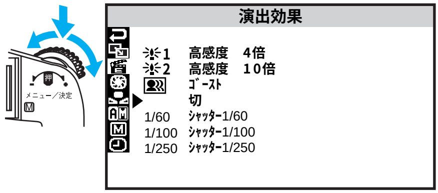
3 **「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する**





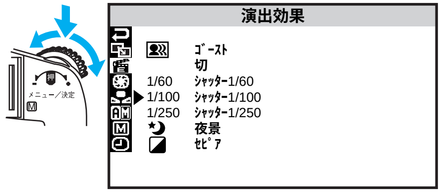
4 ダイヤルを回して「 」を選び、押して決定する

演出効果メニューが表示されます。



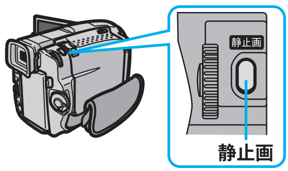
5 ダイヤルを回して「1/100　シャッター 1/100」を選び、ダイヤルを押して決定する

撮影画面に戻ります。



6 「静止画」ボタンを押して、写真を撮影する

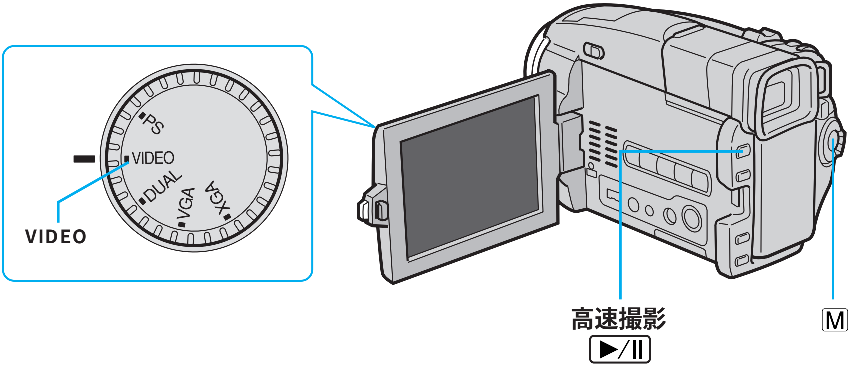
- 写真がぶれてしまうときは、手順 5 でより速いシャッター速度（1/250）を選択してください。



- 写真のほかにビデオも撮影できます。

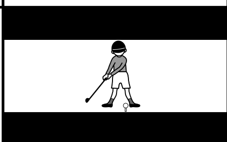
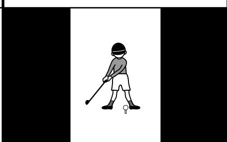
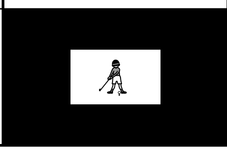
動きの速いものをビデオに撮る［高速撮影］

ゴルフのスイングなど動きが速いものを撮影するには、高速撮影（ハイスピード撮影）を使用します。テープを再生すると、プログレッシブスロー機能によりぶれのない滑らかなスローモーションで再生されます。

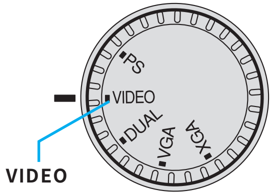


高速撮影のモード

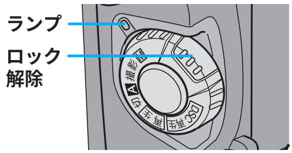
３種類のモードがあり、モードごとに画面の形が異なります。

モード	画 面	用 途 例
高速2倍 横		**横長の画面向き** • ゴルフのインパクトの瞬間 • ランニングフォームの確認
高速2倍 縦		**縦長の画面向き** • ゴルフのフォームの確認 • 落下テスト
高速4倍		さらに動きの速いもの向き

1 **ダイヤルを回して、「VIDEO」を線の位置に合わせる**

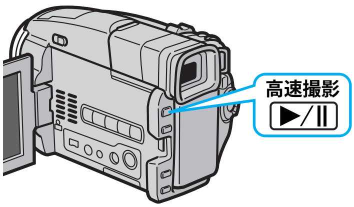


2 **ロック解除ボタンを押したままダイヤルを回し、「M」をランプの位置に合わせる**

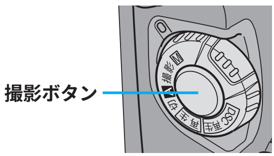


3 **「高速撮影」ボタンを押し、モードを選ぶ**

- 押すごとにモードが変わります。
- 撮影ボタンを押したあとは変更できません。



4 **撮影ボタンを押して撮影を開始する**



5 **撮影ボタンを押して撮影を終了する**

6 **高速撮影を解除するには、「高速撮影」ボタンを押す**

- 通常の撮影画面に戻るまで、ボタンを押します。

次へ続く

動きの速いものをビデオに撮る［高速撮影］

- 高速撮影では、画面にちらつきがでる場合があります。
- 高速撮影したテープを他機種で再生、またはプリンターで印刷すると、複数の画面が並んだ形で表示されます。

- 高速撮影中は、場面切替、演出効果（夜景、シャッターを除く）、手ぶれ補正、静止画撮影、10 倍以上のズームはできません。
- 高速撮影した部分をデジタルダビングするには、GR-DVL700 を２台接続してください。
- 別売マルチメディア・ナビゲーターパック（HS-V10KIT）の JILP ビデオプロデューサーで編集する場合、高速撮影した部分では、場面切替と演出効果が正しく働きません。

  演出効果では、高感度、映画効果、ストロボ、ゴーストを使えません。
- 5S モード、アニメモード、ワイドモード、PS ワイドモード時は高速撮影できません（☞ P.168）。
- GR-DVL7 デジタルビデオカメラで高速撮影したビデオは、本機で再生できます。ただし、本機で高速撮影したビデオは GR-DVL7 で再生できません。

プログレッシブスロー再生について

高速撮影したビデオをスロー／コマ送り再生すると（☞ P.58）、普通のビデオスローよりも滑らかに再生されます。

撮影方法を手動で設定する［マニュアル撮影］

フラッシュの状態を設定する

フラッシュの設定は、３種類のモードから選択できます。

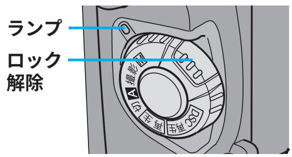
オート　　　　：周りが暗いときに自動的に発光します。通常は、このモードに設定します。
オート赤目軽減：被写体の目が赤く撮影されるのを抑えます。
入　　　　　　：フラッシュを必ず発光させます。

上記の設定は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に設定したときのみ有効です。「🅰」に設定すると「オート」に戻ります。
フラッシュを発光させたくないときは、フラッシュを閉じてください。

フラッシュを必ず発光させる

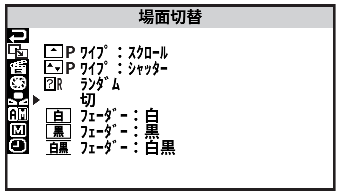
光が強く、被写体の陰影がつきすぎるときは、フラッシュを使って撮影すると陰影を抑える効果があります。また、人の顔を撮るときにフラッシュを使うと、光の反射で生き生きとした瞳を表現できます。
このような撮影をするときは、フラッシュを必ず発光させるように設定します。

1 「Ⓜ」をランプの位置に合わせる



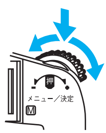
2 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示する

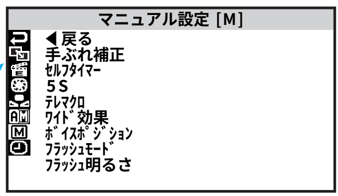




3 ダイヤルで「Ⓜ」を選び、決定する

マニュアル設定［M］メニューが表示されます。

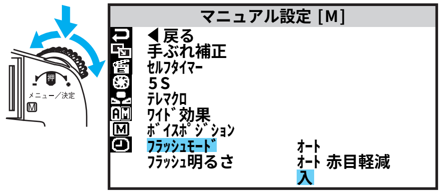




次へ続く

4 「フラッシュモード」を選び、決定する

5 「入」を選び、決定する



6 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して撮影画面に戻る

ご注意
- 至近距離では、フラッシュを人に向けて発光させないでください。

- **離れた被写体を撮影するときは**

  フラッシュの光で映像が白っぽくなるのを防ぐため、フラッシュ発光時にビデオカメラは自動的に画面を暗くして撮影します。そのため、フラッシュの光が届かないと写真は逆に暗くなります。約２m以上離れた被写体を撮影するときは、フラッシュを閉じてください。
- **コンバージョンレンズを使用するときは**

  フラッシュ発光部がかくれるためフラッシュの効果がありません。フラッシュを閉じてください（☞ P.53）。

- **フラッシュが発光しない**

  フラッシュを閉じていると発光しません（☞ P.53）。

  ビデオの撮影中は発光しません。停止中は発光します。

  画面に ϟ が表示されないときは発光しません。

  設定によっては発光しません（☞ P.171）。
- **ϟ が点滅し、画面にノイズがでる**

  フラッシュの充電中です。充電には約１０秒かかる場合があります。故障ではありません。
- **フラッシュが２度発光する**

  赤目軽減を設定すると、１度目は赤目軽減のため、２度目は撮影のために発光します。

フラッシュの明るさを調整する

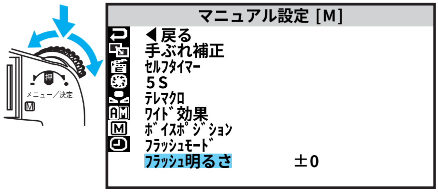
撮影した写真でフラッシュが明るすぎたり暗すぎたときは、次の手順でフラッシュの明るさを調節します。

1 「フラッシュを必ず発光させる」（☞P.91）の手順１～３を行う

マニュアル設定［M］メニューが表示されます。

2 「フラッシュ明るさ」を選び、決定する

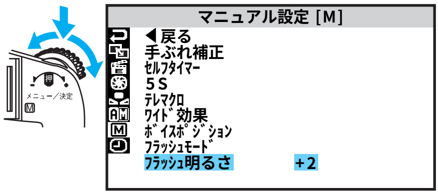
数値が変更できるようになります。



3 ダイヤルを回して数値を変更し、決定する

明るくする　→「＋」側（＋３まで）

暗くする　　→「－」側（－３まで）



4 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して撮影画面に戻る

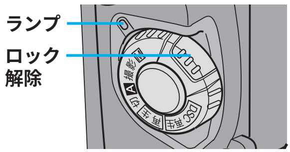
被写体や撮影場所が変わったときは

手順３で「±０」に設定し、フラッシュの明るさを確認してください。

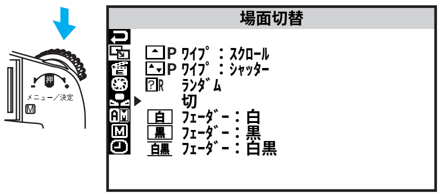
画像の明るさを調整する

太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるときは、「逆光補正」ボタンや「スポットライト」ボタンを使用すると簡単に明るさを調節できます（☞ P.82、83）。
しかし、周囲の明るさによっては、これらのボタンでは最適な結果を得られないことがあります。より詳細に調節したいときは、次の手順で設定してください。

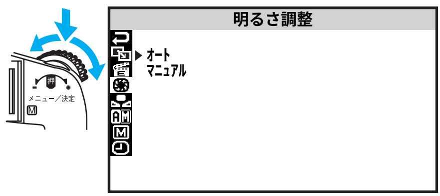
1 「Ⓜ」をランプの位置に合わせる



2 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示する



3 ダイヤルで「⊡」を選び、決定する



4 「マニュアル」を選び、決定する

明るさを示す数値が表示されます。

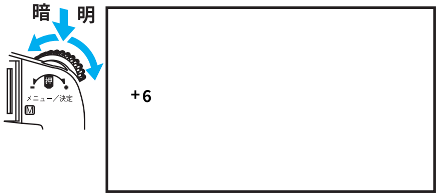
5 ダイヤルを回して数値を変更し、押して決定する

明るくする　→「＋」側（＋６まで）

暗くする　　→「－」側（－６まで）

撮影画面に戻ります。

- 「＋３」は、「逆光補正」ボタンと同じ効果です。
- 「－３」は、「スポットライト」ボタンと同じ効果です。



自動調節に戻すには

明るさを自動調節に戻すには、手順４で「オート」を選択するか、電源ダイヤルを「A」に設定してください。

一定の明るさで撮影するには

動きのある被写体を撮影するときやズーム操作を行うときには、画面の明るさを一定に保ちたいことがあります。このようなときは次の操作をしてください。

1 手順５で数値を変更したあと、「メニュー／決定」ダイヤルを２秒以上押す

画面に L と表示されます。

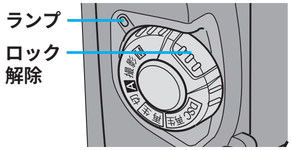
2 再度ダイヤルを押す

L と表示され、明るさが固定されます。

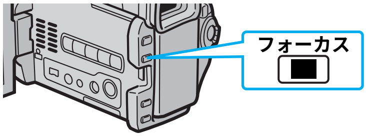
ピントを手動で合わせる［マニュアルフォーカス］

このビデオカメラは、約５センチ（☞ P.49）から無限遠まで自動的にピントを合わせるオートフォーカス機能を備えています。ただし、画面中央にピントを合わせるため、被写体が画面端にいるときは間違った距離にピントが合ってしまうことがあります。また、被写体や周囲の条件によっては、オートフォーカス機能が正しく動作しないこともあります。
このようなときは、ピントを手動で合わせてください。

1 「Ⓜ」をランプの位置に合わせる

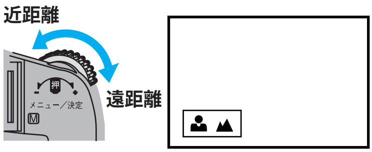


2 「フォーカス」ボタンを押す



3 「メニュー／決定」ダイヤルを回して、ピントを合わせる

- ピントを合わせたい被写体が
  遠くにある　→「＋」側（▲）
  近くにある　→「−」側（👤）



4 ダイヤルを押して決定する

自動調節に戻すには

ピントの調節を自動に戻すには、「フォーカス」ボタンを２回押してください。１回押しただけでは自動調節に戻らず、ピントの再調節モードになります。
また、電源ダイヤルを「Ⓐ」に変更したときも自動調節に戻ります。



- ズーム操作をするときは、ピントを合わせる前に望遠（T）側に設定しておき、ピントを合わせてから広角（W）側に調節するとピントがずれません。
- **こんなときに手動でピントを合わせます**
  - 平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき
  - 金網などの障害物が被写体との間にあるとき
  - 細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき
  - 蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

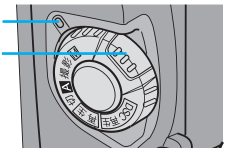
画像の色合いを調節する［白バランス］

ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候や撮影用ライトなど、光源の状態によっては自然な色合いを再現できないことがあります。
液晶画面やファインダーで色合いが不自然なときは、白バランスを変更して撮影してください。
白バランスの設定は、５種類のモードから選択できます。

オート…………… ：自動的に色のバランスを調節します。
ワンタッチ ……：被写体の色をより正しく撮影したいときに選択します（☞ P.99）。
………………：晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
………………：曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
………………：撮影用ライトなどで照明して撮影するときに選択します。

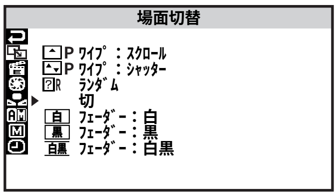
上記の設定は、電源ダイヤルを「Ⓜ」に設定したときのみ有効です。「Ⓐ」に設定している間は「オート」と同じ動作をします。

1 「Ⓜ」をランプの位置に合わせる



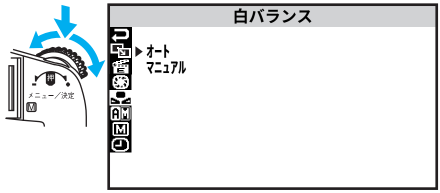
2 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示する





次へ続く

3 ダイヤルで「」を選び、決定する

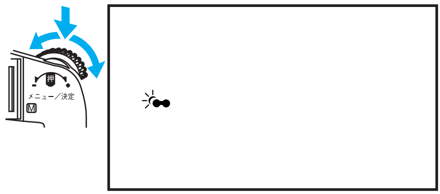


白バランスメニューが表示されます。

4 「マニュアル」を選び、決定する

「ワンタッチ」などが表示されます。

5 ダイヤルを回してモードを選び、決定する



- 「ワンタッチ」を選択するときは、次ページの『白バランスを正確に設定する』も参照してください。

撮影画面に戻ります。

自動調節に戻すには

白バランスを自動調節に戻すには、手順４で「オート」を選択してください。

白バランスを正確に設定する

白バランスを調整すると、被写体をより正しい色で撮影できます。

1 「画像の色合いを調節する」(☞ P.97)の手順 1 ～ 4 を行う

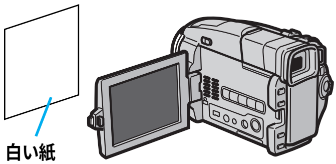
「ワンタッチ」などが表示されます。

2 ダイヤルを回して「ワンタッチ」を選ぶ



3 ビデオカメラと被写体の間に白い紙を置き、画面全体に表示する

- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。



4 ダイヤルを押しつづけ、「」の点滅が止まったら指を離す

白バランスを記憶しました。紙を外してください。

5 ダイヤルを押して撮影画面に戻る

- 設定した白バランスは、新しい白バランスを設定するまで有効です。
- 手順 3 で色紙を置いて白バランスを調節すると、白い紙を置いて調節したときとはちょっと変わった色合いの撮影がお楽しみいただけます。

例）

赤い紙で調節した場合	：	青緑がかった色で撮影されます。
青い紙で調節した場合	：	オレンジ色で撮影されます。
黄色い紙で調節した場合	：	青紫がかった色で撮影されます。

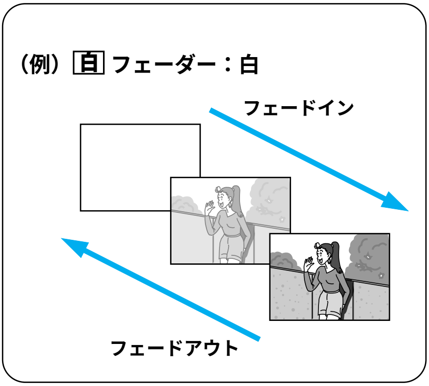
場面の切り替え部に効果を入れる

場面切替の種類［フェーダー］［ワイプ］

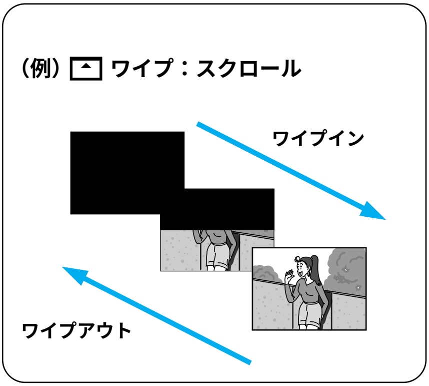
ビデオの最初と最後や場面と場面のつなぎ目に、効果を入れて変化をつける方法を説明します。
まず、映像がどのようにつながるのかをイラストを使って説明します。

場面の初めと終わりの効果

1）フェーダー効果
撮り始めは画面が徐々に浮かび上がり（フェードイン）、撮り終わりは徐々に消えていきます（フェードアウト）。

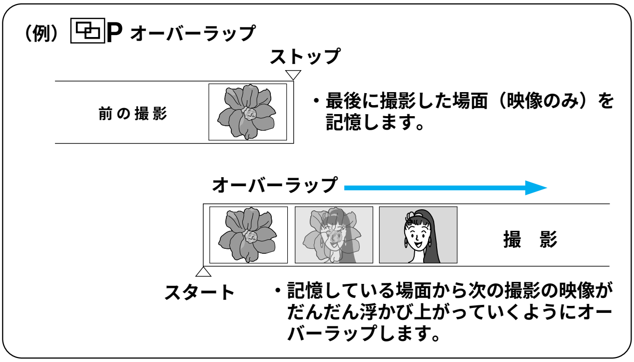


2）ワイプ効果
撮り始めは画面がある方向に向かってすべり込むように映し出され（ワイプイン）、撮り終わりは逆の方向に向かって消えていきます（ワイプアウト）。

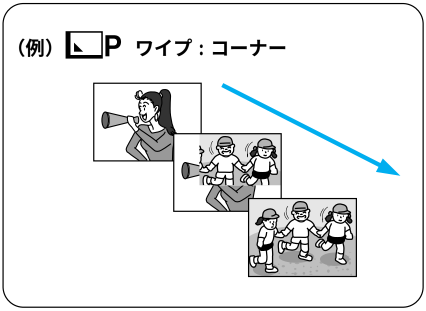


次の場面を重ねる効果

1）オーバーラップ
これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。

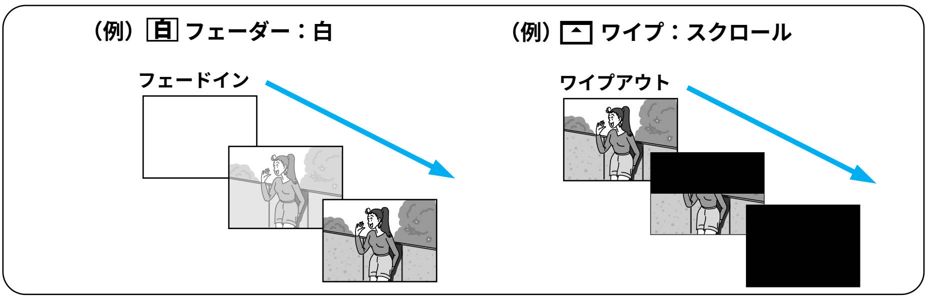


2）Pの付いているワイプ効果
直前に撮影した映像に、これから撮影する映像をワイプインでつなぎます。



効果をランダムに変更

「場面の初めと終わりの効果」から、ビデオカメラが効果をランダムに選びます。



場面の切り替え部に効果を入れる

場面切替には、次の 17 種類の効果があります。

分　類	メニューアイコン	効　果
場面の初めと終わりの効果	フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
	フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
	ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下に向かって映像が徐々にワイプインし、左下から右上に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中央から外に向かって映像が徐々にワイプインし、画面の外から中央に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：スライド	黒い画面の右から左に向かって映像が徐々にワイプインし、左から右に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ドア	黒い画面の中央から左右にドアを開けるように映像が徐々にワイプインし、閉めるようにワイプアウトします。
	ワイプ：スクロール	黒い画面の下から上に向かって映像が徐々にワイプインし、上から下に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から上下に向かって映像が徐々にワイプインし、上下から中央に向かってワイプアウトします。

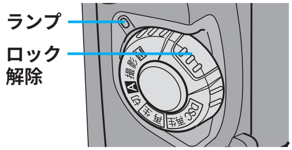
分　類	メニューアイコン	効　果
次の場面を重ねる効果	**オーバーラップ**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。
	ワイプ：コーナー	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右上から左下に向かって徐々にワイプインします。
	ワイプ：ウィンドウ	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から外に向かって徐々にワイプインします。
	ワイプ：スライド	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右から左に向かって徐々にワイプインします。
	ワイプ：ドア	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から左右にドアを開けるように徐々にワイプインします。
	ワイプ：スクロール	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の下から上に徐々にワイプインします。
	ワイプ：シャッター	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から上下に徐々にワイプインします。
効果をランダムに変更	?R **ランダム**	「場面の初めと終わりの効果」分類の中からビデオカメラがランダムに効果を選びます。
―	**切**	「場面切替」を使用しないときに選択します。

- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。（☞ P.105、172）

場面切替を設定する

場面切替の効果を設定する方法を説明します。

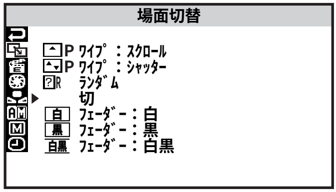
1 **「Ⓜ」をランプの位置に合わせる**



2 **「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する**

場面切替メニューが表示されます。

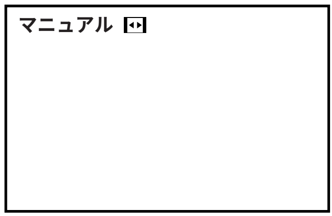




3 **使用する効果を選び、決定する**

撮影画面に戻り、選択した効果のアイコンが画面の上中央に表示されます。





場面切替の効果を取り消すには

手順 3 で「切」を選んでください。

- **電源を切ってしまったときは**
  「次の場面を重ねる効果」（アイコンにPの付いている切替）を設定したとき、電源が切れると、ビデオカメラに記憶されている最後の映像が消えてしまいます。このとき、場面切替設定アイコンが点滅しますので、もう一度通常の撮影をしてから場面切替を行ってください。撮影停止を5分以上続けても電源が切れますので、注意してください。
- **場面切替設定と演出効果設定（☞ P.106）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、演出効果設定と一緒に使えない場面切替があります。
  場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **場面切替は撮影モードダイヤルが「DUAL」のときはご使用できません。**

映像に変化をつける

演出効果の種類

次にあげる15種類の演出効果を使って、映像に変化をつけて撮影できます。

メニューアイコン	効　果
夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は になりますが、お好みの設定に変えることができます。ピントは、10m～無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。フラッシュは発光しません。
セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（ P.168）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。（DUALのみ使用不可）
B/W　ブラック/ホワイト	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。（DUALのみ使用不可）
映画効果	早いコマ落とし効果をつけて映像を記録します。（VIDEOモードとPSモードのみ）
ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。（VIDEOモードとPSモードのみ）
ゴースト	被写体が何重にもなって撮影されます。幻想的な雰囲気を出したいときなどに効果的です。（VIDEOモードとVGAモードのみ）
1　高感度　4倍	暗い場所にある被写体を、通常よりも約4倍明るく浮かび上がらせて撮影できます（シャッター速度は1/15秒）。（VIDEOモード、PSモード、VGAモードのみ）
2　高感度　10倍	暗い場所にある被写体を、通常よりも約10倍明るく浮かび上がらせて撮影できます。（シャッター速度は1/6秒）。（VIDEOモード、PSモード、VGAモードのみ）

メニューアイコン	効　果
1/60　シャッター1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100　シャッター1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。（50Hz地域のみ）
1/250　シャッター1/250	シャッタースピードを1/250に固定します。動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。できるだけ明るい場所で撮影してください。
切	「演出効果」を使用しないときに選択します。

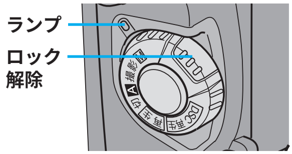
MEMO

- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は使用できません（☞ P.105, 172）。

演出効果を設定する

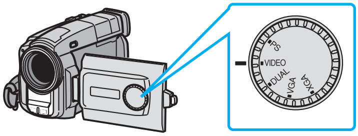
演出効果を設定する方法を説明します。

1 「Ⓜ」をランプの位置に合わせる

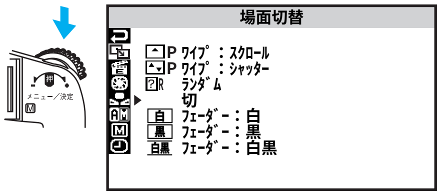


2 必要に応じて「VIDEO」に変更する

- 「DUAL」以外では使えない効果があります。

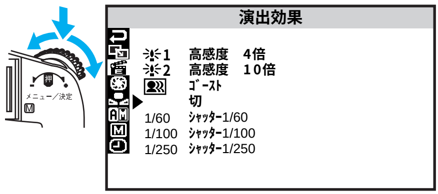


3 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示する



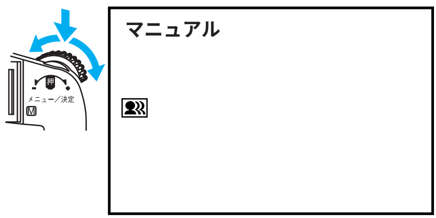
4 ダイヤルで「🎬」を選び、決定する

演出効果メニューが表示されます。



5 演出効果を選び、決定する

撮影画面に戻り、選択した効果のアイコンが画面の左中央に表示されます。



映像に変化をつける

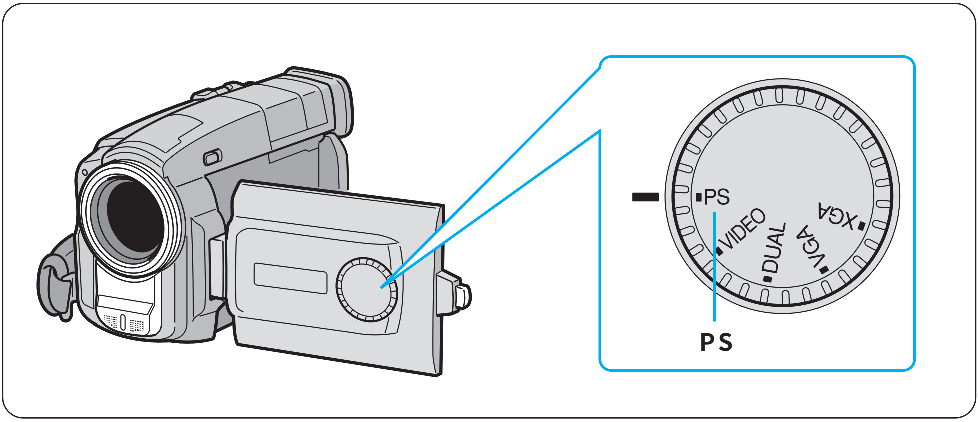
演出効果を取り消すには

手順 5 で「切」を選んでください。

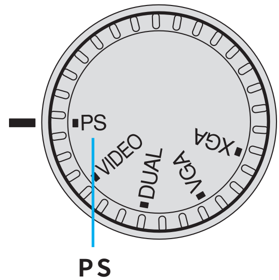
- **演出効果設定と場面切替設定（☞ P.100）を一緒に使うと**
  さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。演出効果設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。
- **シャッターメニューを使うときは**
  シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります（1/60、1/100、1/250 の順で暗くなります）。できるだけ明るい場所で撮影してください。
- **高感度メニューを使うときは**
  暗いところでのみお使いください。撮影した映像はコマ落としのようになります。手動フォーカス表示が出て点滅したときは、ピントを手動で合わせ、三脚などで固定してください。
- **ゴーストを設定しているときは**
  10 倍以上のズームはご利用いただけません。

連続静止画を撮る［PS モード］

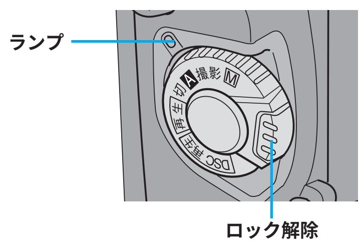
PS モード（プログレッシブスキャンモード）では、ぶれのない高画質の静止画像を連続してビデオ撮影できます。撮影した秒間 30 コマの静止画像はビデオとしてテープに保存されます。
動いているものを撮影して、そこから最適の画像を見つけてパソコンに静止画として取り込んだり、プリンターで印刷するときにお勧めします。



1 「PS」を線の位置に合わせる

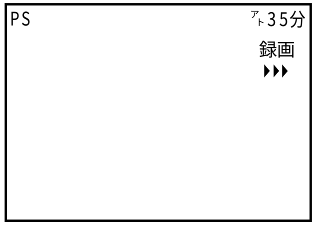


2 「A」または「M」をランプの位置に合わせる



3 撮影ボタンを押して撮影を開始し、もう一度押して撮影を終了する

PS表示



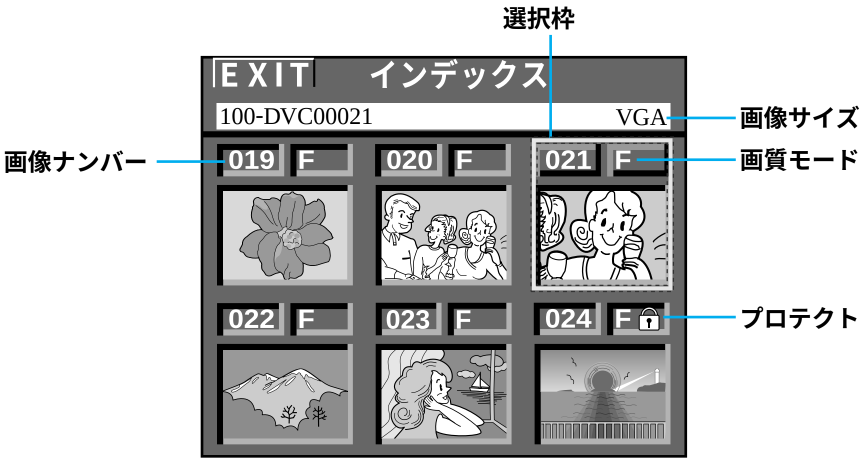
- PS モードで静止画ボタンを押すと、VIDEO モードよりも高画質の静止画を撮影できます。ただし、4 マルチ、9 マルチでは撮影できません（☞ P.84）。

- 再生すると、ややぎこちない動きになります。
- 場面切替の「P」付きの効果は使用できません。
- 演出効果の「ゴースト」は使用できません。

写真を一覧表示する

インデックス画面

メモリーカードの写真を一覧表示します。再生または印刷したい写真を選ぶときに使用します。また、プロテクト（削除防止）の有無や撮影時の画質も確認できます。表示方法と操作については次ページをご覧ください。



画像ナンバー：メモリーカードに記録した順につきます。

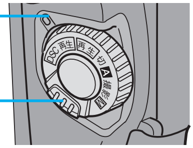
プロテクト：写真にプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、🔒マークがつきます（☞ P.158）。

画質モード：記録した写真の画質を表します。
画質モードには、画質の良い順にファイン（F）、スタンダード（S）、エコノミー（E）の３種類があります（☞ P.165）。

選択枠：「メニュー／決定」ダイヤルを回すと枠が移動します。写真を選ぶときには、この枠を目的の写真に合わせます。

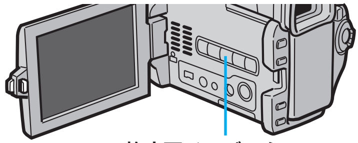
インデックス画面の使いかた

1 「DSC 再生」をランプの位置に合わせる



2 「静止画インデックス」ボタンを押す

インデックス画面に、写真が６枚表示されます。

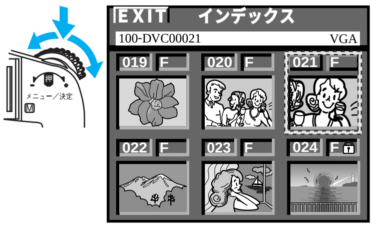


3 「メニュー／決定」ダイヤルを回して枠を写真に合わせ、押して決定します。

枠を左、または前ページに移動 →「－」側

枠を右、または次ページに移動 →「＋」側

選んだ写真が画面全体に表示されます。



再生と印刷を工夫しよう編

楽しい印刷をする

メモリーカードの写真にいろいろな効果をつけて印刷できます。オリジナルの絵はがきやカレンダーなども簡単に作れます。
ビデオの映像に効果をつけて印刷するには、印刷したい場面をあらかじめメモリーカードにコピーしておきます（☞ P127）。

白黒やセピア色で印刷する

カラーの写真を、白黒写真や古くなった写真（セピア）のように印刷できます。昔の写真のような雰囲気を演出できます。

1 印刷の準備をする

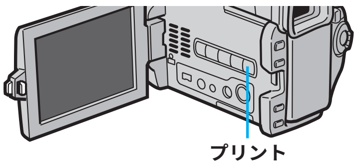
- プリンターを準備し、接続するには（☞ P.68）。

2 写真を再生し、印刷したい写真を選ぶ

- インデックス画面を使うと、簡単に選べます（☞ P.112）。

3 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューが表示され、「この画像をプリント」が反転します。



4 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。

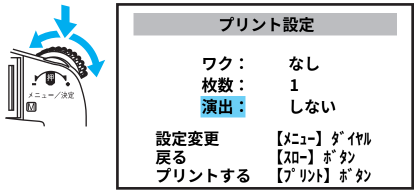
プリント設定

この画像をプリント
連続プリント

変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷｬﾝｾﾙ	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
次へ	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

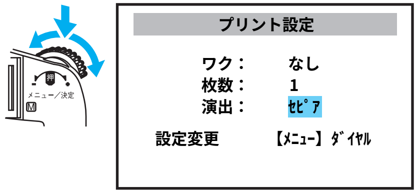
5 「演出」を選び、決定する

右側のメニューが反転します。



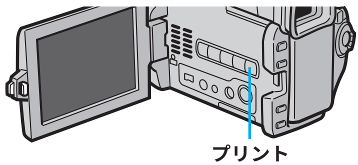
6 ダイヤルを回して次のどちらかを選び、押して決定する

- 白黒で印刷する→「ブラック／ホワイト」
- セピア色で印刷する→「セピア」



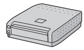
7 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。



演出効果を取り消すには

手順 6 で「しない」を選んでください。
プリントフレーム（☞ P.118)をつけていた場合、プリントフレームも取り消されます。



ワク付き印刷と複数枚の印刷

写真の周りに白い余白のあるワク付き印刷と、余白のないワク無し印刷を選べます。また、同じ写真を複数枚、印刷することもできます。
この機能は、ビデオの映像を印刷するときも利用できます。

1 印刷の準備をする

- プリンターを準備し、接続するには（☞ P.68）。

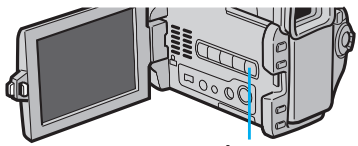
2 写真またはビデオを再生し、印刷したい写真または場面を選ぶ

- 写真を選ぶときは、インデックス画面を使うと便利です（☞ P.112）。

3 「プリント」ボタンを押す

- ビデオの場合、テープを一時停止してから押します。

プリント設定メニューが表示されます。



4 写真の場合のみ、「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。

プリント設定

この画像をプリント
連続プリント

変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷｬﾝｾﾙ	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
次へ	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

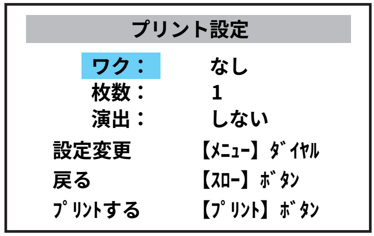
ご注意
- ワク無し印刷の場合、写真の上下左右が欠けて印刷されます。欠けないように印刷するには「ワク：」を「あり」に設定してください。

- シール紙およびはがきではワク無し印刷できません。

5 「ワク」または「枚数」を選び、決定する

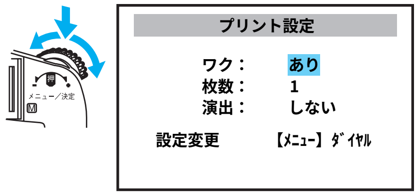
右側のメニューが反転します。

- 「演出：しない」は写真のときに表示されます。



6 ダイヤルを回して設定を変更し、押して決定する

- 「ワク」を「あり」に設定すると、写真のまわりに余白がつきます。
- 「枚数」を「２」以上に設定すると、同じ写真が指定した枚数印刷されます。



7 必要に応じて、もう一方の設定を変更する

- 写真の場合、ほかの設定も変更できます。

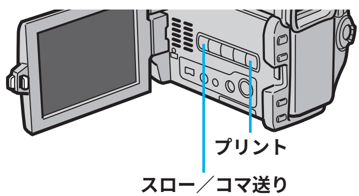
8 用紙が十分にセットされていることを確認する

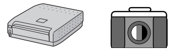
- 手順６で設定した枚数分セットしてください。

9 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。

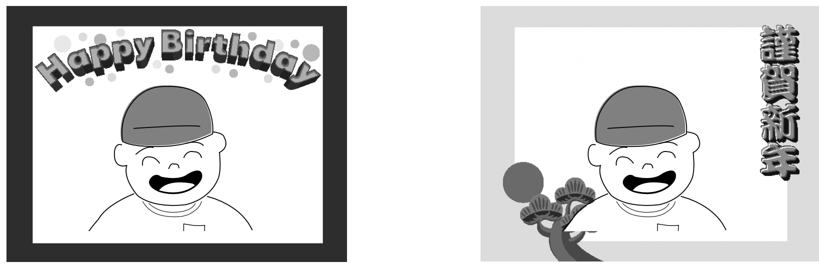
- 印刷をキャンセルするには、「スロー／コマ送り」ボタンを押します。





絵はがきを作る［プリントフレーム］

写真を飾るワクや絵のことをプリントフレームと呼びます。プリントフレームを使うと、オリジナル絵はがきを簡単に作れます。

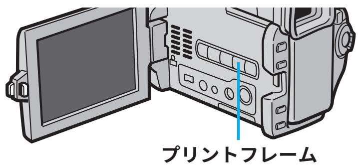


1 印刷の準備をする

- プリンターを準備し、接続するには（☞ P.68）。

2 写真を再生し、印刷したい写真を選ぶ

- インデックス画面を使うと、簡単に選べます（☞ P.112）。



3 「プリントフレーム」ボタンを押す

インデックス画面にプリントフレームの一覧が表示されます。

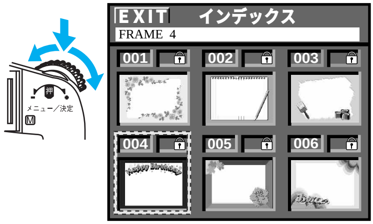
4 好きなプリントフレームを選ぶ

- 「メニュー／決定」ダイヤルを回して枠をプリントフレームに合わせ、押して決定します。

  枠を左、または前ページに移動　→「－」側

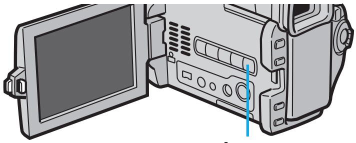
  枠を右、または次ページに移動 →「＋」側

写真にプリントフレームがつきます。



5 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューが表示され、「この画像をプリント」が反転します。



6 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。

プリント設定

この画像をプリント
連続プリント

変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷｬﾝｾﾙ	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
次へ	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

7 設定内容を確認し、必要に応じて変更する

- はがきに印刷するときは、必ず「ワク：あり」に設定してください（☞ P.117）。

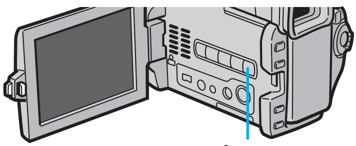
プリント設定

ワク：	あり
枚数：	1
演出：	しない
設定変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
戻る	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾄする	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

8 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。

- 印刷をキャンセルするには、「スロー／コマ送り」ボタンを押します。



- 「写真をまとめて印刷する」（☞ P.124）ときは、プリントフレームが解除されます。
- 別売マルチメディア・ナビゲーターパック（HS-V10KIT）を使用すると、パソコンでプリントフレームを作成してメモリーカードに保存できます。

  保存したプリントフレームは、プリントフレームのインデックス画面の「010」以降に表示されます。

カレンダーを作る

好きな写真を使ったオリジナルカレンダーを作れます。

1 印刷の準備をする

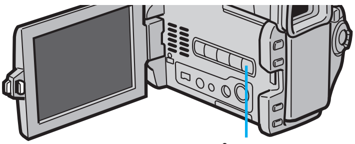
- プリンターを準備し、ビデオカメラに接続するには（☞ P.68）。

2 写真を再生し、印刷したい写真を選ぶ

- インデックス画面を使うと、簡単に選べます（☞ P.112）。

3 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューが表示され、「この画像をプリント」が反転します。



4 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。

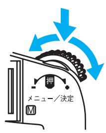
プリント設定

この画像をプリント
連続プリント

変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
ｷｬﾝｾﾙ	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
次へ	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

5 「演出」を選び、決定する

右側のメニューが反転します。



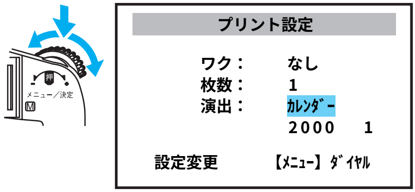
プリント設定

ワク：	なし
枚数：	1
演出：	しない

設定変更	【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
戻る	【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
プリントする	【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

6 ダイヤルを回して「カレンダー」を選び、押して決定する

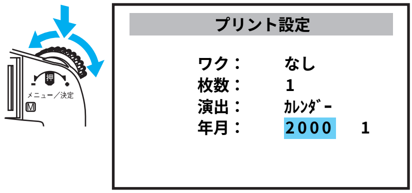
西暦が変更できるようになります。



7 作成したいカレンダーの年にする

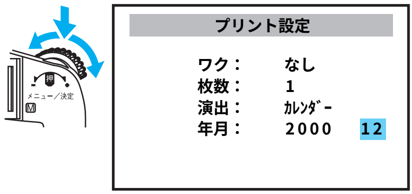
- ダイヤルを回して合わせ、押して決定します。

月が変更できるようになります。



8 作成したいカレンダーの月にする

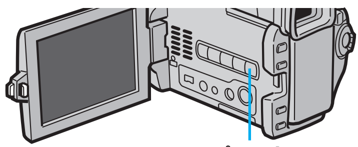
- ダイヤルを回して合わせ、押して決定します。



9 その他の設定内容を確認し、必要に応じて変更する

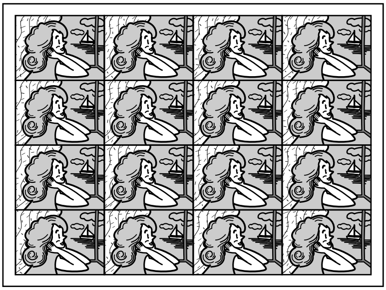
10 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。



小さなシールを作る［同 16 画面］

同 16 画面機能を使ってシール用紙に印刷すると、16 分割の小さなシールを作れます。



1 印刷の準備をする

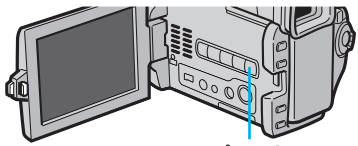
- プリンターを準備し、接続するには（☞ P.68）。
- シール用紙をセットします。

2 写真を再生し、印刷したい写真を選ぶ

- インデックス画面を使うと、簡単に選べます（☞ P.112）。

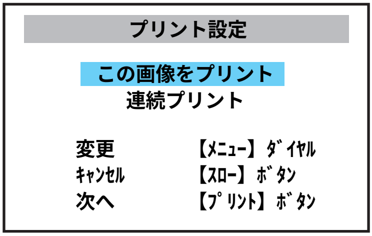
3 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューが表示され、「この画像をプリント」が反転します。



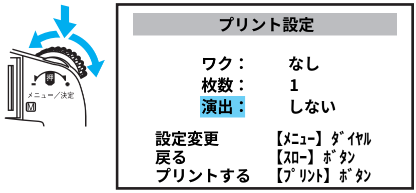
4 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。

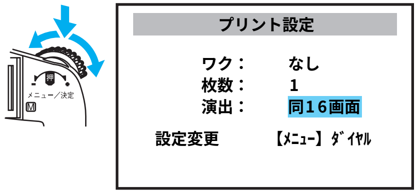


5 「演出」を選び、決定する

右側のメニューが反転します。

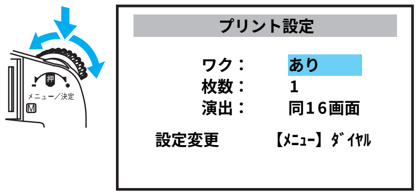


6 ダイヤルを回して「同 16 画面」を選び、押して決定する



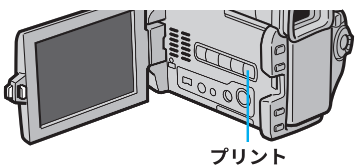
7 設定内容を確認し、必要に応じて変更する

- シールに印刷するときは、必ず「ワク：あり」に設定してください（☞ P.117）。

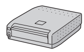
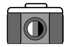


8 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。



写真をまとめて印刷する

すべての写真を１枚ずつ印刷する

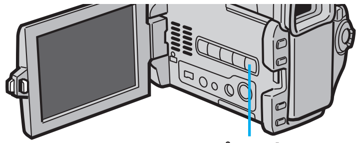
メモリーカードの写真を印刷する方法について説明します。写真を撮影したあと、印刷して確認したいときに便利です。

1 印刷の準備をする

- プリンターを準備し、接続するには（☞ P.68）。

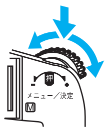
2 「プリント」ボタンを押す

プリント設定メニューが表示されます。



3 「メニュー／決定」ダイヤルで「連続プリント」を選び、決定する

プリント設定メニューを変更する画面が表示されます。



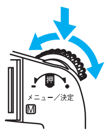
プリント設定

この画像をプリント
連続プリント

変更 【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
キャンセル 【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
次へ 【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

4 「画像」を選び、決定する

「選択する」が反転します。

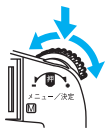


プリント設定

ワク： なし
画像： 選択する

設定枚数 0
設定変更 【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ
戻る 【ｽﾛｰ】ﾎﾞﾀﾝ
プリントする 【ﾌﾟﾘﾝﾄ】ﾎﾞﾀﾝ

5 「すべて１枚」を選び、押して決定する



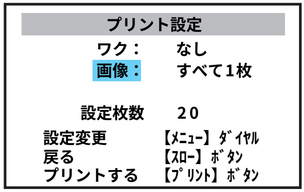
プリント設定

ワク： なし
画像： すべて1枚

設定枚数 0
設定変更 【ﾒﾆｭｰ】ﾀﾞｲﾔﾙ

6 用紙が十分にセットされていることを確認する

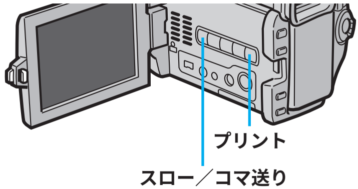
「設定枚数」に、必要な枚数が表示されます。



7 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。

- 印刷をキャンセルするには、「スロー／コマ送り」ボタンを押します。

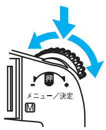


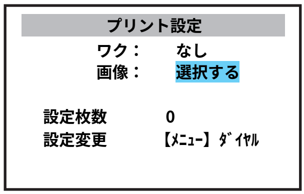
写真を選んで印刷する

メモリーカードから写真をいくつか選び、それぞれに枚数を指定して印刷する方法について説明します。

1 「すべての写真を１枚ずつ印刷する」（☞ P.124）の手順５で「選択する」を選び、押して決定する。

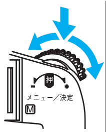
連続プリント設定画面が表示されます。





2 ダイヤルを回して印刷したい写真を選び、決定する

写真の枚数欄が選択されます。

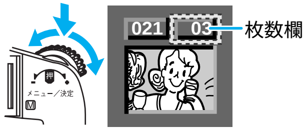




次へ続く

3 ダイヤルを回して枚数欄に印刷する枚数を設定し、決定する

- 最大 15 枚まで設定できます。

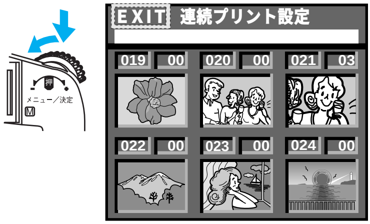


4 他の写真も印刷したいときは、手順２～３を繰り返す

- 枚数を間違えて設定したときは、その写真を選んで枚数を設定しなおします。

5 選び終わったらダイヤルを－側に回して枠を「EXIT」に合わせ、決定する

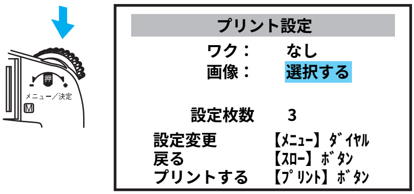
プリント設定メニューに戻ります。



6 必要に応じてワクの有無を変更する

7 用紙が十分にセットされていることを確認する

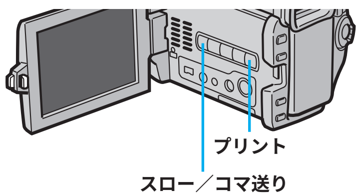
- 「設定枚数」に、必要な枚数が表示されます。



8 「プリント」ボタンを押して、印刷を開始する

「プリント中」と表示されます。印刷が終了すると「プリントが終了しました」と表示され、再生画面に戻ります。

- 印刷をキャンセルするには、「スロー／コマ送り」ボタンを押します。

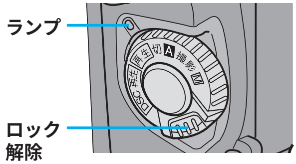


映像をコピーする

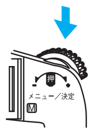
テープからメモリーカードに映像をコピーする

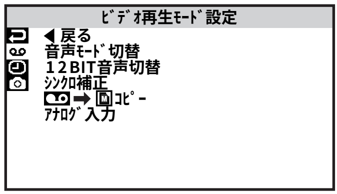
ビデオの映像から好みの場面を選び、メモリーカードにコピーして写真に変更できます。『楽しい印刷をする』（☞ P.114）の機能の多くは、ビデオでは利用できません。ビデオの１場面を加工して印刷するには、あらかじめメモリーカードにコピーするか、再生時に効果を加えて印刷します（☞ P.131）。

1 「再生」をランプの位置に合わせる



2 「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示し、もう一度押して決定する

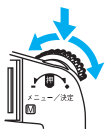


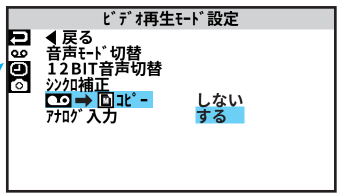


3 「→ コピー」を選び、決定する

「しない」「する」が表示されます。

4 「する」を選び、決定する





5 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して再生画面に戻る

6 ビデオを再生し、コピーしたい映像のところで一時停止する

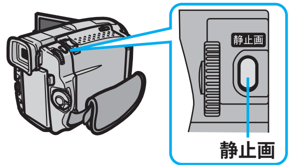
- ビデオを操作するには（☞ P.56）
- ビデオ中の静止画を探すには（静止画サーチ）（☞ P.85）

次へ続く

映像をコピーする

7 「静止画」ボタンを押す

画面がメモリーカードにコピーされて写真になります。



- コピーした画像は VGA の写真と同じサイズになります。
- メモリーカードには画面に表示されている画像がコピーされます。
- コピーするときに、映像をセピア色や白黒に変化させることもできます。
  手順 7 の前にリモコンを使って演出効果を加えてください（☞ P.131）。

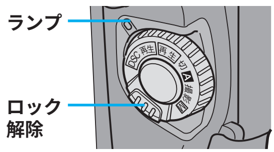
メモリーカードからテープに写真をコピーする

メモリーカードから写真を選んでテープにコピーし、ビデオに静止画として挿入できます。

1 ビデオを操作し、写真を挿入したい場所で停止しておく

- ビデオを操作するには（☞ P.56）

2 「DSC 再生」をランプの位置に合わせる

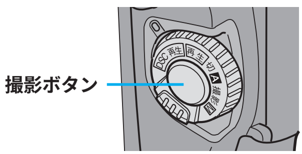


写真が再生されます。

3 コピーしたい写真を選ぶ

- 写真を１枚ずつ、または連続再生しながら探すには（☞ P.59）
- インデックス画面を使って探すには（☞ P.112）

4 撮影ボタンを押す



画面に次のメッセージが表示されます。

「スタート／ストップボタンを押すとテープに記録します」

5 メッセージが表示されている間に撮影ボタンを押す

- 撮影ボタンを押さずにいるとメッセージが消えます。手順４からやり直してください。

テープに約６秒間コピーされます。

- 選んだ写真にプリントフレームをつけて（☞ P.118）コピーすることができます。手順３のあとにプリントフレームをつけて、手順４に進んでください。
- XGA 画像をテープにコピーしたときの画像は、720 × 640 サイズになります。

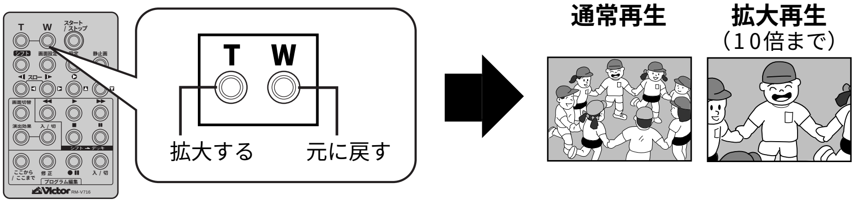
ビデオの映像を加工する

映像の一部を拡大する［再生ズーム］

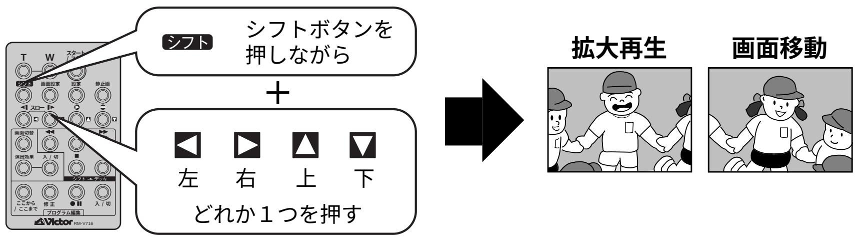
ビデオの再生中に画面を拡大するには、別売アクセサリーキット（GV-SP700KIT または VU-L700KIT）のリモコンを使用します。

1 拡大するには、再生中にリモコンの「T」ボタンを押す

- 元に戻す → 「W」
- 静止画再生やスロー再生中も拡大できます。



2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押したまま、「◀」「▶」「▲」「▼」ボタンを押す



- 拡大すると、映像は少し粗くなります。
- 演出効果の「ゴースト」を加えると、拡大は解除されます。

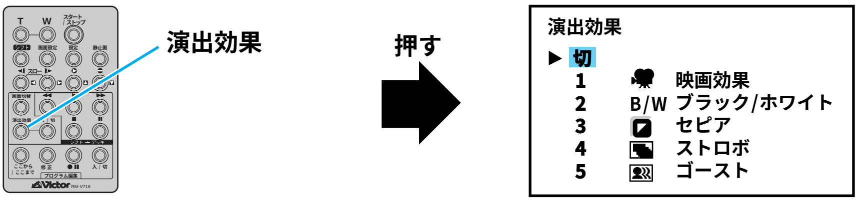
- 拡大をやめたいときは通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

再生時の映像に変化をつける［演出効果］

再生中のビデオ映像に演出効果を加えるには、別売アクセサリーキット（GV-SP700KIT または VU-L700KIT）のリモコンを使用します。再生時に演出効果を加えて楽しむほか、画像をセピア色や白黒に変えてメモリーカードにコピーできます（☞ P.127）。

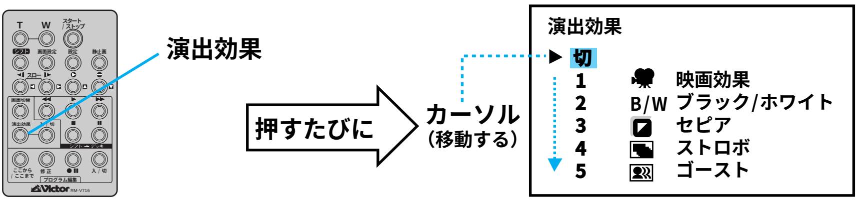
1 再生中にリモコンの「演出効果」ボタンを押す

演出効果メニューが表示されます。



2 「演出効果」ボタンを押して効果を選ぶ

- ボタンを押すたびにカーソルが移動します。目的の効果に合わせてください。



選んで約 2 秒後にメニューが消えます。再生中の映像には効果が加わっています。

- 演出効果「入／切」ボタンで、選んだ演出効果をいつでも入れたり切ったりできます。

日時の表示を切り替える

ビデオを撮影すると、撮影した日時が記録されます。ビデオを再生するときに、撮影した日時を表示させることができます。

日時表示の種類

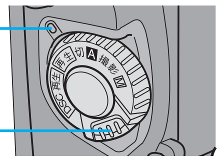
次の３種類から選択できます。お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

	撮影	再生
オート	電源オンから５秒間表示	●再生開始から５秒間表示 ●日付が変わると５秒間表示
入	常に表示	
切	なし	

ここでは、撮影した日時を再生時に表示するように設定します。

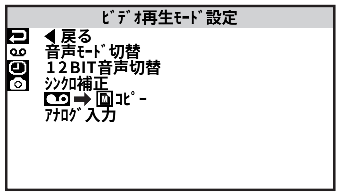
1 「再生」をランプの位置に合わせる

- 「Ⓜ」と「DSC再生」でも切り替えられます。



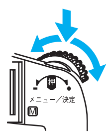
2 「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する

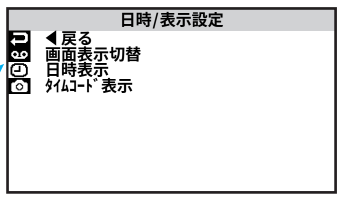




3 ダイヤルで「◙」を選び、決定する

日時／表示設定メニューが表示されます。

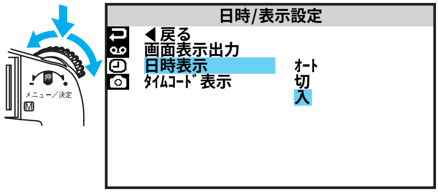




4 「日時表示」を選び、決定する

「オート」「切」「入」が表示されます。

5 「入」を選び、決定する

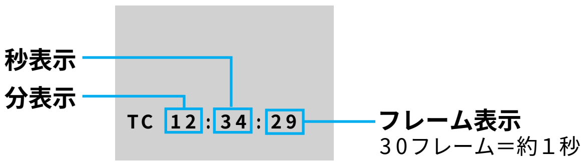


6 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して再生画面に戻る

タイムコード表示を設定する

タイムコードとは

撮影中、１コマ１コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録します。ビデオの撮影、再生、編集の際にタイムコードを表示すると、映像の位置を確かめる目安になります。

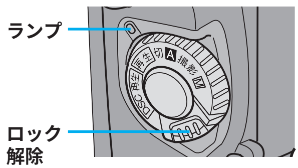


- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は分と秒のみ表示されます。

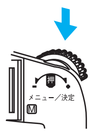
タイムコード表示を切り替える

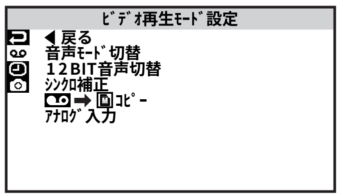
ビデオ再生時にタイムコードを表示する方法を説明します。

1 「再生」をランプの位置に合わせる



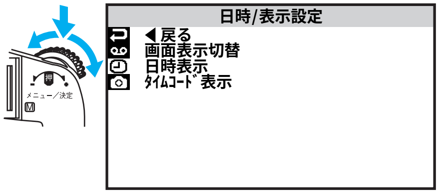
2 「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する





3 ダイヤルで「」を選び、決定する

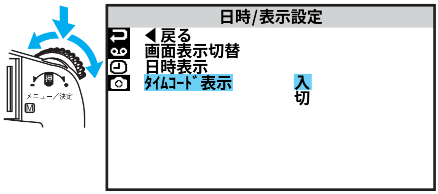
日時／表示設定メニューが表示されます。



4 「タイムコード表示」を選び、決定する

「切」と「入」が表示されます。

5 「入」を選び、決定する



6 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して再生画面に戻る

画面左下にタイムコードが表示されます。

タイムコードと無記録部分

「無記録部分」とは、テープに何も録画されていない部分のことです。ここから撮影を開始すると、タイムコードは必ず「00:00:00」から記録されます。
同じタイムコードが２カ所以上に存在すると、自動編集時に誤作動を起こす原因となります。

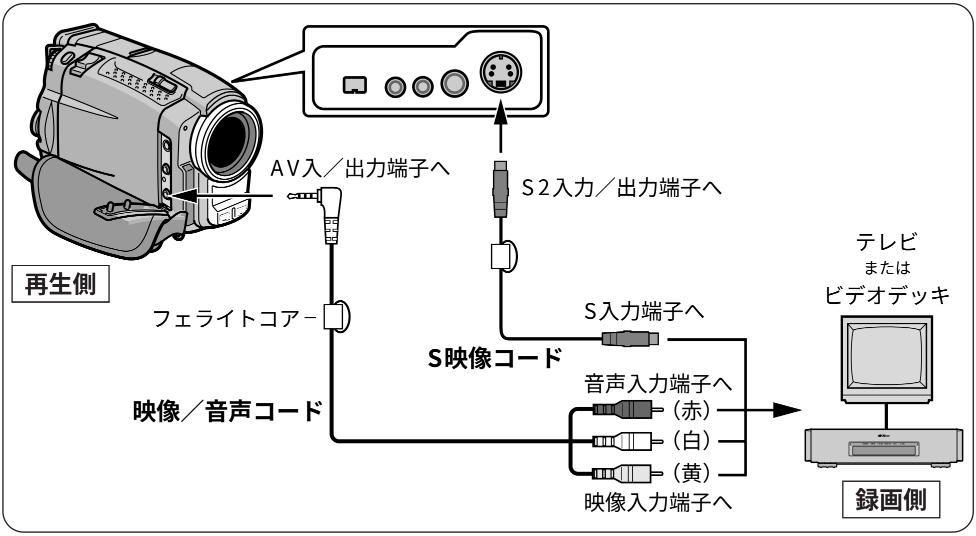
次の状態のときは、無記録部分から撮影しないように、前に撮影した映像の終わりを確かめてから撮影してください。

- 途中まで撮影したテープを使うとき
- 再生したことのあるテープを使うとき
- テープのカバーを開閉したとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき

ビデオをダビングする

ビデオデッキへダビングする

ビデオカメラで撮影したテープから、ビデオデッキのテープへダビングできます。Ｓ入力端子付きのビデオデッキにＳ映像コードで接続すると、より高画質の映像をダビングできます。



1 **ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する**

- AC アダプターを接続するには（☞ P.61）

2 **映像／音声コードを、ビデオデッキの入力端子とビデオカメラに接続する**

- Ｓ入力端子のあるビデオデッキをお使いの場合、Ｓ映像コードも接続します。
- 必ず､別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)のコードを使用してください。コードは､フェライトコアのある側をビデオカメラに接続します。

3 **ビデオカメラの電源を入れ、ビデオを再生する**

4 ダビングを開始したいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

録画を開始します。

5 ダビングを終了したいところで、ビデオデッキの停止ボタンを押す

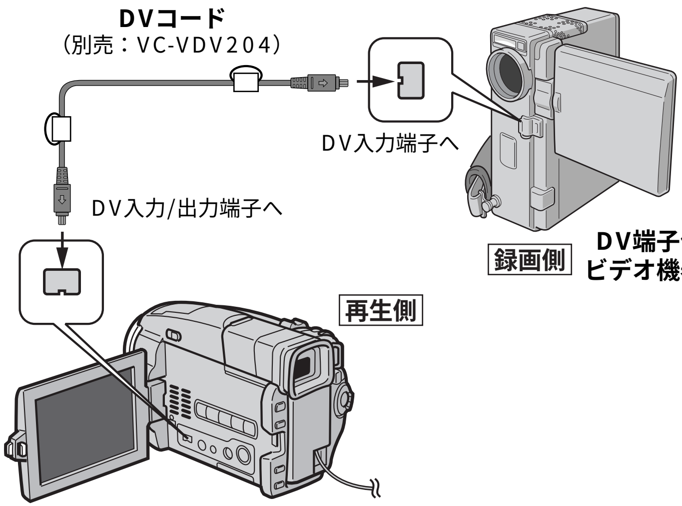
録画を終了します。

- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべく AC アダプターをお使いください。
- ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。
- カットしたい映像があるときはビデオデッキの一時停止ボタンを押してダビングを一時停止させ、ダビングしたい場面がテレビや液晶画面に現われたら録画を再開してください。
- テレビの画面に表示されるメッセージは、そのままダビングされます。メッセージを消してからダビングしてください（☞P.132、134、163）。

- テレビに映像が出ない、または音声が出ないときは、ビデオ再生モード設定メニューで「アナログ入力」を「しない」に設定してください（☞ P.202）。

デジタルでダビングする

DV 端子付ビデオ機器をお持ちの場合、DV コードを使ってダビングできます。デジタル信号でダビングするため、画質と音質はほとんど劣化しません。



1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

- AC アダプターの取り付け（☞ P.61）

2 DV コードを、ビデオカメラの「DV 入力／出力」端子と DV 端子付ビデオ機器の DV 入力端子に接続する

- 別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)のフェライトコアを取り付けてください。

3 ビデオカメラの電源を入れ、ビデオを再生する

4 ダビングを開始したいところで、DV 端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

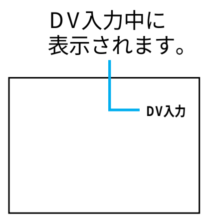
録画を開始します。

5 ダビングを終了したいところで、DV 端子付ビデオ機器の停止ボタンを押す

録画を終了します。

本機を録画側として使うには

1 録画モードを選ぶ（☞ P.165）。
2 電源ダイヤルを「再生」にする。
3 再生側の DV 機器を「再生」モードにする。
4 撮影ボタンを押すと、画面上に「DV 入力」表示が出て録画停止状態になります。
5 録画停止状態で撮影ボタンを押すと、録画を開始します。
6 再び撮影ボタンを押すと、録画停止状態になります。

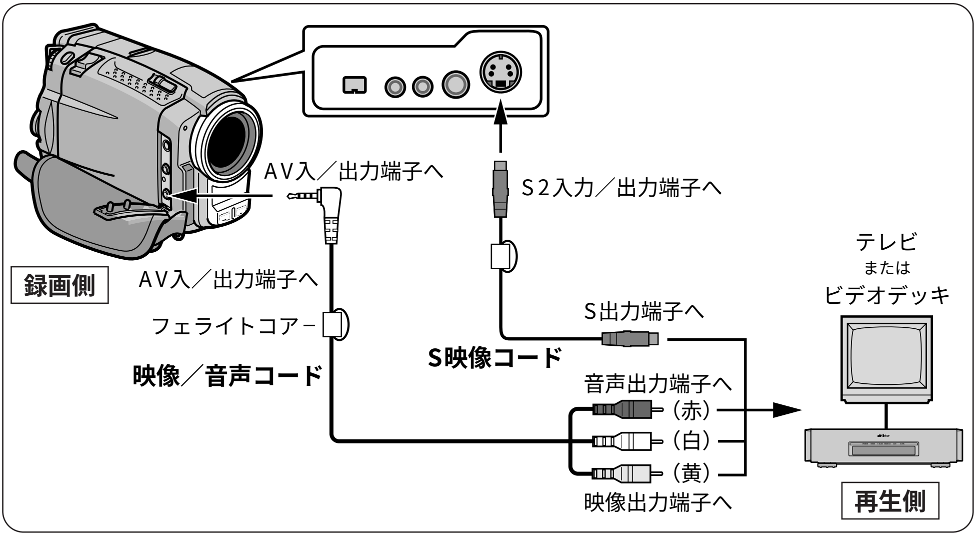


DV入力画面表示

- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべく AC アダプターをお使いください。
- ご使用になる DV 端子付ビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。
- 再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。
- 再生時に「場面切替」「演出効果」「デジタルズーム」「記念写真」を設定していても DV 出力端子からは、テープの通常再生映像しか出ません。

ビデオ機器からダビングする

ビデオデッキなど、DV 端子を持たないビデオ機器からもビデオカメラへダビングできます。



1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

- AC アダプターの取り付け（☞ P.61）

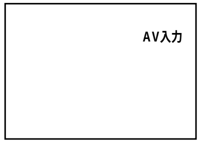
2 映像／音声コードを、ビデオ機器の出力端子とビデオカメラに接続する

- S出力端子のあるビデオ機器をお使いの場合、S映像コードも接続します。
- 必ず、別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)のコードを使用してください。コードは、フェライトコアのある側をビデオカメラに接続してください。

3 電源ダイヤルの「再生」をランプの位置に合わせ、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「する」に設定する（☞ P.202）

4 ビデオカメラの撮影ボタンを押す

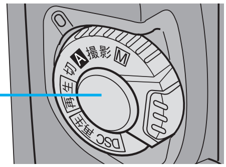
画面に「AV 入力」と表示され、録画停止状態になります。



5 ビデオデッキでビデオを再生する

6 ダビングを開始したいところで、ビデオカメラの撮影ボタンを押す

録画を開始します。



7 ダビングを終了したいところで、もういちど撮影ボタンを押す

録画を終了します。

- アナログ入力時、ご使用のビデオ機器や再生するテープにより、映像が乱れることがあります。

- AC アダプターの代わりにバッテリーを使用すると、ダビング中にバッテリーが切れて失敗することがあります。なるべく AC アダプターをお使いください。
- ご使用になるビデオ機器の取扱説明書もご覧ください。

ビデオを編集する

自動で編集する

撮影済みのビデオからお好きな場面を８つまで選び、ビデオデッキのテープに自動的にダビングできます。次の機能と合わせて使うと、テレビドラマや映画のようなビデオを作成できます。

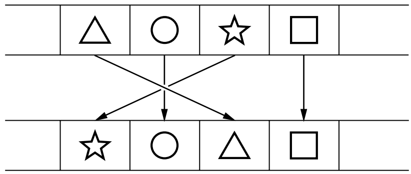
アフレコ編集：　ナレーションや効果音を追加します（☞ P.152）。
場面切替効果：　場面と場面のつなぎ目に効果を加えます（☞ P.100）。
演出効果：　映像に変化をつけます（☞ P.106）。

知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは

撮影済みのビデオの中から最大８つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）

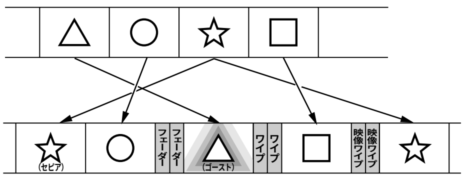


編集済みテープ
（ビデオデッキ）

場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは

自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

撮影済みテープ
（ビデオカメラ）



編集済みテープ
（ビデオデッキ）

ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

自動編集では、別売アクセサリーキット(GV-SP700KIT または VU-L700KIT)のリモコン(☞ P.190)でご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。

1 ビデオデッキの電源を切る

2 ご使用のビデオデッキのメーカー名を確認する

3 「リモコンメーカー設定表」(次ページ)とメーカー名を対応させる

4 リモコンの「設定」ボタンを押したまま、設定表の「A」に書かれているボタンを押す



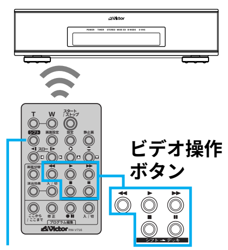
- 「設定」ボタンを押したまま、「リモコンのボタン１」を押し、「設定」ボタンの指を離さずに「リモコンのボタン２」を押します。

ビデオデッキに電源が入り、登録が完了します。

5 ビデオデッキに電源が入らない場合は、「B」「C」…の組み合わせのボタンを押す

リモコンでビデオデッキを操作するには

「シフト」ボタンを押したまま、各操作ボタンを押します。



次へ続く

ビデオを編集してみよう編

ビデオを編集する

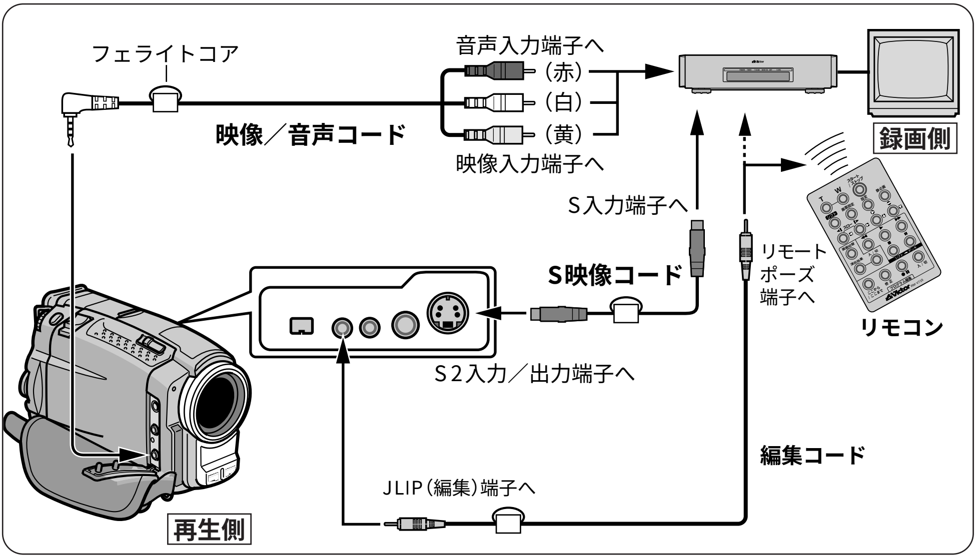
リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	A	●II（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	B	●II（ビデオ準備）	■（停止）
	C	●II（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	A	■（停止）	▶▶（早送り）
	B	■（停止）	▶（再生）
	C	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	A	■（停止）	▶（再生）
	B	（シフト）	II（一時停止）
	C	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	D	（ここから/ここまで）	●II（ビデオ準備）
シャープ	A	◀◀（巻戻し）	II（一時停止）
	B	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	A	■（停止）	II（一時停止）
	B	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	C	（シフト）	●II（ビデオ準備）
	D	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	A	■（停止）	●II（ビデオ準備）
	B	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	A	（シフト）	（ここから/ここまで）
	B	（シフト）	（修正）
日立	A	■（停止）	■（停止）
	B	■（停止）	（シフト）
フナイ	A	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	A	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	B	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	C	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	D	●II（ビデオ準備）	▶（再生）
	E	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	A	■（停止）	（ここから/ここまで）
	B	■（停止）	（修正）

- **リモコンの乾電池がなくなったときは**
  設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。
- **リモコンでビデオデッキを操作できないときは**
  機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

好きな場面を選んでダビングする

ここでは、ビデオから編集したい場面を選び、ビデオデッキのテープへ自動的にダビングする方法を説明します。
場面と場面の間に場面切替の効果を使う方法と、場面に演出効果を使う方法については、操作手順の間の📖で説明します。自動編集に慣れてからお読みください。



1 ビデオカメラにACアダプターを取り付け、ビデオデッキと接続する

- ACアダプターを接続するには（☞ P.61）
- ビデオデッキと接続するには（☞ P.136）

2 「JLIP（編集）」端子とリモコンを、編集コードで接続する

- 別売アクセサリーキット(GV-SP700KITまたはVU-L700KIT)の編集コードを使用してください。編集コードは、フェライトコアのある側をビデオカメラに接続します。

3 ビデオカメラでビデオを再生する

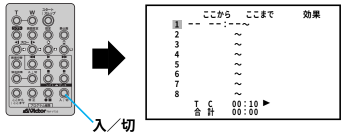
- 再生するには（☞ P.56）

液晶画面とテレビに映像が表示されます。

次へ続く

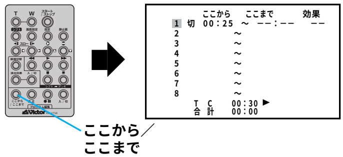
4 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向け、「入／切」ボタンを押す

液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。



5 ダビングを開始したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

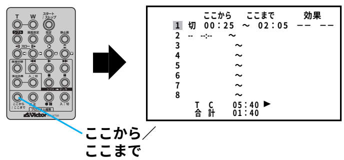
開始場面のタイムコードが表示されます。



- **場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞ P.100）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。フェーダーやワイプを使用できます。

6 ダビングを終了したい場面が表示されたときに、「ここから／ここまで」ボタンを押す

終了場面のタイムコードが表示されます。



- **場面の撮り終わりに変化を付けたいときは（☞ P.100）**
  リモコンの「場面切替」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。
  ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。
- **映像そのものに変化を付けたいときは（☞ P.106）**
  リモコンの「演出効果」ボタンを押します。ボタンを押すたびに液晶画面やテレビに表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。

7 手順5～6を繰り返して、場面を登録する

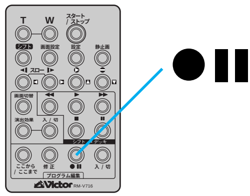
- ８つまで登録できます。

	ここから	ここまで		効果
1 切	00:25～02:05		P	切
2 P	07:18～08:31		切	切
3 切	03:33～05:53			B/W
4	09:30～13:15			
5	15:55～16:10		--	--
6	--:--～			
7	～			
8	～			
T C	16:20			
合 計	09:17			

- 場面の始めに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの左側に表示されます。場面の終わりに場面切替を設定したときは、設定した効果のアイコンがカウンターの右側に表示されます。場面に演出効果を設定したときは、設定した効果のアイコンが「効果」に表示されます。何も設定していないときは「切」が表示されます。

8 ビデオカメラのテープを巻き戻し、タイムコード（例 00:25 より前）付近まできたら一時停止する

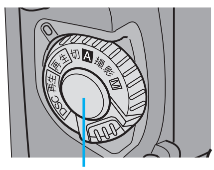
9 リモコンをビデオデッキのリモコン受光部に向け、「●II」ボタン（ビデオ準備ボタン）を押す



ビデオデッキが録画一時停止の状態になります。

- リモコンで録画一時停止の状態にならないときは、ビデオデッキ本体を操作してください。

10 ビデオカメラの撮影ボタンを押す


撮影ボタン

自動編集が始まり、ビデオデッキのテープに映像がダビングされます。ダビングが終わると、ビデオカメラが停止の状態になり、ビデオデッキは録画一時停止の状態になります。

リモコンの「スタート／ストップ」ボタンでは、自動編集は始まりません

次へ続く

11 ビデオカメラとビデオデッキを停止する

自動編集が終了します。

- **画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
  テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください。(☞ P.132, 134, 163)
  (自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません)。
- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには 1 秒以下の数値(フレーム)が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **自動編集の登録場面を修正したいときは**
  リモコンの「修正」ボタンを押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。
- **ビクターのリモートポーズ端子付ビデオデッキをお使いのときは**
  編集コードを「JLIP(編集)」端子とビデオデッキのリモートポーズ端子に接続してお使いになることができます。(☞ P.145)
- **ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。**

- **こんなときは自動編集できません**
  - 同じタイムコード(☞ P.134)が 2 つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
  - 編集終了場面のタイムコードの値が編集開始場面の値より小さいときは自動編集できません。
  - 編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間(当社の場合約 5 分以内)を超えるときは、自動編集できません
  - リモコンのプログラム編集「入/切」ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
  - 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック(青い画面)を記録してしまうことがあります。
  - 自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。

より正確に自動編集する［シンクロ補正］

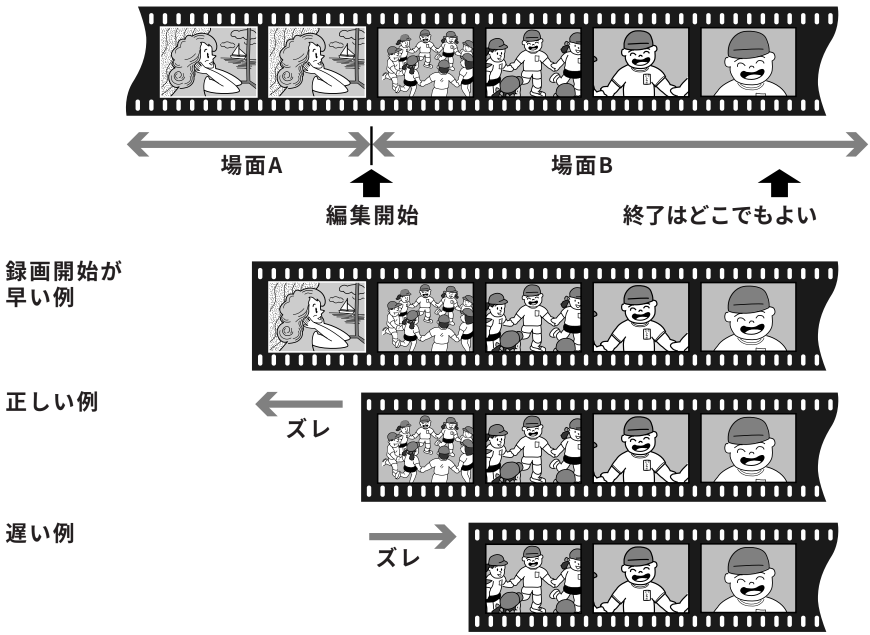
ビデオデッキには反応の早いものと遅いものがあります。自動編集でビデオカメラの再生とビデオデッキの録画を同時に開始しても、録画開始のタイミングがズレたために前の場面が残っていたり、場面の最初が欠けていたりすることがあります。
ズレを防ぐには、録画のタイミングをあらかじめ補正します。

録画タイミングのズレを確認する

映像の区切りと時間の経過が判りやすいビデオを用意し、これを自動編集してみます。編集後にビデオデッキのテープを再生して、指定したタイミングからどの程度ズレてダビングが開始されているか確認します。

1 場面を１つだけ自動編集する

- 自動編集するには（☞ P.142）
- 編集を開始する場面には、映像の変化が判りやすいところを選んでください。



次へ続く

2 ビデオデッキのテープを巻き戻し、再生する

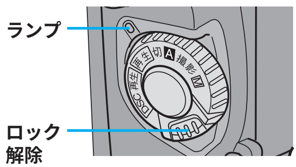
3 録画のタイミングのズレ（秒）を確認する

- **自動編集を行う前に**
  数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

録画タイミングのズレを補正する

録画のタイミングがズレていたときは、ビデオカメラでタイミングのズレを補正します。

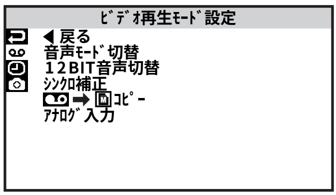
1 「再生」をランプの位置に合わせる



2 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する

ビデオ再生モードメニューが表示されます。

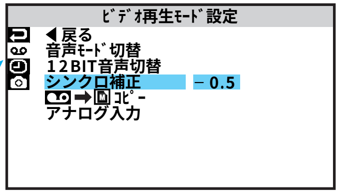




3 「シンクロ補正」を選び、決定する

4 ダイヤルを回して数値を設定し、押して決定する



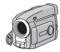


- ビデオデッキの録画開始が
  早い → －値にする
  遅い → ＋値にする

  （例）ビデオデッキの録画が 0.5 秒早く開始している場合、左に回して「－ 0.5」に設定します。
- 設定範囲は－ 1.3 〜＋ 1.3 秒です。

5 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して再生画面に戻る

- **補正しても録画タイミングが合わないときは**
  ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

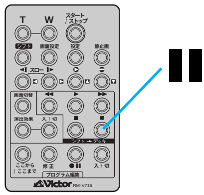
ビデオに音声を追加する［アフレコ編集］ 

撮影したビデオには、あとでナレーションを追加したり、吹き替え音声を録音したりできます。アフレコ編集には、別売アクセサリーキット（GV-SP700KIT または VU-L700KIT）のリモコンを使用します（☞ P.190）。

1 ビデオカメラでビデオを再生する

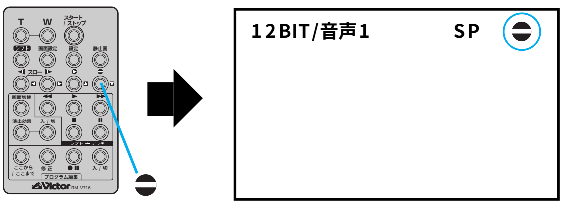
- ビデオを再生するには（☞ P.56）

2 アフレコ編集したいところで一時停止する



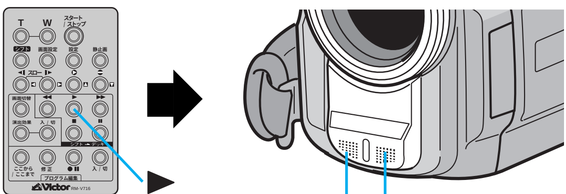
3 「⊖」ボタンを押したまま、「❚❚」ボタンを押す

液晶画面に「⊖」アイコンが表示されます。



4 「▶」ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かって声を吹き込む

アフレコ編集が始まり、声が記録されます。



マイク
マイクの正面から声を
吹き込んでください。

5 アフレコ編集を終了するには、「■」ボタンを押す

- **別の場面からアフレコ編集を再開したいときは**
  リモコンの「❚❚」ボタンを押します。ビデオが静止画になります。リモコンの「■」ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。
- **外部マイクを使ってアフレコ編集したいときは**
  外部マイクをマイク端子に接続してください。
- **外部機器を使ってアフレコ編集したいときは**
  外部機器をAV入力／出力端子に接続して、ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「する」に設定してください（☞ P.202）。また、外部機器の音はヘッドホンで聞くことができます。

- **画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは**
  LPモードで撮影したテープ、または16BITの音声を記録したテープにはアフレコ編集できません。
- **テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは**
  テレビからビデオカメラや外部マイクを離すか、テレビの音量を下げてください。

再生時の音声を切り替える

音声モード切替と 12BIT 音声切替

アフレコ編集したビデオでは、録音時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）の再生を選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

アフレコ音声の切り替え［12BIT 音声切替］

撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定します。
- **音声1**　：撮影時の音声
- **音声2**　：アフレコ音声
- **ミックス**　：撮影時の音声とアフレコ音声（同時に再生）

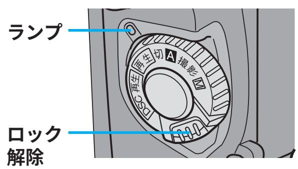
ステレオ音声の切り替え［音声モード切替］

ビデオの音声をステレオまたは左右どちらかのみで再生するか設定します。
- **ステレオ**　：ステレオ（左右どちらも再生）
- **音声（L）**　：左の音声のみ
- **音声（R）**　：右の音声のみ

音声切替の操作

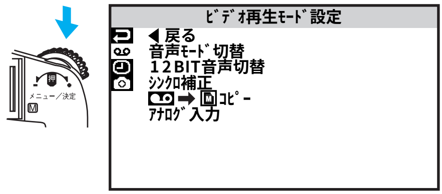
ここでは、アフレコ音声をステレオで再生するように設定してみます。

1 **「再生」または「DSC 再生」をランプの位置に合わせる**



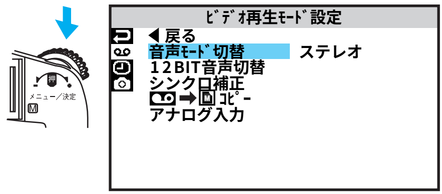
2 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、もう一度押して決定する

ビデオ再生モード設定メニューが表示されます。



3 「音声モード切替」を選び、「ステレオ」に設定されていることを確認する

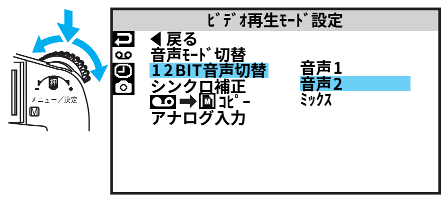
- 「音声（L）」または「音声（R）」になっている場合は、「ステレオ」に変更してください。



4 「12BIT 音声切替」を選び、決定する

「音声１」「音声２」などが表示されます。

5 「音声２」を選び、決定する



6 「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して再生画面に戻る

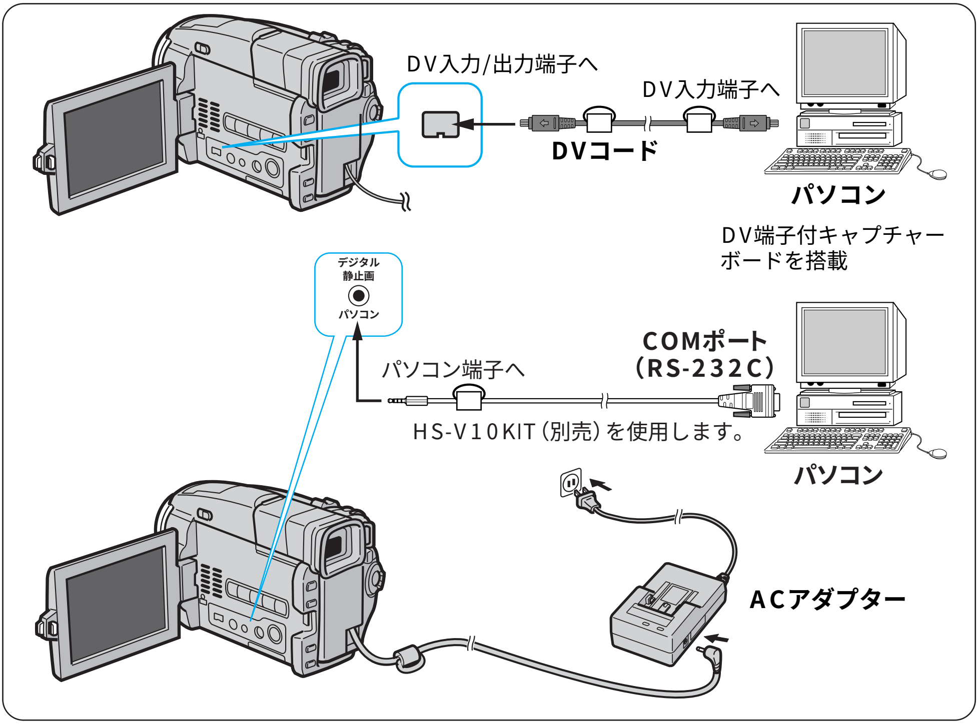
MEMO

- ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

映像をパソコンで利用する

ケーブルで接続する

別売パソコン接続キット（HS-V13KIT）を使用すると、メモリーカードに記録した写真をパソコンに取り込めます。別売 HS-V10KIT を使用すると、写真のほかにテープに記録した映像（静止画）もパソコンに取り込めます。また、別売の DV 端子付キャプチャーボード（GV-DV1000）を搭載したパソコンには、ビデオと写真を取り込めます。



ご注意

- 必ず電源を切った状態で接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- 本機の電源には、AC アダプターをお使いになることをおすすめします。
- ノイズを除去するために、別売アクセサリーキット（GV-SP700KIT または VU-L700KIT）に付属のフェライトコアを DV コードに取り付けてください。取り付けかたは、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。
- 日時情報などは、パソコンに取り込むことができません。
- GV-DV1000 を使用するときは、GV-DV1000 に付属の DV コードをご使用ください。
- 各オプション品の取扱説明書もご覧ください。
- HS-V10KIT を使用するには、コードを接続してから本機の電源ダイヤルを「再生」にしてご使用ください。

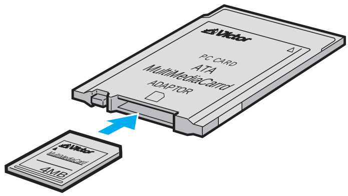
PC カードで読み込む

別売のマルチメディアカード用 PC カードアダプター（CU-V50）を使うと、メモリーカードに記録した写真を簡単にノートパソコンに取り込めます。各社の PC カードリーダーと組み合わせると、デスクトップパソコンにも取り込めます。

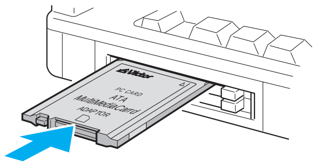
1 メモリーカードを取り出す

- メモリーカードを取り出すには
（☞ P.39）

2 メモリーカードを PC カードアダプターに差し込む



3 ノートパソコンの PC カードスロットに差し込む

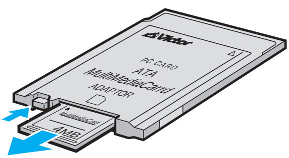


4 パソコンで、PC カードからハードディスクへファイルをコピーする

- パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
- PC カードアダプターの取り扱いについては、PC カードアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- PC カードリーダーの取り扱いについては、PC カードリーダーの取扱説明書をご覧ください。

PC カードアダプターから取り出すには

取り出しボタンを押して、メモリーカードを取り出します。

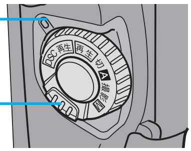


写真を削除できないようにする［プロテクト］

写真にプロテクトをかける

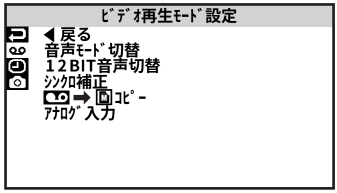
間違えて削除しないように、大切な写真にはプロテクトをかけることをお勧めします。プロテクトをかけた写真は削除されません。

1 **「DSC 再生」をランプの位置に合わせる**



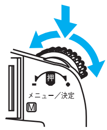
2 **「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する**

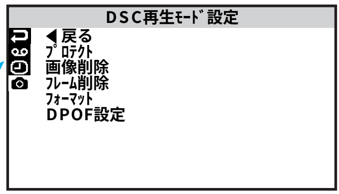




3 **「」を選び、決定する**

DSC 再生モード設定メニューが表示されます。





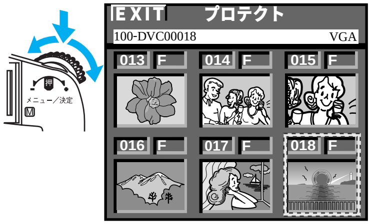
4 **「プロテクト」を選び、決定する**

プロテクト画面が表示されます。

5 プロテクトをかける写真を選び、決定する

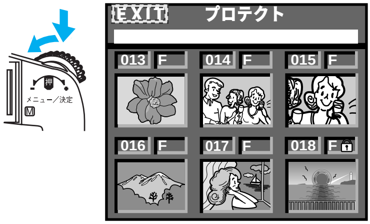
写真に🔒マークがつきます。

- 他の写真にもプロテクトをかけるときは、手順５を繰り返します。



6 「EXIT」を選び、決定する

再生画面に戻ります。



写真のプロテクトをはずす

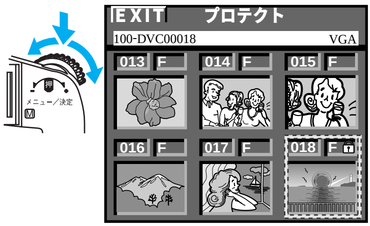
1 前のページの手順１～４を行う

プロテクト画面が表示されます。

2 プロテクトをはずしたい写真を選び、決定する

写真の🔒マークが消えます。

- 他の写真もプロテクトをはずしたいときは、手順２を繰り返します。



3 「EXIT」を選び、決定する

再生画面に戻ります。

ご注意

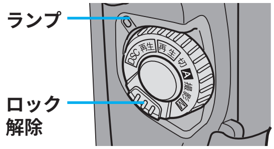
- 画像にプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要な画像はパソコンに転送して保存してください。

パソコンで作ったプリントフレームを削除する

プリントフレームを選択して削除する

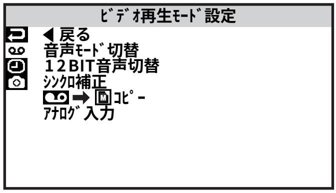
別売マルチメディア・ナビゲーターパック（HS-V10KIT）を使用すると、パソコンでプリントフレームを作成し、メモリーカードに取り込めます。
ここでは、不要になったプリントフレームを削除する方法を説明します。

1 「DSC 再生」をランプの位置に合わせる



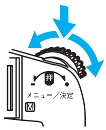
2 「メニュー／決定」ダイヤルを押して、メニューを表示する

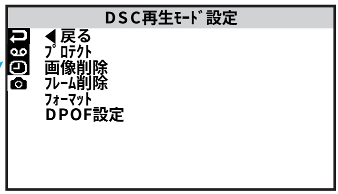




3 「📷」を選び、決定する

DSC 再生モード設定メニューが表示されます。



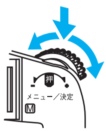


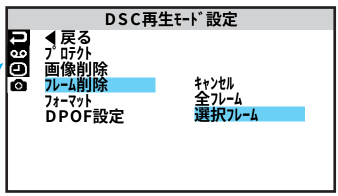
4 「フレーム削除」を選び、決定する

「全フレーム」や「選択フレーム」が表示されます。

5 「選択フレーム」を選び、決定する

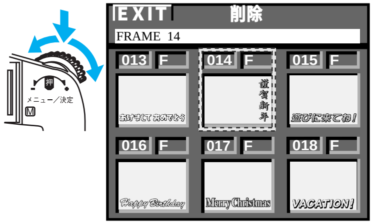
液晶画面にフレームが表示されます。





6 削除するフレームを選び、決定する

フレームに「×」がつきます。

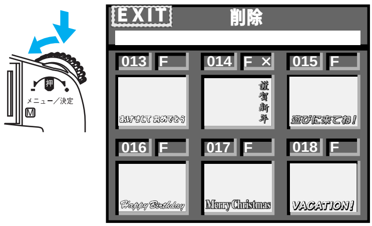


7 他のフレームも削除したいときは、手順 6 を繰り返す

- 間違えて「×」をつけてしまったときは、その写真を選択してダイヤルを押します。「×」が消えます。

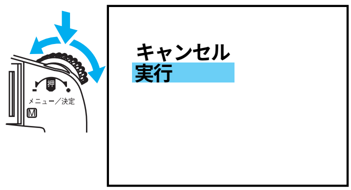
8 「EXIT」を選び、決定する

「キャンセル」と「実行」が表示されます。



9 「実行」を選び、決定する

「×」をつけた写真が削除され、再生画面に戻ります。



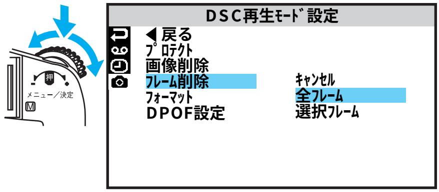
パソコンで作ったプリントフレームを削除する

プリントフレームをすべて削除する

ここでは、作成したプリントフレームをすべて削除する方法を説明します。

1 **「プリントフレームを選択して削除する」（☞ P.160）の手順 5 で「全フレーム」を選び、決定する**

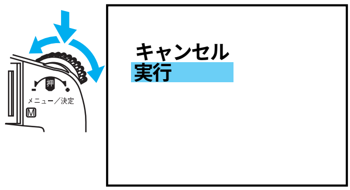
「キャンセル」と「実行」が表示されます。



2 **「実行」を選び、決定する**

- 削除をやめるには「キャンセル」を選びます。

フレームがすべて削除されます。



ご注意
- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となります。
また、別売の AC アダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。

MEMO
- 本機に内蔵されているプリントフレームは削除できません。
- プリントフレームを作成する方法については、別売マルチメディア・ナビゲーターパック（HS-V10KIT）の取扱説明書をご覧ください。

画面の表示方法を変更する

ダビングや編集をするときには、画面の文字や記号を隠すことをお勧めします。ここでは、画面の日時表示やメニュー表示を隠す方法と、そのほかの日時／表示設定メニューの項目について説明します。

日時／表示設定メニュー

電源ダイヤルを「M」「再生」「DSC 再生」のいずれかに合わせ、「メニュー／決定」ダイヤルで設定する。

項　目	設定項目	機　能
画面表示切替	**モニター**	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する
	モニター［シンプル］	TVやビデオデッキに、画面内の文字を出力しない 画面内の表示を最少限にする
日時表示	**オート**	電源を入れたときなどに5秒間表示する
	切	表示しない
	入	常に表示する（☞ P.132）
タイムコード表示	**切**	表示しない
	入	表示する（☞ P.134）
年月日時計合わせ	**年月日、時刻**	日時を設定する（☞ P.42）「M」に設定したときのみ

※:最初の設定値は、［灰色の網掛け］で表示してあります。

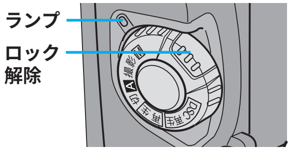
- 「画面表示切替」と「日時表示」と「タイムコード表示」の設定は電源ダイヤルを「A」にしたときも働きます。
- 「画面表示切替」の設定はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。（☞ P.190）

日時／表示設定メニューの設定方法

メニューの操作方法を説明します。例として、「画面表示切替」の設定を「モニター（シンプル）」に変更します。

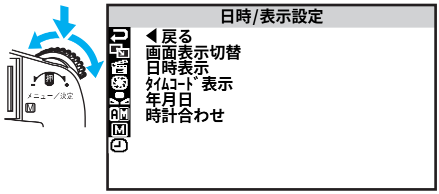
1 **「Ⓜ」をランプの位置に合わせる**

- 「再生」または「DSC再生」の位置に合わせても設定できます。



2 **「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、「◎」を選んで決定する**

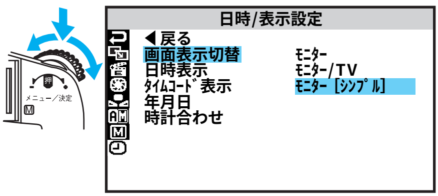
日時／表示設定メニューが表示されます。



3 **「画面表示切替」を選び、決定する**

「モニター」「モニター／TV」「モニター（シンプル）」が表示されます。

4 **「モニター（シンプル）」を選び、決定する**



5 **「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して撮影画面に戻る**

撮影設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、「A」と「M」の両方で効果がある項目について説明します。

撮影設定［A］［M］メニュー

電源ダイヤルを「M」に合わせ、「メニュー／決定」ダイヤルで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集可能	P.152
	LP	撮影時間がSPモードの1.5倍	
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12BIT	アフレコ編集可能	P.152
	16BIT	高音質で録音	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	40倍	デジタルズーム	P.49
	200倍	デジタルズーム	
	10倍	光学ズーム（画質が劣化しない）	
感度アップ 撮影の感度を設定する	オート	シャッター速度調整で感度アップ	P.166
	AGC	電気的に感度アップ	
	切	自然のままの明るさ	
ブザー／タリー 操作音と撮影ランプを消す	入［メロディー］	操作するごとにメロディー音	P.166
	入［ブザー］	一部の操作のみブザー音	
	切	音とランプを消す	
照明 撮影モード照明のライトを消す	入	撮影モードをライトの色で確認	P.166
	切	ライトを消す	
静止画画質設定 写真の画質を設定する	ファイン	高画質（撮影枚数が少ない）	P.166
	スタンダード	標準画質	
	エコノミー	撮影枚数が多い	
IDナンバー JLIP制御用のIDナンバーを設定する	06 （01～99まで可）	別売HS-V10KITまたはHS-V13KITでビデオカメラを操作するときに使用する	P.156
デモモード 演出効果をデモで確認する	入		P.166
	切		

※:最初の設定値は、　　　で表示してあります。

次へ続く

撮影設定を変更する

各項目の補足説明

録画モード

- 本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをお勧めします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。

音声モード

- アフレコ編集をするには、あらかじめ「12BIT」に設定して撮影してください。一方、「16BIT」に設定すると、より高音質で録音できます。
- どちらのモードでも、ステレオで録音されます。

ズーム

- 10倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10倍以上は映像をデジタル処理するため、映像品質が少し劣化します。

感度アップ

- 「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
- 「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

ブザー／タリー

- 「入[メロディー]」では、操作をするごとにメロディー音が鳴ります。撮影ランプは点灯します。
- 「入[ブザー]」では、一部の操作のみブザー音が鳴ります。撮影ランプは点灯します。
- 「切」では、操作をしても音がしません。撮影ランプも点灯しません。

照明

- 撮影モード照明（☞ P.204）のライトを入／切します。
- ライトの色で撮影モードを確認できます。
  赤：PS、VIDEO
  紫：DUAL
  青：VGA、XGA
- バッテリー使用時は、撮影モードダイヤルを操作したり、電源を入れたときに5秒間点灯します。AC アダプター使用時は、常に点灯します。

静止画画質設定

- おおよその撮影可能枚数が画面右上に表示されます（☞ P.45、52）。

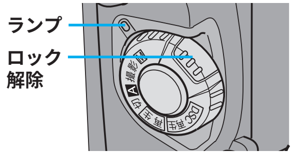
デモモード

- カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、液晶画面にビデオカメラの機能デモを表示します。（☞ P.167）

設定のしかた

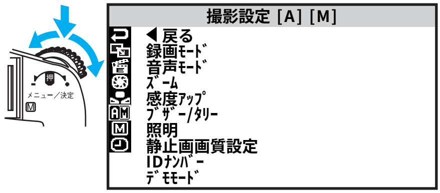
例として、デモモードの設定を「入」に変更します。

1 「Ⓜ」をランプの位置に合わせる



2 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、「🄰🄼」を選んで決定する

撮影設定［A］［M］メニューが表示されます。

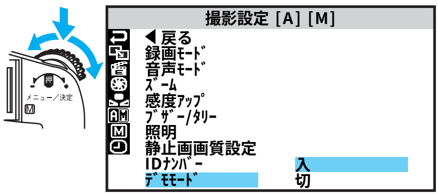


3 「デモモード」を選び、決定する

「入」と「切」が表示されます。

4 「入」を選び、決定する

デモモードが始まります。



デモモードを取り消すには

ダイヤルを２回押す

「切」を選んでください。

- 通常はデモモードを「切」にしてご使用ください
「入」のままにしていると設定できない機能があります。

ダイヤルを押して撮影画面に戻る。

マニュアル用の設定を変更する

ここでは、撮影用の設定のなかで、「M」を選択したときに効果がある項目について説明します。

マニュアル設定［M］メニュー

電源ダイヤルを「M」に合わせ、「メニュー／決定」ダイヤルで設定する。

項　目	設定項目	特　徴	参　照
手ぶれ補正 手ぶれ補正をやめる	**入**	**手ぶれで映像が振れない**	P.169
	切		
セルフタイマー セルフタイマーを設定する	**しない**		P.79
	する	**15秒後に撮影する**	
5S 5秒撮影のモードを設定する	**切**		P.201
	5S	**5秒間だけ撮影する（スナップショットムービー）**	
	アニメ	**約1/8秒間だけ撮影する（アニメーション制作）**	
テレマクロ 接写を設定する	**切**	**1mまで接近して撮影できる**	P.49
	入	**T側で60cmまで接近可能**	
ワイド効果 ワイドテレビに合わせた画面にする	**切**		P.169
	シネマ	**映画風に上下に黒い帯が入る**	
	ワイド	**ワイドテレビと同じ横長の画面になる**	
	PSワイド	**撮影できる範囲を広げられる**	
ボイスポジション 録音される雑音を軽減する	**切**	**自然な音声を録音する**	P.201
	入	**風による雑音を軽減して録音する**	
フラッシュモード フラッシュで赤目になるのを防ぐ	**オート**	**暗いときは自動的に発光する**	P.91
	オート赤目軽減	**赤目現象を防ぐ**	
	入	**常に発光する**	
フラッシュ明るさ フラッシュの明るさを設定する	**±0** **(−3〜+3)**	**フラッシュの明るさを増減できる**	P.93

※:最初の設定は、　　　で表示してあります。
※:電源ダイヤルが「A」のときは　　　の設定で動作します。

各項目の補足説明

手ぶれ補正

- 三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- 手ぶれが大きいとき、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき、映像をデジタル処理するときは補正できないことがあります。
- DUAL モードのときは他のモードに比べて手ぶれ補正の効果が弱くなります。
- 手ぶれ補正が働かないときは、液晶画面の「」表示が点滅、または表示が消えます。

ワイド効果

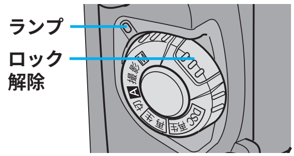
- **普通のテレビ（画面比率 4:3）やファインダー、液晶画面で見るとき、またはプリンターで印刷するときは**
  ワイド映像は、縦長の映像が映ります。シネマ映像は、上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで見るときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。S2 入力／出力端子をＳ映像コードでワイドテレビに接続してください。テレビの S2 端子に接続すれば、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。テレビの S1 端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側に S2 または S1 端子がないときは、S 端子に接続してください。自動判別はできません。なお撮影中、または撮影停止中は、ワイド用の識別信号が出力されません。ワイドテレビで見やすい映像に調節してください。（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。
- **PS ワイド（PS モードのみ）**
  メニューを決定したあと、ズームスイッチを「W」側にスライドさせてください。
  ワイドコンバーションレンズを使用しなくても広角側 0.7 倍のワイド撮影ができます。室内などの狭いところでも、撮影範囲が広がります。またズームが 14 倍（画面表示は 0.7 ～ 10 まで）になります。

マニュアル用の設定を変更する

設定のしかた

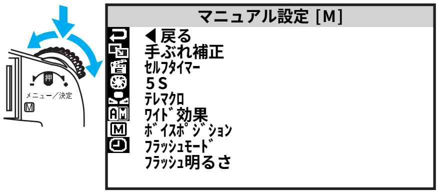
例として、テレマクロの設定を「入」に変更します。

1 **「M」をランプの位置に合わせる**



2 **「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、「M」を選んで決定する**

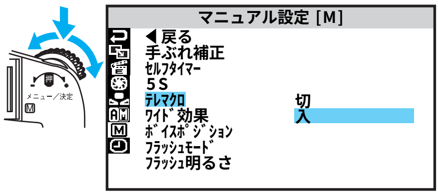
マニュアル設定［M］メニューが表示されます。



3 **「テレマクロ」を選び、決定する**

「切」と「入」が表示されます。

4 **「入」を選び、決定する**



5 **「戻る」を選び、ダイヤルを２回押して撮影画面に戻る**

故障かな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、AC アダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源	**電源が入らない**	●電源コードを正しく接続してください。 ●バッテリーを充電してください。 ●液晶画面を開くか、ファインダーを引き出してください。	61 30 40
	「日時を設定して下さい」が表示される	●内蔵の時計用電池がなくなっています。ACアダプターを24時間以上接続したあと日時を設定してください。	42
撮影中	**撮影できない**	●撮影モードダイヤルを正しく設定してください。 ●テープの誤消去防止用つまみを「REC」側にしてください。 ●「テープおわり」と表示されていませんか？ ●電源ダイヤルを「A」または「M」にしてください。 ●カセットカバーを閉じてください。	55 182 210 40 36
	映像が出ない	●電源をもう一度入れ直してください。	40
	メニューの機能が使えない	●電源ダイヤルを「M」にしてください。	42
	自動でピントが合わない	●電源ダイヤルを「A」にしてください。「M」のまま撮影するときは、「フォーカス」ボタンを押して手動フォーカスを解除してください。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ●レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	96 179
	撮影中、液晶画面に日時が出ない	●「日時表示」を「入」にしてください。 ●対面撮影していませんか？	132 54
	撮影した映像の縦に明るい線が出る	●強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？　被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	—
	太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	●故障ではありません。	—
	写真や静止画を撮ってもフラッシュが発光しない	●十分な明るさがある場合は、「オート」では発光しません。「入」に切り替えてください。 ●フラッシュが充電中ではありませんか？　画面に⚡が点滅していたら充電中です。充電には約10秒ほどかかる場合があります。 ●ビデオ（動画）の撮影中ではフラッシュは発光しません。 ●4マルチ、9マルチモードの静止画では発光しません。 ●「感度アップ」が「切」のとき、演出効果で「夜景」を設定したときは発光しません。 ●フラッシュを閉じていると発光しません。 ●バッテリー残量表示が点滅しているときは、発光しません。	91 53 45

次へ続く

故障かな？と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	**フラッシュをたいて写真や静止画を撮っても赤目軽減効果がない**	●フラッシュ発光を正面から見ていますか？　正面から見ていないと赤目軽減効果が現われにくくなります。 ●プリ発光を見ていますか？　１度目の発光を見ていないと赤目軽減効果が現われにくくなります。 ●被写体までの距離が離れすぎていませんか？フラッシュの効果は約0.7mから2mの範囲です。 ●「フラッシュモード」を「オート赤目軽減」にして、赤目防止表示を出してください。	91 92 92 91
	撮影した写真や静止画が暗い	●フラッシュ発光部分を指などで覆っていませんか？　フラッシュ発光部分をよく確認して、覆わないようにしてください。 ●「フラッシュ明るさ」が暗い値（－3）になっていませんか？ ●被写体までの距離が離れすぎていませんか？　フラッシュの効果は約0.7mから2mの範囲です。 ●「逆光補正」ボタンを押してください。	204 93 92 82
	撮影した写真や静止画が明るい	●「フラッシュモード」を「入」以外に設定してください。 ●「スポットライト」ボタンを押してください。	91 83
	撮影した写真や静止画の色がおかしい	●照明の色や被写体に白い部分がない場合、または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。「フラッシュモード」を「入」にするか、白い被写体を角に入れて撮影してください。	91
	デジタルズームできない	●「VIDEO」「PS」モード以外では、ズームは10倍までしか使えません。 ●「ズーム」が「10倍」に設定されているときは、ズームは10倍までしか使えません。 ●「演出効果」で「ゴースト」を選択しているときは、ズームは10倍ズームまでしか使えません。 ●「場面切替」で「P ワイプ」を選択しているときはズームは使えません。 ●マニュアル設定［M］メニューで「PSワイド」を設定しているときは、ズームは14倍までしか使えません。	49 165 106 103 168
	手ぶれ補正が働かない	●「手ぶれ補正」を「入」にしてください。	168
	「演出効果」や「場面切替」機能が使えない	●電源ダイヤルを「Ⓜ」にしてください。	104 108
	「場面切替」の「P ワイプ」での切替が使えない	●撮影中に電源ダイヤルを「切」にしないでください。 ●撮影中に電源を切らないでください（撮影停止を5分以上続けると、自動的に電源が切れます）。	105 105
	「場面切替」の「P ワイプ：オーバーラップ」が使えない	●撮影中に「演出効果」を設定、変更しないでください。 ●「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」「高感度」を選択しているときは使えません。 ●「ワイド効果」で「ワイド」または「PSワイド」を選択しているときは使えません。	106 106 168
	「場面切替」の「P ワイプ」でのワイプ効果が使えない	●「演出効果」の「高感度」を選択しているときは使えません。 ●「ワイド効果」で「ワイド」または「PSワイド」を選択しているときは使えません。	106 168
	「場面切替」の「フェーダー：白黒」が使えない	●「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択しているときは使えません。	106

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影中	**「演出効果」の「ゴースト」が使えない**	●「ワイド効果」で「ワイド」または「PSワイド」を選択しているときは使えません。 ●「場面切替」の「P ワイプ」で撮影しているときは使えません。 ●「場面切替」のフェーダー効果を使ってフェードイン、フェードアウトしているときは使えません。	168 103 102
	「演出効果」の「映画効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない	●「場面切替」の「P ワイプ」で撮影しているときは使えません。	103
	「白バランス」が設定できない	●「演出効果」で「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択しているときは使えません。	106
	液晶画面の映像が暗い、または白くなる	●液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ●液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	46 194
	液晶画面の裏側が熱くなる	●液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が熱くなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面に表示ムラが出る	●液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	—
	液晶画面のアイコン表示が点滅する	●「場面切替」「演出効果」「手ぶれ補正」機能のうち、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅します。	102,106 168
	「ツユが付きました」と表示される	●メッセージが消えてから使用してください。	179
	「ヘッドが汚れています」と表示される	●別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを清掃してください。	178
	液晶画面にメッセージなどの表示が出ない	●「画面表示切替」を「モニター」または「モニター／TV」にしてください。	163
	撮影中に音声が聞こえない	●ヘッドホンで聞くことができます。ビデオを再生して音量を調節してください。	56
再生中	**液晶画面の映像が乱れる**	●テープの無記録部分の再生、高速再生、および静止画再生中は液晶画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	テープの、巻戻し、早送りができない	●電源ダイヤルを「再生」にしてください。	56
	メモリーカードの再生ができない	●電源ダイヤルを「DSC再生」にしてください。	59
	テープは回っているが再生されない	●カセットカバーを閉じてください。 ●テレビのチャンネルをビデオ用に設定してください。	36 63

次へ続く

故障かな？と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
再生中	**映像にモザイク状のノイズが出る**	●別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	178
	映像が映らず青い画面になる	●別売のデジタルビデオヘッドクリーナーテープでヘッドを清掃してください。	178
	再生画が映らない	●ビデオ再生モード設定メニューの「アナログ入力」を「しない」にしてください。 ●S映像コードを使用してください。	202 62
その他	**液晶画面に「E01」など、Eの付いた数字が表示される**	●なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーなど電源を取り外し、数分待って表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。また、テープは取り出さないでください。	210
	液晶画面の映像が暗い	●寒い場所でビデオを再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。	—
	液晶画面に映像が表示されない	●ファインダーを引き出していませんか？ ●液晶画面の明るさを調節してみてください。 ●液晶画面を１８０゜回転しているときは、液晶画面を一度確実に開いてください。	46 46 —
	液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	●故障ではありません。	181
	ファインダー内にゴミが入っている	●市販のレンズブロワーでごみを取ってください。	180
	ACアダプターの充電ランプがつかない	●低温（10℃以下）や高温（30℃以上）で充電していませんか？10～30℃の環境で充電してください。周囲の温度が低すぎたり高すぎたりすると、バッテリー保護のため充電が中止されることがあります。	31
	テープが入らない	●テープの向きを確かめてください。 ●バッテリーの残量を確かめてください。	36 45
	メモリーカードが入らない	●メモリーカードの向きを確かめてください。	38
	プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	●故障ではありません。 手ぶれ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	—
	持ち運び中にレンズカバーが開くことがある	●衝撃があると開くことがあります。 電源を入れ直すと元に戻ります。	—
	メモリーカードの画像を削除できない	●プロテクトを解除してください。	159
	通信時エラー表示が出る	●パソコンケーブルを正しく接続してください。 ●ソフトを正しくインストールしてください。	156
	DVコードで接続しているとき、操作ができない	●電源が入った状態でDVコードを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	138 156

メモリーカードのフォーマット[初期化]

メモリーカードをフォーマットするときは、下記の手順で行なってください。フォーマットするとメモリーカード内の写真はすべて消去されます。

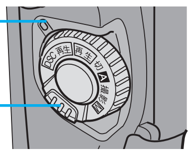
1 ACアダプターを取り付ける

- ACアダプターを取り付けるには
  (☞ P.61)

2 保存したい写真があればテープにコピーする

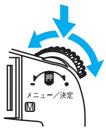
- テープに写真をコピーするには
  (☞ P.129)
- データが破壊されているときは、コピーできないこともあります。

3 「DSC再生」をランプの位置に合わせる



4 「メニュー／決定」ダイヤルを押してメニューを表示し、「📷」を選んで、決定する

DSC再生モード設定メニューが表示されます。



DSC再生ﾓｰﾄﾞ設定
◀戻る
ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
画像削除
ﾌﾚｰﾑ削除
ﾌｫｰﾏｯﾄ
DPOF設定

5 「フォーマット」を選び、決定する

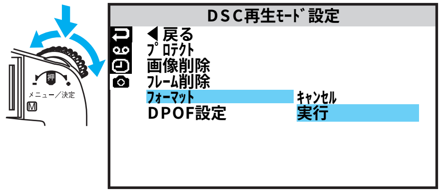
「キャンセル」と「実行」が表示されます。

次へ続く

その他

6 「実行」を選び、決定する

- フォーマットをやめるには「キャンセル」を選びます。



メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。

ご注意

- フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
- 画像にプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要な画像はパソコンに転送して保存してください。

専用プリンターに紙づまりがおきたときは

紙づまりが起きたときは、プリンターの電源ボタンを押して電源を切り、再び押して入れ直してください（☞ P.211）。電源が入ると紙の位置を確認してリセットする動作を自動的に行ない、紙が出てきます。
プリンターの電源ボタンを押しても変化がないときは、再び電源ボタンを押してください。

この操作を数回繰り返しても紙が出てこないときは、紙づまりの起きた場所によって紙を取り除くか、販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

つまった紙が見えるとき

- プリンタ上部の排紙口につまっている紙が見えているときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いたあと紙を破かないように注意し、先が細くてつまめるようなもの（ピンセットなど）で取り除きます。紙にインクシートが貼りついている場合もありますのでゆっくり引き出してください。
  インクシートが貼りついている場合、紙からインクシートをゆっくりはがしてから、インクカセットをプリンターからゆっくり取り出してください。
  インクシートが破れていない場合は、インクシートのたるみを取ってから続けてご使用できます。ただし、１回目の印刷時は、きれいに印刷できないことがあります。
  インクシートが破れている場合は、ご使用できません。
- 給紙トレイを入れる場所の奥など、つまった紙が見えても取り除けない場合は、無理に取り除かずに販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

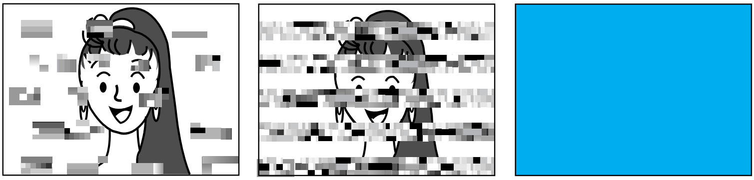
つまった紙が見えないとき

- どこに紙がつまっているか判らないときや、給紙トレイが引っかかって抜けないときは、無理に取り除かずに販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

再生中に映像にノイズが出たら

ビデオカメラを長時間使用していると、ヘッドに空気中のほこりやちりが付着します。また、傷のあるテープを使用したときにテープの磁性粉がはがれてヘッドに付着したりします。ヘッドが汚れると次のような症状が出ます。

- 撮影中に「⊗ ヘッドが汚れています」と表示される
- 再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）
- 再生すると、映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）になる
- 再生すると、映像に黒色やモザイク状の横しまが出る



このようなときは、別売のデジタルビデオヘッドクリーナー（M-DV2CL）テープをビデオカメラで再生して、ヘッドを清掃してください。



M-DV2CL を長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラで M-DV2CL を再生すると、20 秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくは M-DV2CL の取扱説明書をご覧ください。

- **M-DV2CL でクリーニングしても鮮明な映像が映らないときは**
  ヘッドが摩耗しています。または、テープに傷があります。お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。
- **定期点検を行ってください**
  ヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりします。ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間 1000 時間を目安に定期点検に出されることをおすすめします。プリンターも非常に高い精度を必要とする機械です。性能を維持するために、ビデオカメラと同じように定期点検に出されることをお勧めします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

「ツユが付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」といいます。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまいます。



■ つゆつきはこんなときに起こります

- ビデオカメラを寒いところから暖かいところに急に移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき



■ つゆつきが発生すると

- 液晶画面に「💧ツユが付きました」と「しばらくおまちください」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。この間、カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10～15 分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズの内側にも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

■ 再び使い始めるときは

メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

次へ続く

■つゆつきのトラブルを防ぐには

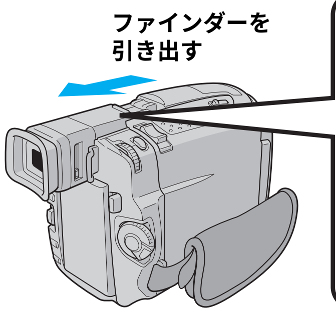
寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。

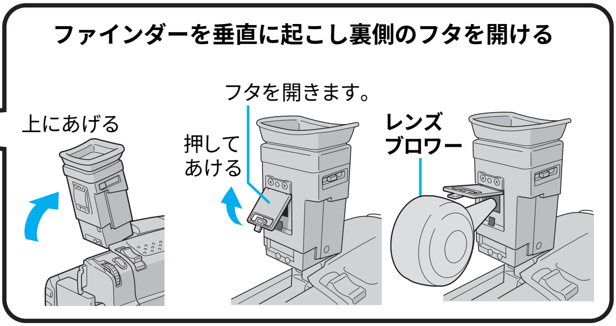
例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに空気を抜いてビデオカメラを密封し、しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。



ファインダーの中にゴミが入ったら

ファインダーの内部にゴミなどが入ったときは、ファインダー底面のフタを開け、レンズブロワーでゴミを取ってください。
終わったらファインダー底面のフタを確実に閉め、ファインダーをもとに戻します。





使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ 本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。
従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません。

■ 電源（バッテリーやACアダプター）をはずすときは、必ず電源ダイヤルが「切」になっていることを確認してください。
ビデオカメラの動作中に電源をはずすと、テープやメモリーカードを傷めたり誤動作の原因になります。

■ 長時間使用しないときは電源ダイヤルを「切」にしてください。
長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。

■ ビデオカメラを保管するときはカセットテープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。
ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ 小さな光る点や黒い点が出ることがあります。
ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。
これらはテープやメモリーカードには記録されません。

使用上のご注意

カセットテープおよびメモリーカードについて

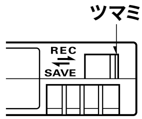
■ **本機は DV 方式のデジタルビデオカメラです。また、デジタルスチルカメラとしても使用できます。**

MiniDV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。

MultiMediaCard マークのついたメモリーカードをご使用ください。

■ **大切な録画を消してしまわないように注意してください。**

保存しておきたい録画済みカセットテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。



■ **事前に試し撮りをしてください。**

大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ **内容の補償についてはご容赦ください。**

万一、ビデオカメラ、カセットテープおよびメモリーカードなどの不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ **権利者に無断で使用できません。**

あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ **撮影を制限している場所があります。**

鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ **モザイク状のノイズが出る場合があります。**

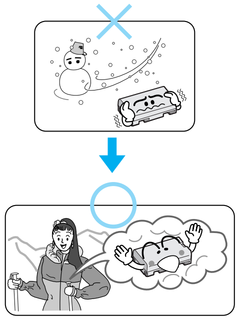
LP モードで録画されたカセットテープは、他の LP モードのあるデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LP モードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。

■ **カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。**

■ **メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。**

バッテリーについて

■ リチウムイオンバッテリーの特性



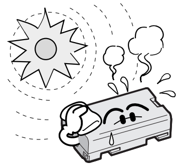
リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10 ℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください。

■ リチウムイオンバッテリーの保存

充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。
長期間保存する場合は、使い切った状態で保存してください。

① テープを入れずに電源を入れる
② ビデオカメラの電源が自動的に切れるまで待ってから、バッテリーを取りはずす

- 長期間保存する場合は、半年程度に一回充電し、再び使い切ってから保存してください。
- ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーをビデオカメラや AC アダプターから取りはずしてください。
  取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、やがて過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
- 涼しい所で保存してください。
- 周囲の温度が 15 ℃～ 25 ℃くらいの乾燥した所をお勧めします。
- 暑い所や極端に寒い所は避けてください。



その他

時計用電池について

日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ビデオカメラに、バッテリーやACアダプターなどの電源を接続すると常に充電されますが、ご購入時や、約3ヵ月間使わずに保管していると電池が放電され、日時が消えてしまうことがあります。このようなときは、ACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。電源の入/切に関係なく電池が充電されますので、日時を合わせてビデオカメラをお使いください（☞ P.42）。日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影することはできます。

プリンターについて

■ 水平に置いてください

傾いた状態や不安定な場所で使用することは、プリンターに悪い影響を与えます。

■ 使用周囲温度、湿度にご注意

周囲温度は5℃～35℃、湿度は20％～80％でお使いください。

プリンターをシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。

■ 使用環境にご注意

硫化水素、酸化イオウが発生する温泉地や、振動がある場所はさけてください。

■ プリントペーパー＆インクキットについて

プリントペーパー、インクカセットの取り扱いにはご注意が必要です。

くわしくは「プリントペーパー＆インクキット（別売）について」をご覧ください（☞ P.189）。

■ ゴミやホコリにご注意

プリントペーパーやインクカセットに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形などのためプリント画のなかに微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。
プリンターを長時間使用しないときは、給紙トレイは取りはずしておいてください。また、インクカセットを取り出し、インクカセット挿入ドアも閉めてください。

■ ヘッド磨耗について

プリンターのサーマルヘッドは長時間使用するとビデオヘッドと同じように磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。サーマルヘッドの交換は販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

■ 引っ越しや輸送のときは

引っ越しや輸送のときは、インクカセットおよび給紙トレイを取りはずしてから梱包してください。

■ プリント中のご注意

プリント中に電源を切らないでください。
電源を切るときは、プリント終了後に切ってください。プリントが中断し、紙づまりの原因となります。

■ つゆつきにご注意

つゆつきした場合は用紙の表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。つゆつきしたり、つゆつきが起こりそうなときは、電源を入れたまま2時間以上おき、つゆつきの心配がなくなってからご使用ください。給紙トレイが装着されているときは、取りはずしてから電源を入れてください。つゆつきした用紙は正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。

日常のお手入れ

ビデオカメラおよび別売プリンターの汚れを取る

バッテリー、AC アダプターまたは電源プラグをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

- 汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭きます。その後、乾いた布で水分を拭き取ってください。

ご注意

- ベンジンやシンナーは使用しないでください。損傷や故障の原因になります。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときは、ご使用になる製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズや液晶画面の汚れを取る

■ レンズの汚れを取るには

市販のレンズブロワーでほこりを落とし、添付のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ 液晶画面の汚れを取るには

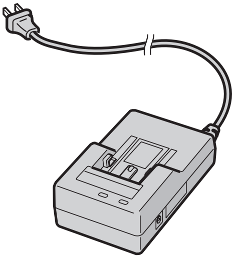
市販のレンズブロワーでホコリを落とし、添付のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

アクセサリー一覧

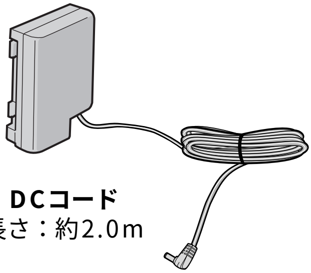
アクセサリーキット（別売）

ビデオカメラをご使用になるには、別売のアクセサリーキット（GV-SP700KIT または VU-L700KIT）をお買い求めください。
なお、VU-L700KIT に専用プリンター（GV-SP1）、プリントペーパー＆インクキット、プリンターコード、フェライトコア（特小）は同梱されておりません。

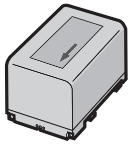
アクセサリーキット



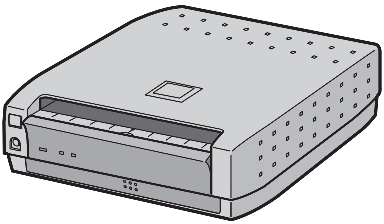
ACアダプター
AA-V67



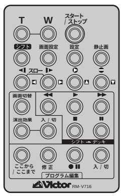
DCコード
長さ：約2.0m



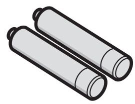
バッテリー
BN-V615X



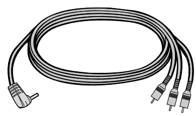
ビデオプリンター
GV-SP1



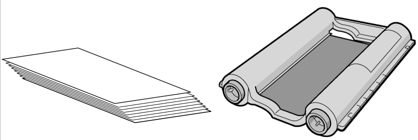
リモートコントロール
RM-V716（リモコン）



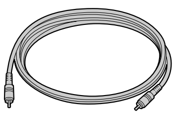
単4乾電池（2本）
（リモコン用電池確認用）



映像/音声コード（3.5 φ）
▶3.5φミニプラグ
ピンプラグ×3
長さ：約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用



プリントペーパー＆インクキット
（10枚用）

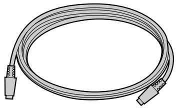


編集コード
長さ：約1.5m
自動編集用

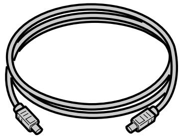
- 別売アクセサリーキットの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 製品の形状は予告なく変更されることがあります。

次へ続く

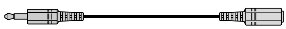
アクセサリーキット　（つづき）



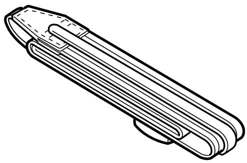
S映像コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラと
S映像対応のテレビ、
またはビデオデッキ接続用



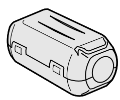
プリンターコード
長さ：約1.0m
ビデオカメラと
ビデオプリンター接続用



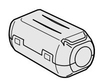
中継コード（2本）
別売マイク、および
ヘッドホン用



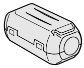
ショルダーストラップ



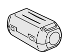
フェライトコア（大）（3個）
映像／音声コード、および
別売DVコード用



フェライトコア（中）（3個）
DCコード、編集コード、
および S映像コード用



フェライトコア（小）（2個）
中継コード用



フェライトコア（特小）（1個）
プリンターコード用

別売フィルムアダプター（CU-V30）をお使いになる場合、MCプロテクターを外してご使用になってください。また、別売レンズアダプターキット（GL-V30）の置台をフィルムアダプターの鏡胴部分（回転させる所）に敷き、鏡胴を水平になるように設置してください。

その他の別売アクセサリー：

バッテリーパック	**BN-V607、V628**
バッテリーキット	**VU-V856KIT**
バッテリーキット	**VU-V840KIT**
DV ケーブル	**VC-VDV204**
メモリーカード（4 MB）	**CU-MMC04**
メモリーカード（8 MB）	**CU-MMC08**
マルチメディア・ナビゲーターパック	**HS-V10KIT**
ピクチャーナビゲーター	**HS-V13KIT**
DV ビデオナビゲーターパック	**GV-DV1000**
フィルムアダプター	**CU-V30**
PC カードアダプター	**CU-V50**
レンズアダプターキット	**GL-V30**
スノー&レインジャケット	**CB-V91**
デジタルビデオプリンター	**GV-DT3**

プリントペーパー＆インクキット（別売）について

専用プリンターで印刷するときは必ず以下の専用品をお使いください。

商 品	サイズ	セット内容	用 途
PX-K50SF PX-L50SF （標準紙用）	K L	• 標準紙 50 枚 • インクカセット　50 枚分	お気に入りの場面をプリントして記念写真がわりに。 はがきとしても使用できます。（K サイズのみ）
PX-L25SFS16 （プリカット 16 画面シール紙用）	シール	• プリカット 16 画面シール紙 25 枚 • インクカセット　25 枚分	はがきサイズのオリジナルシールを作ってカードなどに貼ることができます。
PX-L30SFC （官製はがき用）	はがき	• インクカセット　30 枚分	年賀状などの官製はがきに直接プリントします。
PX-K25UF PX-L25UF （オーバーコーティングプリント紙）	K L	• オーバーコーティングプリント紙 25 枚 • インクカセット 25 枚分	記念写真やポストカードに使用します。色褪せが少なく写真のような光沢のあるプリントができます。

L サイズ　　　：89mm × 148mm
K サイズ　　　：100mm × 171mm
シール／はがき：100mm × 148mm

- 官製はがきに印刷した場合、標準紙やシール紙に比べて画質が劣ります。
- シール紙に印刷すると、印刷位置がずれることがあります。

ご注意

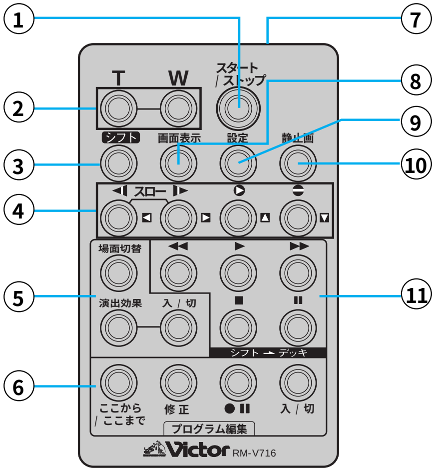
プリント前のご注意
- プリントペーパーは光沢があるプリント面（文字の書いていない面）を上にして給紙トレイに挿入してください。逆に入れますと紙づまりの原因になります。
- 折れたり、曲がったり、そったり、ミシン目が切れたプリントペーパーは使用しないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 濡れたり、湿ったりしているプリントペーパーは絶対に使わないでください。正常に印刷できません。また、紙づまりや故障の原因になります。
- インクカセットのインクシートを指で触れたり、引き出したりしないでください。
- インクカセットのインクシートを小さなお子様などがなめないようにご注意ください。
- インクカセットを使い切ったときは、新しいものと交換してください。使い切ったインクカセットは使用できません。巻き戻しての再使用はしないでください。
- プリントペーパー＆インクキットは高温多湿、直射日光の当たる場所を避けてください。
- プリントペーパーは片面が筆記面になっています。
- プリントペーパーや官製はがきに文字等を記入したり、切手等を貼る場合は、印刷後に記入、貼りつけを行ってください。印刷前に記入、貼りつけを行うと正常に印刷できない場合があります。
- プリントペーパー＆インクキットの裏面に記載している注意文もよくお読みのうえ、ご使用ください。

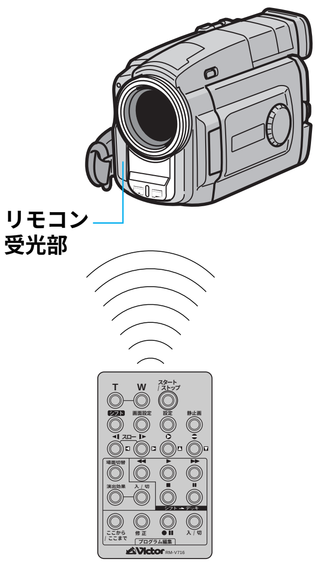
プリント後のご注意
- 印刷されたペーパーを湿った手で持つと変色することがあります。
- ペーパーが揮発性有機溶剤（アルコール・トルエン・ケトン類など）を吸収すると画像が退色します。
- 特にセロハンテープ、軟質塩ビなどに密着させると化学反応で退色が早くなります。
- プリントペーパーへの文字等の記述は、鉛筆か油性の筆記具をお使いください。また、筆記の際に強く書くと、ペーパーに筆記の跡が付く場合があります。

保管上のご注意
- 印刷後のペーパーはなるべく高温多湿、直射日光の当る場所や暖房器具のそばを避けて保管してください。
- 軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で退色したり、印刷面の色がはがれ、ファイルなどに付着することがあります。
- 印刷された面どうしを重ねたまま、放置しないでください。プリントペーパーがくっつく場合があります。
- プリントペーパーは箱に入れた状態でペーパーが水平になるように保管してください。垂直に置いて保管するとペーパーが曲がり、印刷時に紙づまりの原因となります。

リモコン（別売）

別売アクセサリーキットのリモコンを使うと、ビデオカメラをはなれたところから操作できます。

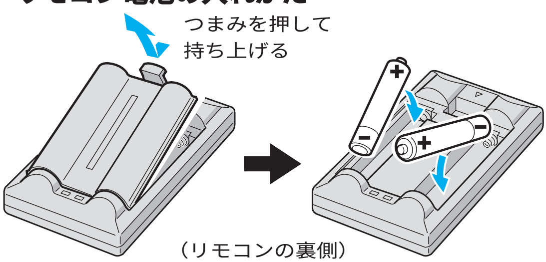




リモコンの操作方法

操作範囲は屋内で約 5m です。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。
また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、ビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

リモコン電池の入れかた



（リモコンの裏側）

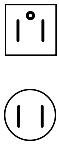
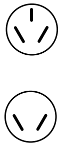
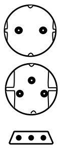
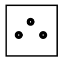
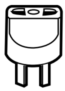
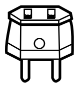
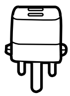
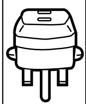
ボタン名			ボタンの機能	参照ページ
①		スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。	–
②	T	ズームボタン	映像が大きくなる。	49,130
	W	ズームボタン	大きくした映像が元に戻る。	
③		シフトボタン	拡大した再生映像を上下左右に動かす。	143, 130
④	◀❙	スロー(逆転)ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する。 再生ズームした映像を左に動かす。	58, 130
	❙▶	スロー(正転)ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する。 再生ズームした映像を右に動かす。	58, 130
	▲	上ボタン	再生ズームした映像を上に動かす。	130
	⊖	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした映像を下に動かす。	130, 152
⑤		場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	146
		演出効果ボタン	再生中や自動編集中、演出効果を選択する。	131
		演出効果 入/切ボタン	再生映像に演出効果を加える。	131
⑥		ここから/ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	146
		修正ボタン	自動編集を修正する。	148
	●❙❙	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	147
		入/切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	146
⑦		リモートポーズ（入力） 端子	編集コードを接続する。	145
⑧		画面表示ボタン	テレビに出てくるメッセージを出したり、消したりする。	148
⑨		設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	143
⑩		静止画ボタン	写真または静止画を撮影する。（半押し機能がありません）	–
⑪	◀◀	巻戻しボタン	テープを巻き戻す。	58
	▶	再生ボタン	テープを再生する。	58
	▶▶	早送りボタン	テープを早送りする。	58
	■	停止ボタン	テープを停止する。	58
	❙❙	一時停止ボタン	テープを一時停止するときに押す。	–

• ▶（インサートボタン）は、本機で使用できません。

海外でお使いになるときは

別売の AC アダプターは海外でも使用可能です。バッテリーを充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	 主にオーストラリア	 主にヨーロッパ		

現地のテレビで再生する

NTSC 方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC 方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

●アメリカ合衆国	●バミューダ	●パナマ	●エクアドル
●プエルトリコ	●バハマ	●エルサルバドル	●ベネズエラ
●バルバドス	●カナダ	●ペルー	●ミャンマー
●キューバ	●米領サモア	●グアム	●ボリビア
●フィリピン	●韓国	●グァテマラ	●ホンジュラス
●チリ	●コスタリカ	●ミクロネシア	●ドミニカ
●コロンビア	●メキシコ	●スリナム	●トリニダード・トバコ
●台湾	●ニカラグア	●ハイチ	

- **再生できるテープは**
  日本と同じ NTSC 方式で撮影したミニ DV テープが再生できます。
- **海外で故障したときは**
  「サービス窓口案内」（☞ P.194）の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。

  その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラ、プリンターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

171 ～180 ページに従って調べてください。なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

本機、デジタルビデオカセット、インクカセットなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生・プリントができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルビデオカメラ
型　　名	GR-DVL700
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	（　　）　　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

●長年ご使用のビデオカメラ、プリンターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。	➡	**ご使用を中　止**	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

サービス窓口案内

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011) 898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144) 34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166) 61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157) 25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154) 24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155) 24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138) 46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177) 23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178) 44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172) 28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019) 637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197) 22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018) 824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186) 43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182) 32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022) 287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225) 94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023) 642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234) 26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024) 952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246) 28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242) 32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024) 553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025) 241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025) 242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258) 24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255) 45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026) 221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026) 221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263) 25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027) 255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027) 255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028) 635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028) 638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298) 21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029) 246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055) 227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055) 237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043) 246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438) 23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471) 75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047) 353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03) 5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03) 3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03) 3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03) 3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426) 46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03) 3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048) 654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048) 553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492) 42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045) 651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468) 34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044) 975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463) 23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9（木村ビル）
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054) 282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559) 22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053) 421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568) 25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564) 26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532) 64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058) 274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593) 52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059) 229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076) 425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076) 269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776) 53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1099

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京都北部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明石S.S	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵庫西部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ JVC CANADA INC.
・トロント 〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス 〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー 〔973-808-9279〕
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105
・ホノルル 〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス JVC (U.K.) LIMITED
・ロンドン 〔0181-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

フランス JVC FRANCE S.A.
・パリ 〔01-39-96-33-33〕
102, Boulevard Heloise, 95104 Argenteuil Cedex

シンガポール JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール 〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

こころのかよう
サービス

主な仕様

一般

項　　目	仕　　様
電源	DC 6.3 V（ACアダプター使用時）DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.4 W（ファインダー使用時）、5.2 W（液晶画面使用時）
外形寸法	77 mm × 94 mm × 142 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　　約 620 g 撮影時質量　約 790 g（バッテリーBN-V615X、カセットM-DV30ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/3型 68万画素プログレッシブスキャンCCD （撮像エリア　ビデオ時：34万画素 XGA静止画時：63万画素）
レンズ	F1.8、*f*＝5 mm ～ 50 mm （35 mmカメラ換算：47.6 mm ～ 476 mm）
フィルター径	37 mm（ネジピッチ 0.75 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大200倍（デジタル使用）
最低照度	12ルクス

●仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

• ビデオカメラ・ビデオプリンターは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
ビデオカメラ・ビデオプリンターは、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

液晶画面／ファインダー部

項　　目	仕　　様
液晶画面	3.5型、20万画素　ポリシリコンカラー液晶
ファインダー	0.55型、18万画素　ポリシリコンカラー液晶

デジタルビデオカメラ部

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12BIT)、 　　　48 kHz 2チャンネル（16BIT）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：60分、LPモード：90分（DVM60テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルスチルカメラ部

項　目	仕　様
記憶メディア	マルチメディアカード
圧縮方式	JPEG準拠
画像サイズ	XGA（1024×768ドット） VGA（640×480ドット）
画質	3モード（ファイン／スタンダード／エコノミー）
撮影可能枚数	VGA（ファイン：約25枚、スタンダード：約50枚、エコノミー：約75枚） XGA（ファイン：約12枚、スタンダード：約24枚、エコノミー：約36枚） 付属のメモリーカード［4MB］使用時

端子部

項　目	仕　様
DV入力／出力端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S2映像入力／出力端子	アナログ入力（Y:0.8～1.2 V_{p-p}、75Ω　C:0.2～0.4 V_{p-p}、75Ω） アナログ出力（Y:1.0 V_{p-p}、75Ω　C:0.29 V_{p-p}、75Ω）
AV入力／出力端子	φ3.5 mmミニジャック 映像： アナログ入力（0.5～2.0 Vp-p、75Ω） アナログ出力（1.0 Vp-p、75Ω） 音声： ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ）
ヘッドホン端子	φ3.5 mmミニジャック
マイク端子	φ3.5 mmミニジャック
プリンター端子	プリンター専用端子
パソコン（デジタル静止画）端子	φ2.5 mm超ミニジャック
JLIP端子／編集端子	φ3.5 mmミニジャック

専用プリンター

項　目	仕　様
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	プリント時：約74W（電源「切」時：約2W)
信号方式	NTSC日米標準信号
許容動作温度	＋5～＋35℃
許容相対湿度	35～80%
許容保存温度	－20～＋60℃
設置条件	動作姿勢水平±5°
プリント方式	昇華型熱転写方式
プリント画素数	キングサイズ(枠無)1220×1828ドット、(枠有)1152×1536ドット Lサイズ　(枠無)1085×1548ドット、(枠有)1024×1360ドット シール紙　1024×1360ドット
解像度	310dpi
カラー	1667万色フルカラー
プリントサイズ	キングサイズ（枠無）100×150mm、（枠有）99.4×125.9mm Lサイズ　（枠無）89×127mm、（枠有）83.9×111.6mm シール紙　83.9×111.6mm
プリントスピード	キングサイズ（標準紙）80秒、(オーバーコート紙）105秒 Lサイズ　（標準紙）75秒、(オーバーコート紙）95秒
給紙方式	給紙トレイ、自動給紙25枚（標準紙）
インクシート	専用カセット方式
入力端子	プリントデータ入力端子
外形寸法	262mm×79mm×253.5mm（幅×高さ×奥行き）
質量	2.2kg（給紙トレイ含む）

メニュー一覧

撮影時

電源ダイヤルを「Ⓜ」に設定し、「メニュー／決定」ダイヤルを押すと表示されます。

は初期値

アイコン	メニュー
	場面切替 切 フェーダー：白*1 フェーダー：黒*1 フェーダー：白黒*1 ワイプ：コーナー*1 ワイプ：ウィンドウ*1 ワイプ：スライド*1 ワイプ：ドア*1 ワイプ：スクロール*1 ワイプ：シャッター*1 P ワイプ：オーバーラップ*2 P ワイプ：コーナー*2 P ワイプ：ウィンドウ*2 P ワイプ：スライド*2 P ワイプ：ドア*2 P ワイプ：スクロール*2 P ワイプ：シャッター*2 R ワイプ：ランダム*1
	演出効果 切 夜景 セピア*3 B/W ブラック／ホワイト*3 映画効果 *1 ストロボ *1 ゴースト *4 1 高感度4倍 *5 2 高感度10倍 *5 1/60 シャッター1/60 1/100 シャッター1/100 1/250 シャッター1/250

＊1：VIDEOとPSのみ使用できます。
＊2：VIDEOのみ使用できます。
＊3：DUAL以外で使用できます。
＊4：VIDEOとVGAのみ使用できます。
＊5：VIDEO、PS、VGAのみ使用できます。

は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー			
	明るさ調整				
	オート	−６〜**±0**〜＋６			
	マニュアル				
	白バランス				
	オート				
	マニュアル	ワンタッチ			
	撮影設定［A］［M］				
	◀ 戻る				
	録画モード	**SP**	LP		
	音声モード	**12BIT**	16BIT		
	ズーム	**40倍**	200倍	10倍	
	感度アップ	**オート**	AGC	切	
	ブザー／タリー	**入［メロディー］**	入［ブザー］	切	
	照明	**入**	切		
	静止画画質設定	**ファイン**	スタンダード	エコノミー	
	IDナンバー	**06**	(01〜99)		
	デモモード	**切**	入		
	マニュアル設定［M］				
	◀ 戻る				
	手ぶれ補正	**入**	切		
	セルフタイマー	**しない**	する		
	５Ｓ	**切**	5S	アニメ	
	テレマクロ	**切**	入		
	ワイド効果	**切**	シネマ	ワイド	PSワイド
	ボイスポジション	**切**	入		
	フラッシュモード	**オート**	オート赤目軽減	入	
	フラッシュ明るさ	−３ 〜 **±0**	〜＋３		
	日時／表示設定				
	◀ 戻る				
	画面表示切替	**モニター**	モニター/TV	モニター［シンプル］	
	日時表示	**オート**	切	入	
	タイムコード表示	**切**	入		
	年月日時計合わせ				

- 青いメニュー表示の機能は設定できません。
- アイコンが青く点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。

メニュー一覧

再生時

電源ダイヤルを「再生」または「DSC 再生」に設定し、「メニュー／決定」ダイヤルを押すと表示されます。
「DSC」を選択できるのは、電源ダイヤルを「DSC 再生」に設定したときのみです。

は初期値

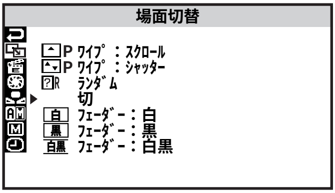
アイコン	メニュー	サブメニュー		
	ビデオ再生モード設定			
	◀ 戻る			
	音声モード切替	ステレオ	音声Ｌ	音声Ｒ
	12BIT音声切替	音声１	音声２	ミックス
	シンクロ補正	－1.3～ ±0 ～＋1.3		
	➡M コピー	しない	する	
	アナログ入力	しない	する	
	日時／表示設定			
	◀ 戻る			
	画面表示切替	モニター	モニター/TV	モニター［シンプル］
	日時表示	オート	入	切
	タイムコード表示	切	入	
	DSC再生モード設定			
	◀ 戻る			
	プロテクト	（プロテクト画面を表示します）		
	画像削除	キャンセル	全画像	選択画像
	フレーム削除	キャンセル	全フレーム	選択フレーム
	フォーマット	キャンセル	実行	
	DPOF設定	選択する	すべて1枚	設定クリア

● 青いメニュー表示の機能は設定できません。

メニューの使い方

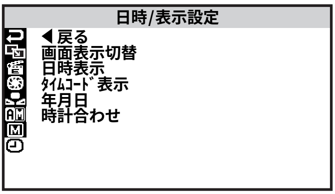
1 「メニュー／決定」ダイヤルを押す

次の画面が表示されます。



2 ダイヤルを回してアイコンを選択する

選択した項目に合わせてメニューが切り替わります。



3 ダイヤルを押す

メニューの最初の項目が選択されます。

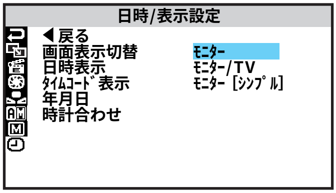
4 メニューから項目を選択する

サブメニュー有　：現在の設定値を表示

サブメニューなし：手順 7 へ進む

5 ダイヤルを押す

サブメニューが表示されます。



6 サブメニューの項目を選択する

7 ダイヤルを押して決定する

8 元の画面に戻る

- **「終了」が選択されているとき**

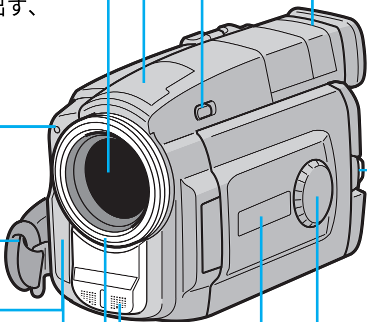
→ダイヤルを押します。

- **それ以外のとき**

→「戻る」を選んでダイヤルを 2 回押します。

各部の名前とはたらき

本体



フラッシュ
静止画や写真を撮影するときに、
暗いとフラッシュを発光します。

レンズカバー
撮影時にファインダーを引き出す、
または液晶画面を開けると
開きます。

撮影ランプ
撮影中は点灯します。

グリップベルト

カメラセンサー
撮影に必要なセンサーです。
指などでふさがないように
してください。

リモコン受光部
ここにリモコンを向けて
操作してください。

MCプロテクター
（レンズ保護用）

フラッシュスイッチ
フラッシュを開けます。

ファインダー
撮影するときに引き出します。
液晶画面が開いた状態で
ファインダーを引き出すと
ファインダーが優先されます。

押ー開ボタン
液晶画面を開けます。

撮影モードダイヤル
撮影モード（☞ P.55）を
変更します。

撮影モード照明
撮影モードダイヤルの変更を
照明の色で確認できます。
（☞ P.166）

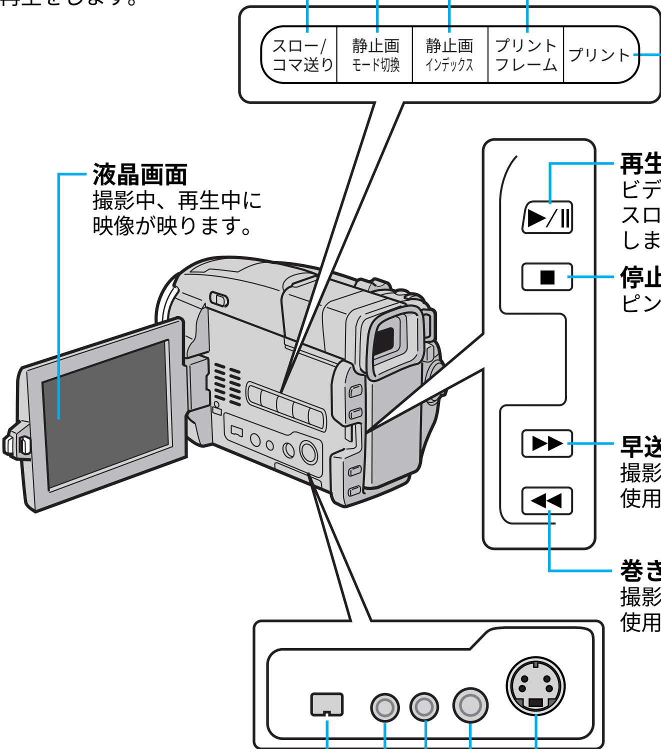
ステレオマイク
撮影時とアフレコ編集時に
音声を吹き込みます。

静止画モード切換ボタン
ビデオ撮影時に画面分割など
様々な静止画を挿入します。

スロー/コマ送りボタン
スロー再生やコマ送り
再生をします。

静止画インデックスボタン
写真を一覧表示します。

プリントフレームボタン
写真を絵はがき風に印刷します。



プリントボタン
専用プリンターで
印刷します。

液晶画面
撮影中、再生中に
映像が映ります。

再生/一時停止/高速撮影ボタン
ビデオや写真の再生操作のほかに、
スローモーションの撮影にも使用
します。

停止/フォーカスボタン
ピントあわせにも使用します。

早送り/スポットライトボタン
撮影時の明るさの調整にも
使用します。

巻き戻し/逆光補正ボタン
撮影時の明るさの調整にも
使用します。

DV入力/出力端子（i-LINK*）
DV端子付きのビデオ機器と接続
します。
*：i-LINKは、IEEE1394-1995仕様
およびその拡張仕様です。

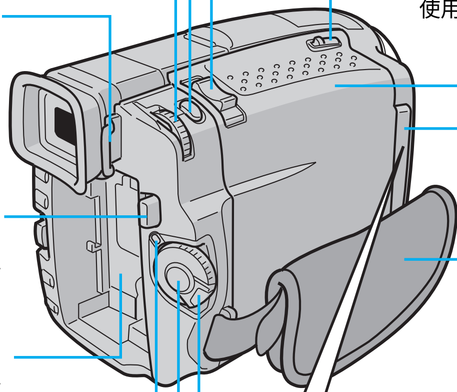
JLIP/編集端子
JLIPコードを使ってJLIP対応
機種を接続します。
編集コードを使ってリモコンを
接続します。

S2入力/出力端子
S端子付きのビデオ機器と接続します。

プリンター端子
専用プリンターと接続します。

デジタル静止画/パソコン端子
パソコンに静止画像を出力します。

各部の名前とはたらき



静止画ボタン
メモリーカードに写真を撮影する、
またはテープに静止画を撮影します。

メニュー/決定ダイヤル
メニューを表示して操作します。

ショルダーストラップ取り付け部

バッテリー取りはずしボタン
バッテリーやDCコードを
取り外します。

バッテリー取り付け部
バッテリーやDCコードを
取り付けます。

電源ランプ
電源が入っているときに
点灯します。

撮影ボタン
ビデオの撮影を開始または終了させます。

電源ダイヤル
電源の入切、撮影と再生などを切り替えます。

- **A** ･････････全自動で撮影できます。
- **M** ･････････撮影方法を細かく設定できます。
- **切** ･････････電源を切れます。
- **再生** ････････ビデオを見るとき、およびHS-V10KITを使用するとき（☞ P.156）に切り替えます。
- **DSC再生** ･･･写真を見るときに切り替えます。

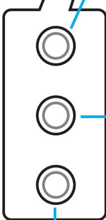
ズームスイッチ
映像のズームを行います。
再生中はスピーカー、
ヘッドホンの音量を調節します。

カセット取出しスイッチ
カセットテープの出し入れに
使用します。

カセットカバー

端子カバー

グリップベルト



ヘッドホン端子
再生時にヘッドホンを接続できます。
ただし、音量調整つきのヘッドホンは
使えません。また、ヘッドホン接続時
はスピーカーから音が出ません。

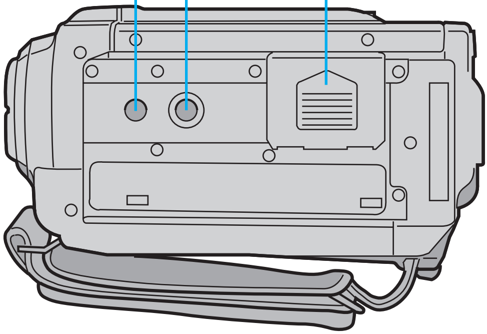
マイク端子
アフレコ編集時に外部マイクを
接続します。

AV入力/出力端子
AVケーブルでテレビやビデオデッキ
を接続します。

ガイドノブ穴
三脚によっては使用します。

三脚取り付けネジ穴
三脚を取り付けます。

メモリーカードカバー
メモリーカードを入れます。

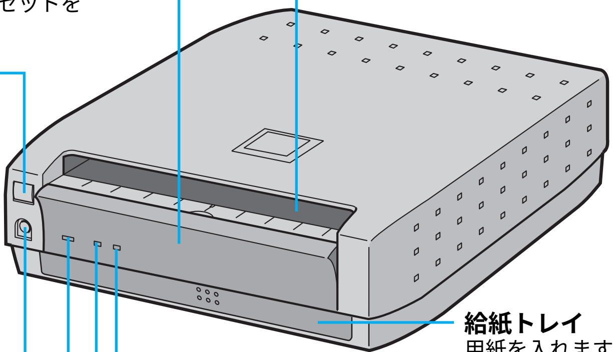


専用プリンター

インクカセット挿入ドア
開けてからインクカセットを
入れます。

電源ボタン

排紙口
印刷された用紙が出てきます。



給紙トレイ
用紙を入れます。

**プリントデータ
入力端子**
ビデオカメラと
接続します。

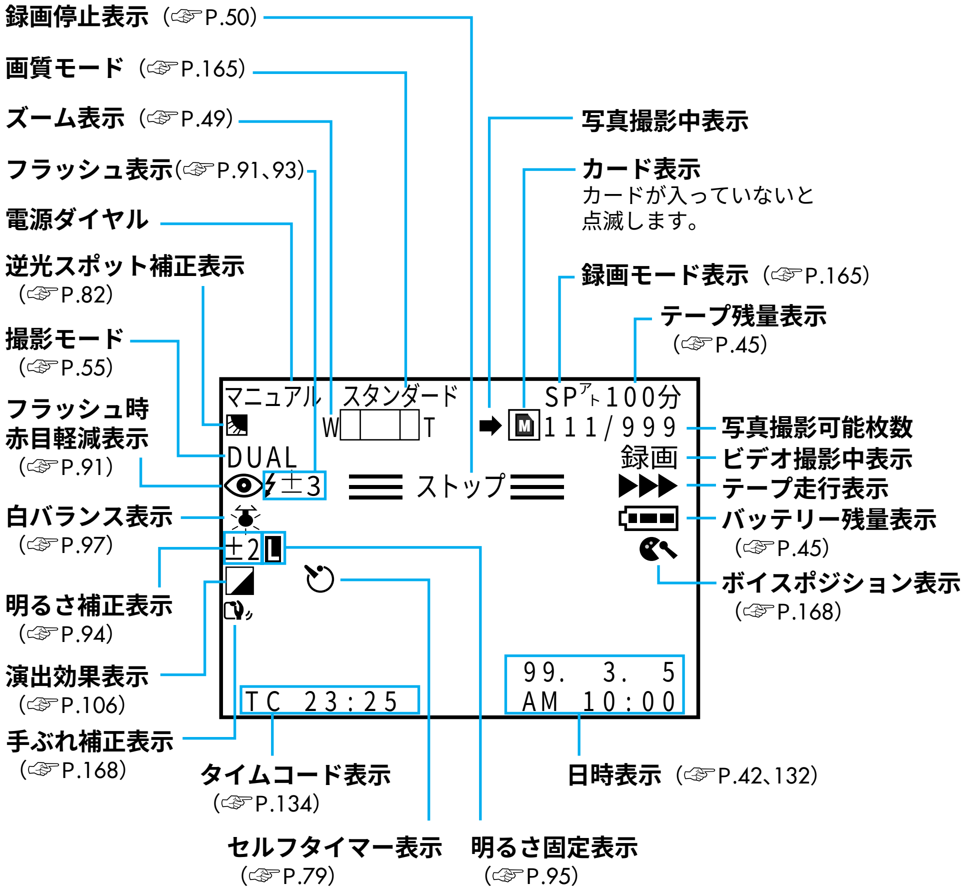
電源ランプ

エラーランプ
プリンターのエラーを知らせます。
点灯または点滅になったらビデオカメラの
メッセージを確認してください。
（☞P.211）

プリントランプ
プリント中に点灯します。

画面表示の見かた

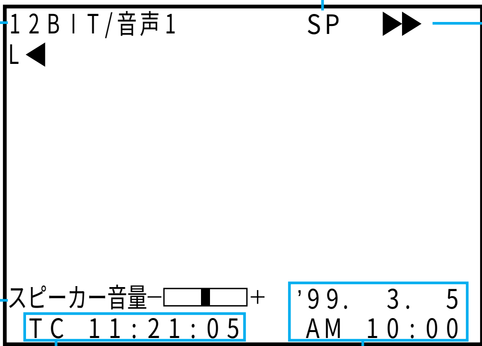
撮影時の表示



● 画面表示が青色のときは、その機能は使えません。

再生時の表示

ビデオ再生



録画モード表示（☞P.165）

音声モード表示
（☞P.165）

テープ動作表示

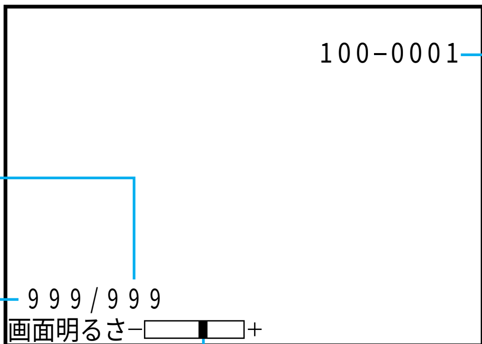
- ▶ 再生
- ▶▶ 早送り
- ◀◀ 巻戻し
- ▮▮ 静止
- ▮▮▶ 正転スロー
- ◀▮▮ 逆転スロー

スピーカー音量表示
ズームスイッチをスライドさせると表示されます。

タイムコード表示
（☞P.134）

日時表示（☞P.132）

写真再生



ファイル名

画像ナンバー
すべての撮影枚数を表示します。

画像ナンバー
何番目に撮影した画像であるかを表示します。

画面の明るさ表示
「メニュー/決定」ダイヤルを回すと表示されます。

撮影／再生時の確認表示

メッセージ	対処	参照ページ
E01～E06	バッテリーと電源をはずしてつけなおしてください	174
ツユが付きました しばらくおまち下さい	１時間以上待ってください	179
ヘッドが汚れています クリーニングカセットをためして下さい	クリーニングカセットを使用してください	178
DV 入力	ダビングが可能です	139
AV 入力	ダビングが可能です	141
音声 16BIT(12BIT)	撮影時の音声モードを表示しています	165
音声アフレコできません	録画モードか音声モードを変更して撮影してください	165
記録された画像がありません	メモリーカードが空です	74
静止画転送中	メッセージが消えるまでお待ちください	129
このテープでは録画できません テープのツマミをたしかめて下さい	カセットのツマミを「REC」側にしてください	182
テープおわり	テープを交換してください	36
テープがちがいます！	正しいテープと交換してください	36
テープを入れて下さい！	テープを入れてください	36
日時を設定して下さい！	日時を設定し直してください	42
メモリーがいっぱいです	メモリーカードを交換するか、写真を削除してください	38, 74
メモリーカードへ記録できません	メモリーカードを交換するか、写真を削除してください	38, 74
メモリーカードを入れて下さい！	メモリーカードを入れてください	38
メモリーカードをフォーマットして下さい！	メモリーカードをフォーマットしてください	175

印刷時の確認表示

メッセージ	対処	参照ページ
インクエラーです インクをたしかめて下さい	インクカセットを交換してください	69
インクカセットが終了しました あたらしいインクカセットを入れて下さい	インクカセットを交換してください	69
インクカセットを入れて下さい	インクカセットを入れてください	69
トレイを入れて下さい	給紙トレイを入れてください	70
トレイを抜いて、 ペーパーをたしかめて下さい	用紙をトレイに入れてください	70
しばらくお待ち下さい	しばらくお待ちください	—
通信エラーです	プリンターケーブルを接続しなおしてください	68
バッテリーをこうかんして下さい	バッテリーを付け換えるか、 AC アダプターを接続してください	32, 61
プリンターがつながれていません	プリンターを接続してください	68
プリントエラーです 排紙しました	印刷しなおしてください	72
プリントが終了しました	次の操作を始められます	—
プリント中	しばらくお待ちください	73
プリント中 設定枚数　○○枚 のこり　○枚	しばらくお待ちください	117 126
プリントできます	印刷を再開してください	72
ワク無しプリントが選択されています ワク有りプリントを選択して下さい	ワク無し印刷ができる用紙に変更するか、 ワク有り印刷に変更してください	116
プリンターがシステムエラーです プリントできません	プリンターの電源を入れてください プリンターの電源を入れて表示されるときは、 プリンターが故障しています 販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください	211 194

五十音順索引

■あ■

アイコン ……102, 106, 200
青い画面 ……178
赤目軽減 ……91
明るさ固定 ……95
明るさ調整 ……82, 83, 94
アクセサリーキット ……187
アナログ入力 ……140, 202
アニメ ……168
アフレコ編集 ……152
色合い調節 ……97
インクカセット ……69
インデックス画面 ……112, 118
映画効果 ……106
液晶画面 ……205
エコノミー ……165
演出効果 ……106, 131, 145
オーバーラップ ……101
音声Ｌと音声Ｒ ……154
音声モード切替 ……154
音量調整 ……57

■か■

確認表示 ……210, 211
カセットテープ ……36, 182
紙づまり ……177
カメラリハーサル ……54
カメラセンサー ……204
画面表示切替 ……163
画面の明るさ ……46
カレンダープリント ……120
感度アップ ……165
逆光補正 ……82
給紙トレイ ……70
グリップベルト ……34
高感度 ……106
高速撮影 ……88
ゴースト ……106
コピー ……127

■さ■

再生画面の拡大 ……130
再生時の表示 ……209
撮影時の表示 ……208
撮影設定[A][M]メニュー ……165
撮影モード ……55
撮影ランプ ……204
実撮影時間 ……51
自動編集 ……142
シネマ ……168
シャッタースピード ……107
写真の削除 ……74
充電時間 ……31
充電ランプ ……30
照明 ……165
白黒 ……102, 106, 114, 131
白バランス ……97
シンクロ補正 ……149
ズーム撮影 ……49
スタンダード ……52, 165
ステレオ音声 ……154
ステレオマイク ……204
ストロボ ……106
スポットライト ……83
スロー再生 ……58
静止画画質 ……52, 165
静止画サーチ ……85
静止画モード ……84
接写 ……168
セピア ……106, 114, 131
セルフタイマー撮影 ……79

■た■

タイムコード……134
ダビング……136
つゆつき……179
テープ再生……56
テープ残量……45
デジタルズーム……49
デジタルダビング……138
デジタルビデオヘッドクリーナー……178
手ぶれ補正……168
デモモード……13, 165
テレビに接続……62
テレマクロ……168
電源ランプ……206
時計用電池……184

■な■

日時表示……42, 132, 208, 209
日時/表示設定メニュー……163
ネガポジ……84

■は■

パソコンに接続……156
バッテリー……30, 183
バッテリーの取り付けかた……32
バッテリー残量表示……45
場面切替……100, 146
早送り再生……58
ビデオ機器に接続……136, 140
ピント……96
ピンナップ……84
ファイン……52, 165
ファインダー……204
ファインダーの清掃……180
ファインダーの調節……47
フェーダー効果……100
フェードアウト……100
フェードイン……100
フォーマット（初期化）……175
ブザー/タリー……165
付属品……7
フラッシュ……53, 91
フラッシュの明るさ……93
フル……84
プリンター……68, 114
プリントフレーム……118
プリントフレームの削除……160
プリントペーパー＆インクキット……189
フレーム……84
プログレッシブスロー……90
プロテクト（削除防止）……158
変換プラグ……192
ボイスポジション……168

■ま■

巻戻し再生……58
マクロ撮影……49
マニュアル設定[M]メニュー……168
マニュアルフォーカス……96
モザイクノイズ……178
モニター……163

■や■

夜景……106

■ら■

ランダム……101
リモコン……190
リモコンに登録……143
連写……85
連続再生……60
連続撮影時間……51
録画モード……165

索引

■わ■

ワイプアウト ･････････････････････････100
ワイプイン ･･････････････････････････100
ワイプ効果 ･･･････････････････100, 101
ワク付き印刷 ･･････････････････････116
ワク無し印刷 ･･････････････････････116

■アルファベット/数字■

12BIT 音声 ･･････････････････････165
12BIT 音声切替 ･･･････････････････154
16BIT 音声 ･･････････････････････165
4マルチ ･･････････････････････････84
5秒撮影 ･･････････････････････････168
9マルチ ･･････････････････････････84
AC アダプター ･･････････････････30, 61
AV 入力/出力端子 ････････････････206
B/W ･･････････････････････････････106
DC コード ･･････････････････････････61
DPOF ･･････････････････････････････64
DUAL ･･････････････････････････････55
DV コード ･･････････････････････････138
DV 入力/出力端子 ････････････････205
ID ナンバー ････････････････････････165
JLIP/編集端子 ･････････････････････205
LP ････････････････････････････････165
PS（プログレッシブスキャン）･･55, 110
PS ワイド ･･････････････････････････168
S2 入力/出力端子 ･････････････････205
SP ････････････････････････････････165
VGA ･･･････････････････････････････55
VIDEO ･･････････････････････････55, 84
XGA ･･････････････････････････････55, 77

メモ

省エネで
守る環境
豊かな暮らし

JVC Loves the Earth

ご相談や修理は

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に171～180ページをご確認ください。

修理相談

ご転居等で保証書に記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、193ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、194～195ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

東京お客様ご相談センター
東京☎(03) 5684-9311
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪お客様ご相談センター
大阪☎(06) 6765-4161
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

この機種についてのお取り扱い、技術的なご相談は、下記までお問い合わせください。

DVご相談窓口
☎(045)450-2770

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

Victor JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業部
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045)450-2550

1099FOV＊HT＊VP